

平成30年度版 瀬戸市の教育



-安全祈願祭の様子と平成30年10月の様子-

瀬戸市教育委員会

目 次

I 教育行財政

- 1 瀬戸市の沿革 1
- 2 教育委員会組織機構図 2
- 3 教育委員会職員数 3
- 4 事務の補助執行 3
- 5 歴代教育委員 4
- 6 歴代教育長 5
- 7 教育財政 6
- 8 教育アクションプラン 8
- 9 教育アクションプラン推進会議 15
- 10 瀬戸市教育大綱 16
- 11 瀬戸市総合教育会議 17

II 学校教育

- 1 瀬戸の学校教育でめざすもの 18
- 2 具体的な取り組み 19
- 3 教職員の研修 36
- 4 学校の状況 41
- 5 学校施設一覧 45
- 6 瀬戸市立小学校の適正配置 47
- 7 隣接学校選択制 54
- 8 就学・私学助成制度 56

III 学校給食

- 1 学校給食の方針 58
- 2 学校給食の現況 58

IV 図書館

- 1 図書館活動 65

V 社会教育

- 1 社会教育 71

VI 社会体育

- 1 社会体育 77
- 2 体育・スポーツ活動 78
- 3 スポーツ施設 81
- 4 野外活動センター 82

VII 文化財保護

- 1 文化財保護活動 83

資料

- 1 沿革 88
- 2 教育関係施設一覧 114

はじめに

瀬戸市教育委員会が昭和27年11月1日に発足し、66年を迎えています。昭和から平成、そして、来年は、新たな年号に変わる大きな時代の転換期を迎えました。瀬戸市の教育も、平成32年4月の小中一貫校開校、市内全校区で始まる小中一貫教育の実施に向けて、準備の真っ最中です。今、瀬戸市の教育の教育は、未来社会に向け、大きく変わろうとしています。

「瀬戸市の教育」の発刊にあたりましては、各年度ごとの教育状況を報告書として、また、記録的資料としてまとめており、その年々の改善された教育環境を盛り込むことで今日に至っております。そのため、教育内容までもが古の踏襲のように受け取られる懸念を払拭することは困難かと察しております。こうした経過をお含み置き頂ければ幸いです。

私たちはこれから、今まで経験したことの無いような新たな瀬戸市の教育の幕開けを迎えようとしています。その礎が、先人のたゆまぬ努力によるものであることは疑う余地もありません。こうした認識の上に立って、これからは、教育関係者に限らず、私たち瀬戸市の大人一人ひとりが、それぞれの立場で、教育の意識改革に取り組む当事者であるという自覚を備える時期を迎えています。

それが、瀬戸市の教育が果たす、人づくり、まちづくりの原点です。

新たな教育の具体的な施策については、この冊子とは別に、様々な方法で、これからの学びの姿を魅力あるものとして皆様方に発信していきます。

これまでの教育の経過を、平成30年度の教育概要としてとりまとめました。本市の教育行政をご理解頂くと共に、「子どもたちの幸せ」そして、「皆様との協働」を切に願い、はじめの言葉とさせていただきます。

平成30年11月

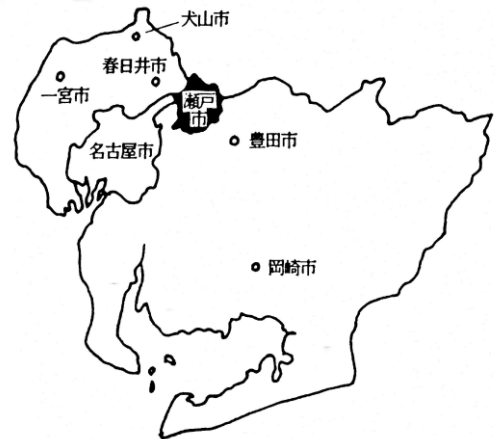
瀬戸市教育委員会
教育長 深見和博

I 教育行財政

1 瀬戸市の沿革

瀬戸市は、濃尾平野の東、尾張丘陵の一角にあって、中部経済圏の中心地である名古屋市の北東約 20km に位置し、周囲を標高 150m～300m の山々に囲まれ気候も温暖で、丘陵地帯には、瀬戸層群と呼ばれる新第三紀鮮新世の地層があり、やきものの原料となる良質の陶土やガラスの原料となる珪砂を豊富に有しています。また、北部や東部の山間地帯には、松などの樹林が広がり、かつては、こうした恵まれた自然が、瀬戸の窯業の発展に大きな支えとなってきました。このような自然や時代の移り変わりを背景に、窯業に携わってきた人々のたゆまぬ努力のおかげで、せとものはやきものの代名詞として日本のみならず、世界の人々に知られるようになりました。明治 11 年(1878)に郡区町村編成法、同 22 年(1889)に町村制が公布されると、近代的な自治体である瀬戸村となり、次いで明治 25 年(1892)には瀬戸町になりました。さらに大正 14 年(1925)には赤津村及び旭村の一部を合併し、4 年後の昭和 4 年には愛知県で 5 番目の市として「瀬戸市」が誕生しました。その後も昭和 26 年(1951)には水野村を合併、同 30 年(1955)には幡山村、同 34 年(1959)には品野町を合併し、市域は現在 111.40 k m²、人口は 13 万人近くまで発展しています。先人たちより引き継がれてきた「歴史」「伝統」「文化」、そして豊かな「自然」が、今もなお、瀬戸の暮らしに息づいています。

- (1) 市制施行 昭和 4 年 10 月 1 日
- (2) 市役所所在地 瀬戸市追分町 64 番地の 1
東経 137 度 5 分 3 秒
北緯 35 度 13 分 24 秒
- (3) 面積 111.40 k m²
東西 12.8 km
南北 13.6 km
- (4) 人口 (平成 30 年 4 月 1 日現在)
男 63,916 人
女 65,984 人
計 129,900 人
- (5) 世帯数 55,388 世帯



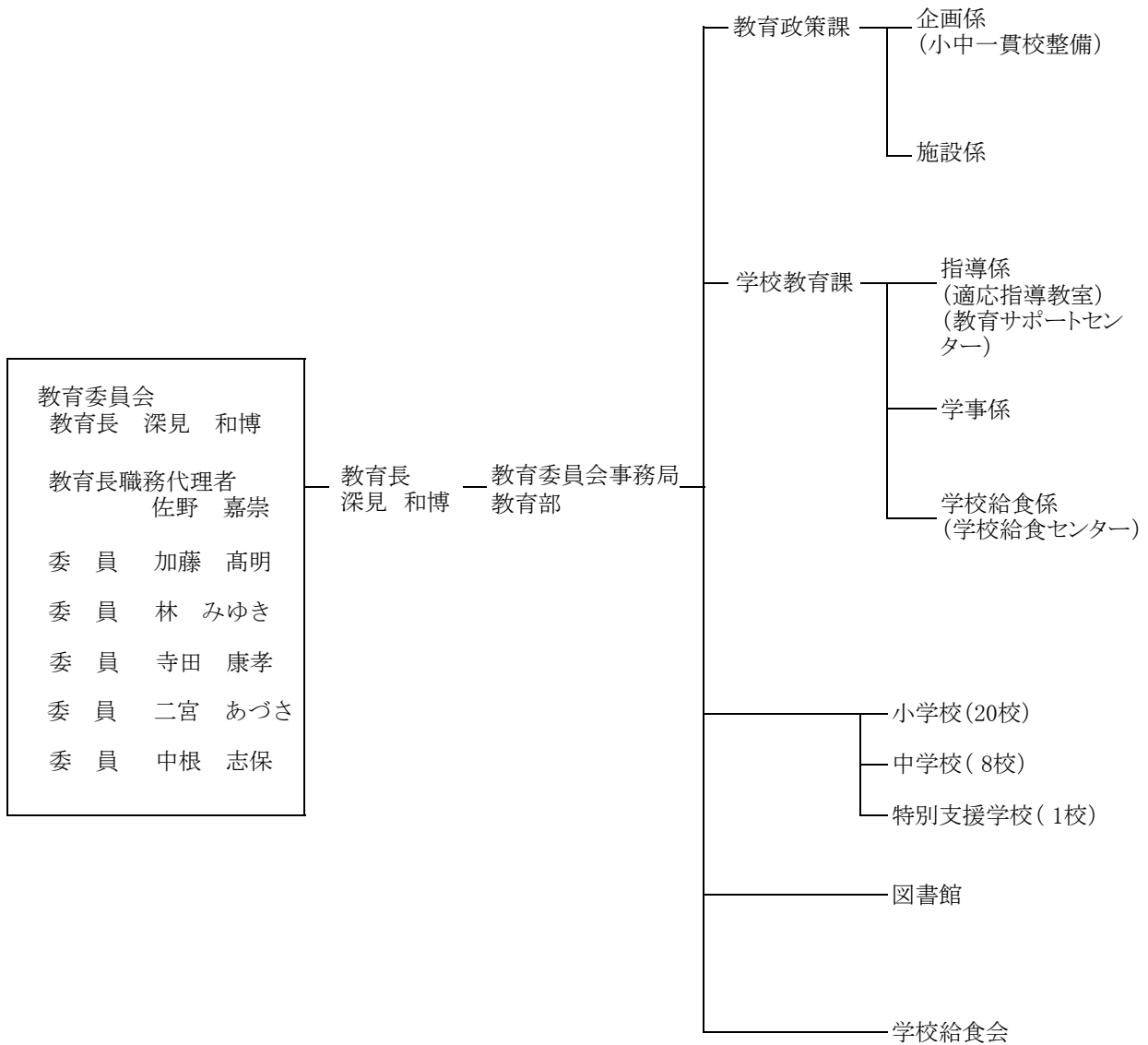
市の花 ツバキ



市の木 クロガネモチ

2 教育委員会組織機構図

平成30年10月1日現在



3 教育委員会職員数

平成30年4月1日現在 ※()内再掲

	教 育 部 長	課 長	館 長 ・ 主 幹	課 長 補 佐 ・ 専 門 員	係 長 ・ 主 査	主 事	技 師	技 能 員	用 務 員	調 理 員	配 膳 員	嘱 託 職 員	計	備 考
教育部長	1												1	技師兼務
教育政策課		1	2(1)	3	1	3						1	11	0内は技師
学校教育課		1	2	5	1	2		1				7(1)	19	0内は学校給食会兼務
小学校(20校)									26	13			39	
中学校(8校)									10				10	
特別支援学校(1校)					1				2	3			6	
図書館			1	1		1							3	
計	1		7	9	3	6		1	38	16		8	89	
学校給食会												1	1	
計												1	1	

4 事務の補助執行

(1) 市長が教育委員会の職員に補助執行させる事務

- ① 私立学校（私立幼稚園を除く。）、私立の専門学校及び私立の各種学校に関すること。
- ② 教育委員会の所掌する事業に係る国庫支出金及び県支出金等の申請に関すること。
- ③ 瀬戸市予算及び決算規則（昭和40年瀬戸市規則第17号）、瀬戸市公有財産事務取扱規則（昭和42年瀬戸市規則第21号）、瀬戸市自動車等管理規程（昭和40年瀬戸市訓令第2号）に規定する各課等の長の処理すべき事務に関すること。
- ④ 瀬戸市会計規則（昭和29年瀬戸市規則第4号）に規定する各課等の長及び物品取扱主任等の処理すべき事務に関すること。
- ⑤ 瀬戸市契約規則（昭和40年瀬戸市規則第18号）に規定する契約担当者の処理すべき事務に関すること。

(2) 教育委員会が市長部局の地域振興部の職員に補助執行させる事務

- ① 青少年教育、成人教育、その他社会教育に関すること。
- ② スポーツに関すること。
- ③ 文化財の保護に関すること。
- ④ 公民館の事業に関すること。
- ⑤ 前各号に係る教育財産の管理に関すること。

(3) 教育委員会が市長部局の市民課及び支所に属する職員に補助執行させる事務

- ① 住民の異動に伴う就学通知書、入学通知書、学齢児童生徒市外転出通知書及び学齢児童生徒市内異動通知書の交付に関すること。（ただし、通学区域外入学に係るものを除く。）

5 歴代教育委員(教育長を除く)

平成30年10月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数	氏名	在職期間	在職年月数
(公)松原明道	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	加藤伸也	昭和58年10月～昭和62年9月	4年
(公)早川富次郎	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	山内鉦平	昭和59年10月～昭和63年9月	4年
(公)藤井吉久	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	磯村範良	昭和60年10月～平成元年9月	4年
(公)稲垣信夫	昭和27年11月～昭和31年9月	3年11月	加藤悦郎	昭和61年10月～平成2年9月	4年
加藤三郎	昭和27年11月～昭和28年9月	11月	竹田竜弥	昭和62年10月～平成3年9月	4年
伊藤陶彦	昭和28年6月～昭和29年6月	1年	鈴木逸夫	昭和63年10月～平成4年9月	4年
加藤通之助	昭和29年6月～昭和30年6月	1年	林春治	平成元年10月～平成5年9月	4年
伊藤義雄	昭和30年2月～昭和31年9月	1年8月	山城浩平	平成2年10月～平成6年9月	4年
村上力男	昭和30年6月～昭和31年6月	1年	大竹保枝	平成3年10月～平成7年9月	4年
矢野千代太	昭和31年6月～昭和31年9月	4月	余語彦次	平成4年10月～平成8年9月	4年
松原恒	昭和31年10月～昭和33年9月	2年	松原肇	平成5年10月～平成9年9月	4年
加藤昇次	昭和31年10月～昭和34年9月	3年	小野義弘	平成6年10月～平成10年9月	4年
加藤秋子	昭和31年10月～昭和35年9月	4年	勝谷哲次	平成7年10月～平成11年9月	4年
加古徳次	昭和31年10月～昭和36年9月	5年	鈴木政成	平成8年10月～平成12年9月	4年
加藤元資	昭和33年10月～昭和37年9月	4年	加藤唐三郎	平成9年10月～平成13年9月	4年
小野廉二	昭和34年10月～昭和38年9月	4年	梅村和子	平成10年10月～平成14年9月	4年
篠瀬実	昭和35年10月～昭和39年9月	4年	野田正治	平成11年10月～平成15年9月*	4年
荒川安吉	昭和36年10月～昭和40年9月	4年	大竹良太	平成12年10月～平成16年9月	4年
柴田善右工門	昭和37年10月～昭和41年9月	4年	加藤定江	平成13年10月～平成17年9月	4年
加藤敏子	昭和38年10月～昭和42年9月	4年	加藤令吉	平成14年10月～平成18年9月	4年
加藤政良	昭和39年10月～昭和43年9月	4年	伊藤保徳	平成15年10月～平成19年9月	4年
加藤作助	昭和40年10月～昭和44年9月	4年	松本哲也	平成16年10月～平成20年9月	4年
大橋惣二	昭和41年10月～昭和45年9月	4年	松本高典	平成17年10月～平成21年9月	4年
後藤八郎	昭和42年10月～昭和46年9月	4年	加藤恵子	平成18年10月～平成22年9月	4年
水野正司	昭和43年10月～昭和47年9月	4年	加藤陽一	平成19年10月～平成23年9月	4年
加藤正夫	昭和44年10月～昭和45年4月	7月	(再)野田正治	平成20年10月～平成23年9月 *平成11年10月～平成15年9月	3年 *4年
水野悦郎	昭和45年5月～昭和48年9月	3年5月	中島道代	平成20年10月～平成24年9月	4年
江尻守鉦	昭和45年10月～昭和49年9月	4年	刑部祐介	平成20年10月～平成24年9月	4年
川本三明	昭和46年10月～昭和50年9月	4年	鈴木眞史	平成21年10月～平成25年9月	4年
加藤光哉	昭和47年10月～昭和51年9月	4年	上川和子	平成22年10月～平成26年9月	4年
加藤晃	昭和48年10月～昭和52年9月	4年	水野教雄	平成23年10月～平成27年9月	4年
加藤鈔	昭和49年10月～昭和53年9月	4年	加藤雅人	平成23年10月～平成27年9月	4年
加藤俊明	昭和50年10月～昭和54年9月	4年	梶田俊裕	平成24年10月～平成28年9月	4年
荒井洋	昭和51年10月～昭和55年9月	4年	松本恵美子	平成24年10月～平成28年9月	4年
加藤英彦	昭和52年10月～昭和56年9月	4年	加藤高明	平成25年10月～平成29年9月*	4年
伊藤純一郎	昭和53年10月～昭和57年9月	4年	加藤智子	平成26年10月～平成30年9月	4年
塚田佳男	昭和54年10月～昭和58年9月	4年	佐野嘉崇	平成27年10月～	3年
加藤隆夫	昭和55年10月～昭和59年9月	4年	林みゆき	平成27年10月～	3年
増岡錦也	昭和56年10月～昭和60年9月	4年	寺田康孝	平成28年10月～	2年
後藤公彦	昭和57年10月～昭和61年9月	4年	二宮あづさ	平成28年10月～	2年

氏名	在職期間	在職年月数
(再) 加藤高明	平成29年10月～ 平成25年10月～平成29年9月*	1年 *4年
中根志保	平成30年10月～	0月

6 歴代教育長

平成30年10月1日現在

氏名	在職期間	在職年月数
山田 栄(代理)	昭和27年11月～昭和27年12月	2月
伊藤 一雄	昭和28年1月～昭和32年5月	4年5月
相原 邦雄	昭和32年6月～昭和43年9月	11年4月
松浦 正雄	昭和43年10月～昭和52年3月	8年6月
加藤 朋也	昭和52年4月～昭和55年3月	3年0月
加藤 春夫	昭和55年4月～平成2年3月	10年0月
加藤 浩松	平成2年4月～平成11年3月	9年0月
大澤 義洋	平成11年4月～平成24年3月	13年0月
深見 和博	平成24年4月～	6年6月



<深見 和博 教育長>

7 教育財政

(1)平成30年度一般会計予算

(単位:千円)

歳 入			歳 出		
款	金額	割合	款	金額	割合
1 市税	18,171,600	47.3%	1 議会費	326,544	0.8%
2 地方譲与税	316,000	0.8%	2 総務費	4,253,704	11.1%
3 利子割交付金	32,000	0.1%	3 民生費	15,882,761	41.3%
4 配当割交付金	103,000	0.3%	4 衛生費	3,649,397	9.5%
5 株式等譲渡所得割交付金	70,000	0.2%	5 労働費	2,605	0.0%
6 地方消費税交付金	2,250,000	5.9%	6 農林水産業費	149,239	0.4%
7 ゴルフ場利用税交付金	34,000	0.1%	7 商工費	1,216,955	3.2%
8 自動車取得税交付金	159,000	0.4%	8 土木費	3,142,196	8.2%
9 地方特例交付金	110,000	0.3%	9 消防費	1,269,770	3.3%
10 地方交付税	2,377,000	6.2%	10 教育費	6,274,483	16.3%
11 交通安全対策特別交付金	20,000	0.1%	11 災害復旧費	8	0.0%
12 分担金及び負担金	256,835	0.7%	12 公債費	2,222,338	5.8%
13 使用料及び手数料	713,319	1.9%	13 予備費	50,000	0.1%
14 国庫支出金	4,886,374	12.7%			
15 県支出金	2,716,110	7.1%			
16 財産収入	401,368	1.0%			
17 寄附金	1	0.0%			
18 繰入金	1,324,486	3.4%			
19 繰越金	1	0.0%			
20 諸収入	1,193,406	3.1%			
21 市債	3,305,500	8.6%			
合 計	38,440,000	100.0%	合 計	38,440,000	100.0%

(2)一般会計と教育費の推移

(単位:百万円)

年 度	22	23	24	25	26	27	28	29	30
一般会計総額(A)	32,340	32,750	32,330	33,210	36,260	34,920	33,890	35,110	38,440
教育費(B)	2,859	2,813	2,467	2,678	2,286	2,526	2,421	3,397	6,274
(B)/(A)	8.8%	8.6%	7.6%	8.1%	6.3%	7.2%	7.1%	9.7%	16.3%

(3)教育予算(歳出)の内訳

(単位:千円)

項 目	30年度	29年度	比較増減	前年比
1 教育総務費	2,786,768	717,151	2,069,617	388.6%
1 教育委員会費	2,894	2,864	30	101.0%
2 事務局費	155,697	158,713	△ 3,016	98.1%
3 小中一貫校整備費	2,397,307	321,397	2,075,910	745.9%
4 教育指導費	230,870	234,177	△ 3,307	98.6%
2 小学校費	1,032,530	670,880	361,650	153.9%
1 学校管理費	140,984	483,688	△ 342,704	29.1%
2 学校施設費	324,984	0	324,984	-
3 学校建設費	523,814	143,383	380,431	365.3%
4 教育振興費	42,748	43,809	△ 1,061	97.6%
3 中学校費	602,329	141,684	460,645	425.1%
1 学校管理費	95,980	256,677	△ 160,697	37.4%
2 学校施設費	174,077	0	174,077	-
3 学校建設費	283,055	92,971	190,084	304.5%
4 教育振興費	49,217	48,713	504	101.0%
4 特別支援学校費	44,709	43,699	1,010	102.3%
1 学校管理費	33,085	43,699	△ 10,614	75.7%
2 学校施設費	11,624	0	11,624	-
5 社会教育費	224,964	211,975	12,989	106.1%
1 社会教育総務費	884	853	31	103.6%
2 地区公民館費	68,516	66,105	2,411	103.6%
3 図書館費	155,564	143,921	11,643	108.1%
4 視聴覚費	0	1,096	△ 1,096	0.0%
6 保健体育費	1,583,183	1,355,103	228,080	116.8%
1 保健総務費	102,779	102,147	632	100.6%
2 体育総務費	57,149	25,451	31,698	224.5%
3 体育施設費	210,081	126,168	83,913	166.5%
4 野外活動センター費	26,449	26,449	0	100.0%
4 学校給食総務費	601,529	598,054	3,475	100.6%
5 学校給食センター	180,684	159,013	21,671	113.6%
6 学校給食単独校費	404,512	317,821	86,691	127.3%
合 計	6,274,483	3,140,492	3,133,991	199.8%

8 瀬戸市教育アクションプラン

瀬戸市教育委員会では、平成 18 年度を初年度とする 10 年間で展望し、瀬戸市の教育が目指す姿を描いた「瀬戸市教育アクションプラン」を策定しました。このアクションプランは瀬戸市の教育の四半世紀先の未来を見通し、行政や市民、また互いに協力して取り組むべきことを示したものです。当初計画期間を終えた平成 27 年度末には、平成 37 年度を目標年度とする「第 2 次瀬戸市教育アクションプラン」を策定し、具体的な施策の展開として、7 つの基本目標と 22 の基本施策、78 の主な事業に反映させました。

(1) 基本理念

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
 瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
 瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

この基本理念は、平成 17 年 3 月に策定した「瀬戸市教育アクションプラン」の基本理念として掲げたものです。社会情勢や教育環境が大きく移り変わる中、この基本理念の重要性と意味合いが一層増しており、今後も継承することにより、未来を見通した様々な教育施策を推進し、本市の教育を充実させていきます。

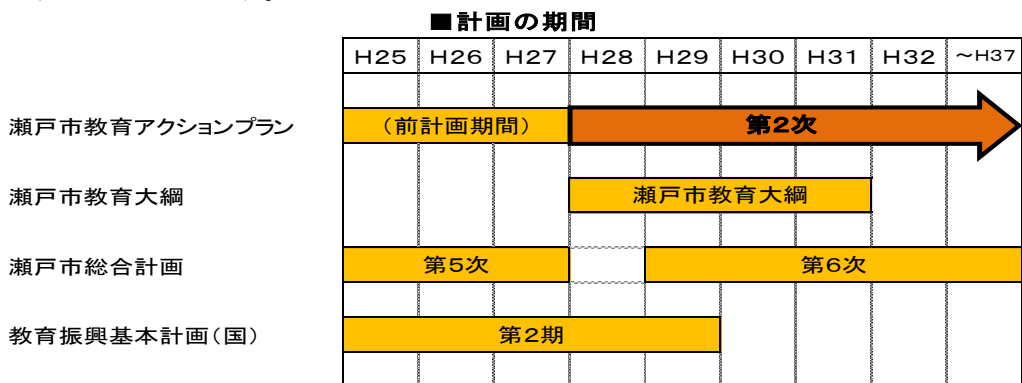
(2) アクションプランの位置付け

教育基本法第 17 条第 2 項「地方公共団体は、国の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない」との規定に基づくアクションプラン（行動計画）となります。

「瀬戸市総合計画」をはじめ、市長と教育委員が協議する「瀬戸市総合教育会議」において定めた「教育に関する大綱」のもと、教育分野の個別計画として位置づけ、教育に関連する他の計画との整合性を図るとともに、関連する部門と連携・協働しながら、本市の教育行政が目指すべき姿を明らかにして、計画を推進していきます。

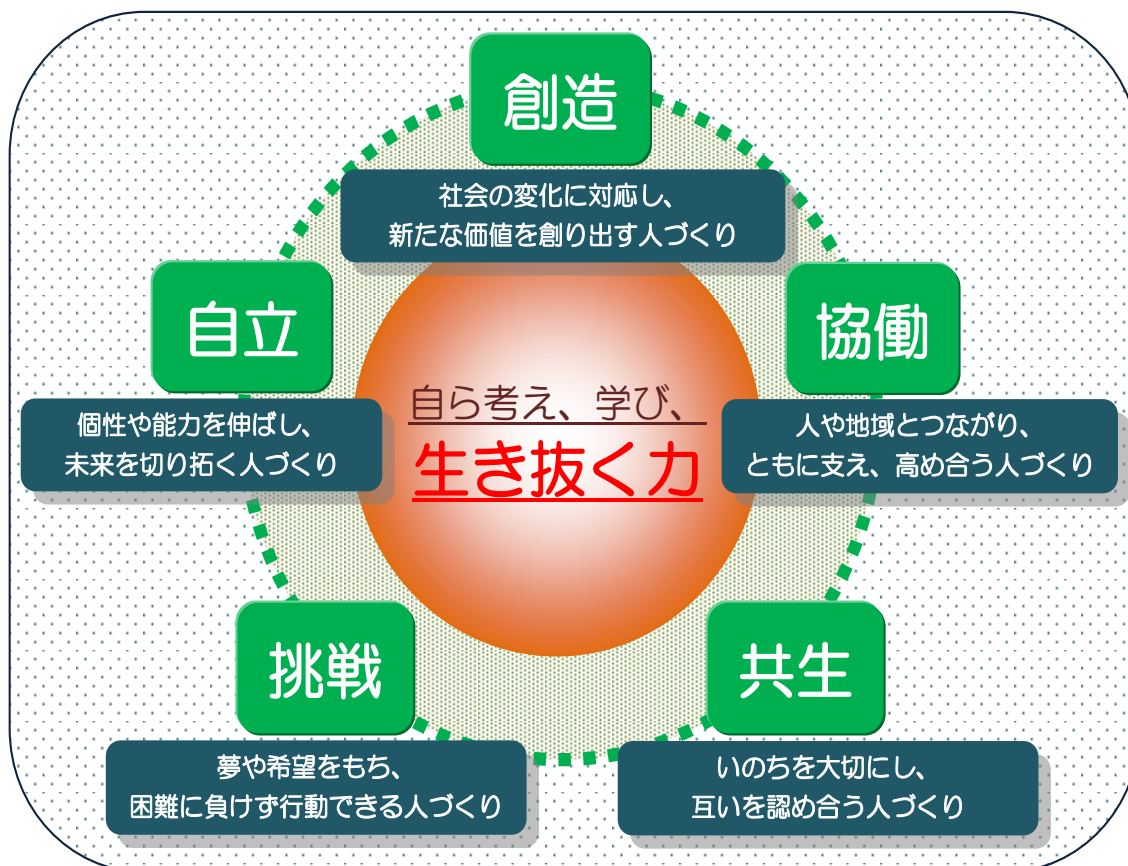
(3) 計画の期間

この計画は、平成 28 年度から 10 年間で計画期間としています。なお、「第 6 次瀬戸市総合計画」策定時及び計画が 5 年を経過した時点を目途に見直しを行い、必要に応じて、計画の内容を変更することとします。



(4) 基本的方向性（目指す人間像）

基本理念を実現し、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するため、5つの基本的な方向性を目指します。



国の「第2期教育振興基本計画」では、生涯にわたって自己の能力と可能性を高め、様々な人々と協調・協働しつつ、自己実現と社会貢献を図るため、「自立」、「協働」、「創造」の3つの方向性を示しています。

本市では、これらに加え、瀬戸らしさとして「地域とともにある学校づくり」や特別支援教育など、いのちを大切にし、互いを認め合う「共生」と、「まるっとせとっ子フェスタ」など、夢や希望をもち、困難に負けず行動する「挑戦」を含んだ5つの基本的方向性を目指すことにより、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成していきます。

これら5つの基本的方向性は、それぞれが独立して存在するものではなく、基本施策ごとに相互にバランス良く関わり合うことにより、施策における基本目標を着実に達成していきます。

(5) 施策の展開

基本目標 1 確かな学力の定着と向上

児童生徒が、基礎的、基本的な知識や技能を確実に習得するため、学習意欲の向上を図るとともに、授業内容や指導方法を工夫していきます。

また、子どもたちが自ら学び、考え、主体的に判断するため、学び合いの授業を取り入れるなど、言語活動を充実します。

さらに、今後は、知識や技能を活用して、一人ひとりが自ら課題を見つけ、解決に向けて主体的・協働的に探究し、思考を活発にするため、アクティブ・ラーニングを充実し、必要とされる資質・能力である思考力・基礎力・実践力を高め、生き抜く力を育みます。

基本施策		主な事業	
1	基礎的、基本的学力の習得	1	基礎的、基本的学力の習得と学習習慣の定着
		2	学習意欲の向上
		3	読書活動の推進
2	学んだことを生かす教育活動の推進	4	探究的な学習と体験活動の推進
		5	学力向上のための現状分析や今後の方策の検討
		6	「少人数指導授業」や「チーム・ティーチング」の充実
		7	ICTを活用した授業の推進
3	教職員の教育力の向上	8	研修による教職員の資質の向上
		9	分かりやすい授業づくりの推進
		10	教員が子どもと向き合う時間の確保

基本目標 2 豊かな心の育成

道徳教育や人権教育などを通して、子どもたち一人ひとりが互いを尊重し、思いやりをもち、規範意識や社会のルールを身につけるなど豊かな心を育みます。いじめ・不登校の防止にあたっては、学校・家庭・地域が手を携え、子どもにいのちの大切さを伝えるとともに、社会全体で子どもを見守るなどの意識をより高めていきます。

また、豊かな感性や情操を養うため、文化芸術活動を支える事業を展開するとともに、文化財の調査研究を行い、市民が優れた文化芸術に親しみをもち、体験できる機会を充実していきます。

図書館においては、地域図書館を拡充し、市民がいつでもどこでも図書と親しむことができるなど、利便性を高める取り組みを行っていきます。

基本施策		主な事業	
4	いのちを大切にする教育の推進	11	道徳教育の推進
		12	人権教育の推進

5	いじめや問題行動への対応の充実	13	いじめ防止基本方針による取り組みの推進
		14	あたたかい学級づくりの推進やQ-Uの有効活用
		15	規範意識の定着など生徒指導の推進
		16	情報モラル教育の推進
6	不登校児童生徒への対応の充実	17	不登校や引きこもり児童生徒に対する対応の充実
		18	不登校予防のための教育相談体制の充実
7	文化芸術活動の支援や文化財の保存・活用	19	市民による文化芸術活動の支援や奨励
		20	文化芸術に触れ親しむ機会の確保
		21	伝統文化を尊重する心の育成
		22	文化財の保存・活用
		23	文化財に関する学習の機会提供
8	図書館サービスの充実	24	図書館施設の整備や充実
		25	図書館ネットワークの整備

基本目標 3 健やかな体の育成

発達段階に応じて、健康づくりを実践し、生涯を通して健康で充実した生活を送るために基礎となる健やかな体を育みます。そのために、学校・家庭・地域が連携して、「早寝、早起き、朝ごはん」などの望ましい生活習慣を身につけるよう取り組んでいきます。

また、運動習慣を身につけるとともに、楽しみながら計画的かつ継続的に運動に取り組む機会を充実します。そのことが、将来にわたり、スポーツに親しむ機会の増加につながり、結果として、健康長寿社会の実現に重要な役割を果たすことになるものと考えます。

基本施策		主な事業	
9	規則正しい生活習慣の定着と健康の増進	26	衣食住の望ましい生活習慣の定着
		27	生活習慣病予防対策の実施
		28	学校保健をはじめ、健康教育や性教育などの充実
		29	食育の推進
		30	安心・安全な学校給食の提供と地産地消の推進
10	体力の向上とスポーツの振興	31	運動習慣の確立や体力向上への取り組みの推進
		32	生涯を通じ、誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会の確保
		33	指導者の育成と指導力の向上
		34	競技者の育成支援
		35	若年層に対するスポーツ活動の支援
		36	スポーツ施設の整備

基本目標 4 多様な個性やニーズに応じた教育の推進

支援が必要な子どもが、その能力や可能性を最大限に伸ばし、自立して社会参加できるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行います。そして、特別に支援が必要な子どもたちの多様なニーズに即して、きめ細かい対応をしていきます。

また、本市の小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、指導を充実していきます。さらに、市民一人ひとりが言語や文化、価値観など様々な違いや特性を認め合い、国籍を問わず誰もが暮らしやすいと感じる多文化共生社会の実現に向けた教育を推進するとともに、ダイバーシティ（多様な人材の積極的な活用）を推進していきます。

基本施策		主な事業	
11	支援が必要な子どもへの対応の充実	37	特別支援教育の充実
		38	経済的な支援や子どもの貧困対策の充実
		39	心のケアの充実など「チーム学校」の推進
		40	福祉実践教育の充実
12	多文化共生社会に向けた教育の推進	41	外国人児童生徒に対する日本語教育の充実
		42	外国人住民に対する日本語教育の充実
		43	多様な文化や価値観を尊重する教育の推進

基本目標 5 地域や社会とつながる教育の推進

すべての市民が教育の担い手となり支え合うために、これまで以上に保護者や地域の方々が学校運営に参画できる機会を増やし、学校が地域や企業、大学などと連携・協働することで、地域とともにある学校づくりを推進します。

また、本市は、長い間培われてきた歴史や伝統文化などに携わる方々などの人的資源や、豊かな自然に恵まれた教育環境を有しています。これらの地域資源を有効に活用した学びの機会を創出し、「ものづくりのまち瀬戸」への郷土愛を育てていきます。

さらに、グローバル化が進み、社会の仕組みが複雑化する中で、子どもが将来の夢や目標を掲げ、社会と関わりをもちながら、これからの社会を生き抜くための学習を推進し、男女ともに生涯を通して社会で活躍できる人材を育成していきます。

基本施策		主な事業	
13	瀬戸らしさを生かした特色ある教育の推進	44	キャリア教育や職業体験の推進
		45	せともの文化や伝統を継承していく郷土学習の推進
		46	環境教育の推進
		47	「まるっとせとっ子フェスタ」の充実
		48	未来創造事業の推進

14	地域とともにある学校づくりの推進	49	保護者や地域などの地域力による連携強化
		50	放課後の子どもの居場所づくり「せとっ子モアスクール」の拡充
		51	市民活動との連携強化
		52	地域ぐるみの青少年健全育成の推進
		53	地域企業との連携の推進
		54	大学(大学コンソーシアムせと)などとの連携強化
15	未来を生き抜く子どもの育成	55	グローバル社会に対応した人材の育成
		56	情報リテラシー(情報活用能力)の育成
		57	性差なく活躍できる人材の育成
16	男女共同参画社会の推進	58	安定した家庭生活のためのワーク・ライフ・バランスの実現
		59	学校現場における女性の登用

基本目標6 ライフステージに応じた切れ目のない教育の推進

家庭教育における教育力の向上を図るとともに、保育園や幼稚園などと小中学校・特別支援学校が連携しながら、継続性と連続性のある教育活動を通して、子どもたちが将来を見通し、自立して生きるための基盤となる能力を育みます。また、教育全体として、どのような人材を育成するのか、といった理念を明確にして、教育の担い手である市民全員が責任と役割分担を互いに認識しながら、教育を推進します。

さらに、子どもから高齢者まで、市民の様々なライフステージに応じた多様な学習機会を提供するとともに、市民一人ひとりが互いに学び合い、交流することで、生涯にわたって学び続けるよう、途切れることのない連続性のある教育を推進していきます。

基本施策		主な事業	
17	子育て支援と家庭教育の充実	60	幼児教育の充実、地域や社会全体での子育ての実施
		61	家庭教育力の向上支援
		62	児童虐待の防止
18	関係機関の連携による教育の推進	63	保育園・幼稚園・小学校の連携強化
		64	小中一貫教育の推進や小中一貫校の導入
		65	教育と福祉の連携による切れ目のない支援
19	生涯にわたり、相互に学び合う教育の推進	66	「学びキャンパスせと」の充実
		67	公民館・地域交流センター活動の充実
		68	生涯学習社会を担う指導者やボランティアの育成

基本目標 7 適正で魅力ある教育環境の充実

学校施設は老朽化が進んでおり、計画的な保全に取り組むとともに、財政負担の平準化なども踏まえた学校施設の長寿命化や建て替えを検討します。

また、子どもたちが集団の中で豊かな人間関係を築くとともに、自主性、自立性、社会性を養い、これからの社会を生き抜くことができるたくましい子どもを育てるため、地域の実情やまちづくりの視点を考慮しながら、学校の新設、統合や通学区域の見直しなどにより、学校の適正規模・適正配置を進めます。

さらに、学校と家庭や地域が、子どもを育てる当事者として、目標やビジョンを共有し、相互に連携・協働することで、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めます。

基本施策		主な事業	
20	魅力ある学校づくりと適正規模・適正配置の推進	69	適正規模・適正配置の推進
		70	児童生徒が楽しいと感じる魅力ある学校づくり
21	安心で安全な学校づくりの充実	71	学校施設の安心・安全対策や長寿命化対策の実施
		72	通学路を含む交通安全対策やスクールガードの充実
		73	防災教育の充実
		74	防犯など安全教育の充実
22	信頼される学校づくりの推進	75	学校運営に係る積極的な情報発信
		76	学校評議員や学校評価制度の活用
		77	学校マネジメント力の向上
		78	PTAや教育アクションプラン推進会議などによる市民意向の反映

9 第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議

平成18年6月に「瀬戸市教育アクションプラン推進会議（以下、「推進会議」）」を発足し、プランの策定及び進捗状況の把握と各施策の進行管理を行っています。

また、平成28年3月の「第2次瀬戸市教育アクションプラン」の策定に伴い、委員各々が、それぞれの職や役割などにおいて、プランの基本理念や方向性などを周知していくことも、推進会議の目的として位置付けました。

学校・家庭・地域が行政組織とも連携し、子どもたちの“生き抜く力”を育む体制を強化するため、それぞれの立場で専門的な知見を発揮し、市民との対話が一層促進されるよう、次の方々に委員を委嘱しています。

【*名簿については平成30年7月1日現在を掲載】

委嘱委員	氏名	職名
会長	上川 和子	元教育委員長
副会長	吉田 淳	名古屋学院大学 スポーツ健康学部 教授
委員	福岡 明	元校長会会長、元愛知県尾張教育事務所特別支援教育指導員
〃	和佐田 強	学校法人光和学園瀬戸幼稚園 園長
〃	太田 亜衣	瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会 母親代表第一副部長
〃	水谷 友里	瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会 経験者
〃	一尾 茂正	教育関係者
〃	福田 直美	水南公民館
〃	西原 勇	教育サポートセンター長
〃	船坂 礼子	学校地域コーディネーター
〃	中崎 毅	水野中学校 校長
〃	弓削 善靖	幡山中学校 教頭
〃	加藤 直樹	效範小学校 教務主任
〃	加藤 高明	瀬戸市教育委員会 委員
〃	深見 和博	瀬戸市教育委員会 教育長

オブザーバー	氏名	職名
行政	藤井 邦彦	市長直轄組織参事兼まちづくり協働課長
〃	服部 文孝	文化課長
〃	田口 浩一	スポーツ課長
〃	上田 喜久	社会福祉課長
〃	磯村 玲子	こども未来課長
〃	田中 伸司	健康課長

平成29年度は第2次瀬戸市教育アクションプラン推進会議を3回開催しました。

- (1) 第1回(5月25日開催)の主な議題
 - ・瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書作成のための意見調査について
- (2) 第2回(7月26日開催)の主な議題
 - ・平成29年度瀬戸市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書(案)について
- (3) 第3回(2月22日開催)の主な議題
 - ・小中一貫校カリキュラム編成及びキャリア教育等について

10 瀬戸市教育大綱

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、平成27年4月から施行されました。本市においても、教育大綱の策定に関する協議等のため、瀬戸市総合教育会議が設置され、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、平成28年から31年度を計画期間とし、次のとおり定めました。

ふるさとに誇りと愛着をもち まちと未来を拓く人づくり

「まちづくりは人づくり」という言葉のとおり、市政において、事業と人材育成は表裏一体のものです。また、教育は、「人を育て、まちを育てる」ものであり、新たな時代や社会、そして、本市が目指す“住みたいまち 新しいせとづくり”の重要な礎となります。

本市には、長い間培われてきた、ものづくりの文化や歴史などの地域資源があり、大都市近郊でありながら、豊かな自然に囲まれた教育環境が整っています。今後は、さらに、市民一人ひとりが主体性をもち、自立しながら教育に向き合うとともに、これらの地域資源を活用した学びの機会を創出し、“ものづくりのまち瀬戸”への郷土愛を育てていくことが大切だと考えています。

一方、生涯学習社会においては、性別や年齢などを問わず、誰もが参加することができる交流や体験の機会を創出していきたいと考えています。その際、現在の社会や人々の暮らしが、どのような歴史や価値観の上に成り立っているのか、私たち自身が今一度、見つめ直し、未来を拓く子どもたちに“生き抜く力”を受け継いでいくことが必要となります。

これまで掲げてきた“教育の基本理念”は、むしろ今の時代、めまぐるしく移り変わる教育環境においてこそ輝きを増し、なお一層、瀬戸市の教育の拠りどころになるものであり、次世代を担う子どもたちのたくましくも健やかな成長をすべての市民のみなさんとともに支えて参ります。

平成28年3月
瀬戸市長 伊藤保徳

(1) 基本理念

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」
瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」
瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

(2) 基本的方向性

「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するために、5つの基本的な方向を目指します。

- 創造：社会の変化に対応し、新たな価値を創り出す人づくり
- 自立：個性や能力を伸ばし、未来を切り拓く人づくり
- 協働：人や地域とつながり、ともに支え、高め合う人づくり
- 共生：いのちを大切にし、互いを認め合う人づくり
- 挑戦：夢や希望をもち、困難に負けず行動できる人づくり

(3) 視点

- 一人ひとりの異なる価値観などの個性を認め合う“多様性”の尊重
- 家庭・学校・地域とともに、社会全体で子どもを育む“横”の連携
- 生涯学習社会*に向けて、年齢や成長に応じた切れ目のない“縦”の接続
- 適正な学習環境と魅力ある学校づくりによる“信頼”の構築

*生涯学習社会：生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会のこと。

11 瀬戸市総合教育会議

平成27年9月に「瀬戸市総合教育会議（以下、「教育会議」）」を発足しました。教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化を図ることを目的としており、教育会議の構成員は市長と教育委員会であり、市長が招集し、原則公開の会議となります。なお、協議内容及び調整事項は、次のとおりとなります。

- ①教育行政の大綱の策定
- ②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策
- ③児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

平成29年度は同教育会議を1回開催し、以下の通り意見交換がなされました。

(1) 第1回(平成30年3月30日開催)の主な議題

- ・「地域全体で子どもを育み社会が共に成長するまちづくり」について

II 学校教育

1 瀬戸の学校教育でめざすもの

(1) 基本方針

「第2次瀬戸市教育アクションプラン」の具現化に向けて、学校が地域と連携しながら主体的・創造的に特色を生かした教育を進めることで、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を養うとともに、自分の住む町や社会の活性化と発展をめざす人づくりを目標とする。

学校教育関係では、すべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」、すべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」と実感できる教育の実現を基本理念とする。各学校が目標実現のために、児童生徒の個性を尊重し、地域に根ざした特色ある学校づくりを進める中で、新たな瀬戸の教育の創造と展開を図る。

(2) めざす将来の人間像<成長した大人の姿>を踏まえた「めざす児童生徒像・教職員像」

① めざす児童生徒像 (____は「めざす将来の人間像」との関連を示す)

◇豊かな人間性と自ら学ぶ力のある子◇

- いのちを尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。
共生 自立
- 自ら学び、深く考え、主体的に行動する力を養う。
創造、自立、挑戦
- 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。
自立 協働、共生

② めざす教師像

- 教育愛と情熱をもって、使命を全うする教師
- 常に研修に努め、教育への見識を高め、社会的視野を広げるなど研鑽に努める教師
- 一人一人の個性を生かし、思いやりの心をもった教師
- さまざまな方面との連携を進んで図り、各々の立場や責任を理解し合い、協調し合う教師
- 社会の変化に積極的に対応する教師
- 専門性を発揮する教師

(3) めざす将来の人間が備えるべき力「自ら考え、学び、生き抜く力」

「自ら考え、学び、生き抜く力」は、「生きる力」と「生き抜く力」からなり、「自立」「創造」「協働」「共生」「挑戦」の5つの方向性を目指す。

「生き抜く力」の内容

- 夢や希望をもち、その実現に向けて限りない努力をすること
- 失敗や挫折があっても簡単にくじけたり逃げたりしない心の強さをもつこと
- まわりの人への思いやりをもち、互いに支え合うことができること

学習指導要領に示された「生きる力」の内容

- 知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

2 具体的な取り組み

(1) 方針

児童生徒の「自ら考え、学び、生き抜く力」を育むことを目指し、地域とともにある学校づくりを推進していくために、学習指導要領、地域・学校の実態、児童生徒の心身の発達段階と特性、そして、今日的な教育課題等を考慮しながら、地域・学校の特色や教師の創意工夫を生かした教育課程を編成する。

(2) 確かな学力の定着と向上

① 「確かな学力」の内容

- 学ぶための力 … 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 学ぶ力 … 課題発見・解決能力、思考力・判断力・表現力等
- 学ぼうとする力 … 関心・意欲・態度

② 充実した授業づくり

- 充実した言語活動が行われる授業
- 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善
- 学ぶことの楽しさや達成することの喜びを味わわせ、互いに学び合い学習意欲の向上を促す授業
- 学習内容を確実に身につけさせる授業
- 指導過程や成果についての評価、及び指導の改善が継続的に行われる授業
- 見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を重視した授業
- 個に応じた指導の充実した授業（少人数指導授業、ティーム・ティーチング）
- 効果的にICT機器を活用した授業
- 読書活動の推進

③ 学力向上のための現状分析・今後の方策の検討

- 「瀬戸の学び創造委員会」による分析、提言
- 各学校における分析や今後の方向性の検討
- 各中学校区における分析結果や今後の取り組み内容の共有化

④ 学習指導と評価の工夫・改善

- 児童生徒のよさや変容を積極的にとらえ、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばそうとする評価観をもって学習指導にのぞむ。
- 指導の過程や成果を評価し、評価したことを指導の改善に生かす。
- 評価方法を工夫・改善する。
 - ・目標に準拠した評価規準を設定し、事前に指導の手だてを構想しておく。
 - ・客観的な評価のため、チェックリスト・行動観察記録・写真等、様々な資料を活用する。
 - ・児童生徒の相互評価・自己評価の場面・方法を工夫するとともに自己評価能力を高める。

(3) いのちを大切にす教育の推進

- 道徳教育を中心に、あらゆる教育活動を通して
 - 自他のいのちの大切さを考える機会の設定、自己肯定感・自己有用感の育成

○ 人権教育を通して

→ 差別・偏見なく、互いの違いを認め合う態度や思いやる心の育成

(4) いじめ・不登校の克服

児童生徒が困難に直面したり挫折を味わったりしたとき、それに屈することなく前に進むためには、自己肯定感を高め、自分自身を信じるが必要となってくる。そのためには、小さな成功体験を積み重ね、友人、仲間、家族、まわりの大人が自分自身を支えてくれているという安心を感じさせることが大切である。また、それらを通して、「たくましく生き抜く力」を育てることがいじめ・不登校の未然防止につながる。

そんな児童生徒の成長をきめ細かく見守っていくためにも、小中一貫教育を推進し、小学校と中学校の情報交換を密にしていく。

また、児童生徒を育てるには、学校教育だけでなく、家庭教育、地域の教育それぞれが役割を担い責任を持つことが大切であるという認識を高め、さまざまな機関が「協働」していく必要がある。

①平成30年度の取り組み

ア テーマ

「いじめ・不登校0を目指して ～学校が大好き！自分が大好き！友だちが大好き！～
『一人ひとりの存在感がある学級づくり』」

このテーマは自己肯定感・自己有用感・学級所属感がいじめ・不登校を克服することにとって大切であるという考えに基づいている。

担任という立場に立った時、「自分のクラスではいじめをなくす。不登校をなくす」という強い意思を持つことが大切であり、それと同時に一人ひとりがかけがえのない存在であるということを瀬戸市の教員全てが子どもたちや保護者に伝えることが重要である。

イ 具体的取り組み

○ いじめ・不登校対策推進協議会(年4回開催)

推進協議会委員15名 いじめ・不登校対策事業の方針決定等

○ いじめ・不登校対策連絡会(年3回開催)

各校いじめ・不登校対策委員参加 中学校ブロック懇談等

今年度から連絡会を適応指導教室のあるやすらぎ会館で開催し、情報交換の場面では適応指導教室の指導員にも参加してもらい、児童生徒の現状把握を深めた。

○ 学級アセスメント (Q-U) 実施(小学4年生～中学3年生・年1回)

不登校傾向児童生徒の早期発見、要支援児童生徒の把握等

○ 中学校ブロック別いじめ対策懇談会

夏期休業・冬季休業中に開催 小中の情報交換

○ いじめ・不登校対策研修会の実施

Q-U 研修会・SSW r 担当者研修会・カウンセリング研修会

Q-U は結果を分析して今後の指導にどう生かすかという点が重要である。そのためには結果を正確かつ、深く読み取る力が大切となる。そこで、今年度は教員の力量に合わせ「初級」「中級」「上級」という3つのコースを設定し研修を行った。また、「中級」「上級」のコースを受講した先生には「校

内で指導的立場である」という自覚についても研修内で触れることができた。

○ SC・SSWr 連絡会議

- ・ 心理相談事業(年間60回開催)

- ・ SSWr(スクールソーシャルワーク)活用事業

平成28年度より、スクールソーシャルワーカー(SSWr)を導入している。

平成30年度は3名のSSWrが週2日勤務し、それぞれ2あるいは3中学校ブロックを担当。いじめ・不登校問題を中心に相談・支援・ケース会議等を行っている。学校現場からは「新たな視点でいじめ・不登校対策に取り組むができています」「時間的・多忙感解消だけでなく、精神的・多忙感解消につながっている」等の声が聴かれ、SSWrが浸透するとともに有効活用されていることがうかがわれる。

【平成30年1学期の実績】

	件数	問題解決	支援中(好転)	支援中	その他
不登校	20	1	1	18	0
いじめ、暴力行為、非行等の問題行動	1	0	0	1	0
友人等との関係の問題	1	1	0	0	0
虐待	1	0	0	1	0
貧困の問題	1	0	0	1	0
家庭環境の問題	11	2	0	9	0
心身の健康・保健に関する問題	1	0	1	0	0
発達障害等に関する問題	16	1	1	14	0
その他	0	0	0	0	0

<課題>

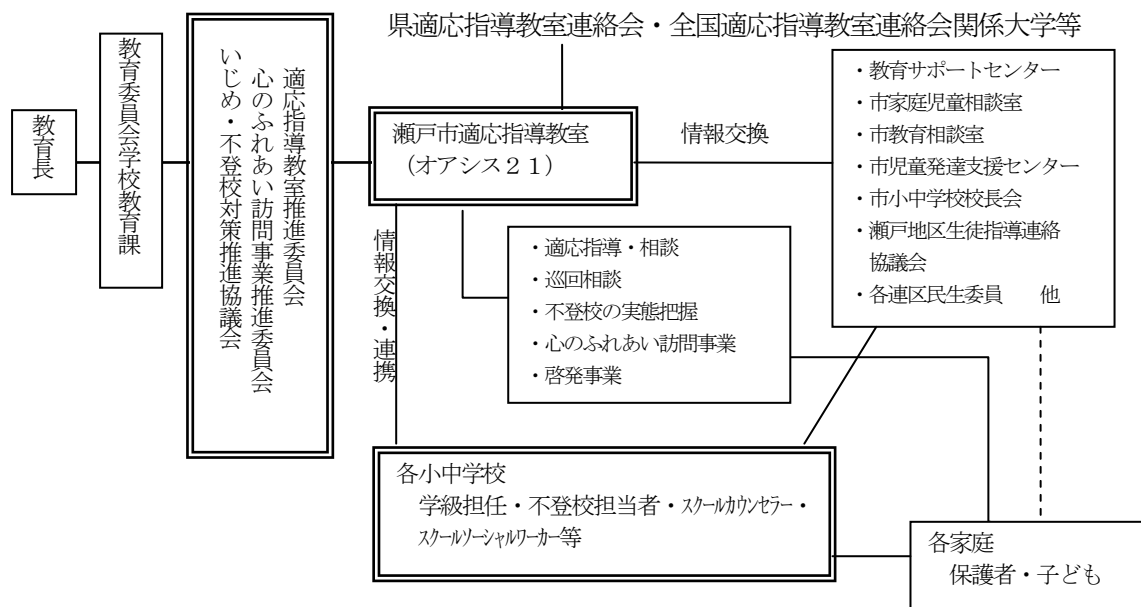
さまざまな問題に対して、SSWrが教員の指導をサポートしている現状は、非常に有効な指導となっている。また、SSWrが保護者を支援するためにはまず相談者が安心を感じてもらうことが第一歩である。そのため、長期にわたり支援が続く案件が多く、1人のSSWrが2～3中学校ブロックを担当している現状では圧倒的に時間が足りない。相談したいときに、相談できないという状況はせっかく培ってきた信頼関係も崩れてしまう。国も今後各校にSSWrを配置する施策を進めようとしているが、喫緊の課題としてSSWrの増員は必要となっている。

② 適応指導教室(通称「オアシス21」)

ア 適応指導教室事業方針

- ・ 「不登校」児童生徒への対応は、教育問題としてだけでなく、人生の方向性を見出させるうえでも依然大きな社会問題である。集団生活になじめない、心病んでいる不登校の児童生徒を対象に、特別に配慮した指導を行うことによって、当該児童生徒の自立を促し、学校生活及び社会生活への復帰を支援する。
- ・ 適応指導教室運営を中心にしつつ、不登校に関する諸活動を展開することによって、不登校に関する支援センターとしての機能を充実させる。

イ 組織



ウ 適応指導教室の事業内容

- 通級適応指導・相談
 - ・ 通級適応指導 … 適応指導教室での通級適応指導
オアシスメイトによる不登校児童生徒とのふれあい活動
 - ・ 適応相談 … 不登校に関する常時相談（所長対応：電話相談・来所相談）
- 相談事業
 - ・ オアシス相談 … オアシス21での面接相談 年45日
 - ・ 学校巡回相談 … 15小学校へ出向いての面接相談 年15日
 - ・ 保護者懇談会 … 不登校児童生徒の保護者懇談会としての相談会 年3回
 - ・ 適応相談 … 不登校に関する常時相談（電話相談・来所相談）
- 調査・研究
 - ・ 市教育委員会へ報告された長欠児童生徒の資料整理、巡回による実態調査
- 啓発事業
 - ・ 教職員啓発 … 適応指導教室の参観・不登校担当者会等による啓発・「年間活動報告書」の発行
 - ・ 保護者啓発 … 通信「オアシス21」を毎週発行、懇談会による啓発等

エ 通級適応指導教室の具体的運営

○ 目的

不登校の児童生徒を対象にして、相談・指導を行うことにより、学校生活および社会生活への復帰を支援する。

- 運営方針
- ・ 「学校復帰」「社会参加」を目標として支援する
 - ・ 今後の生き方・考え方の「自立」を引き出す働きかけを工夫する
 - ・ 「オアシスに通級させる」ことに、全力をあげる
 - ・ フリースクールではない

指導方針 ・児童生徒を中心に考え、①待つ②あせらない③強制しないを基本原則とする

- ・チーム「オアシス21」で指導する
- ・保護者との信頼関係を築く
- ・学校や関係機関との連絡を密にする

○ 設置場所

平成7年10月、瀬戸市体育館2階に仮施設として開設した。平成8年度末移転を完了し、平成9年4月より瀬戸市福祉健康センター（やすらぎ会館）2階に設置。

○ 通級対象者

様々な理由により、「学校に行けない」「行けていない」状態にある市内小中学校の児童生徒で、本人・保護者が通級を希望し、学校から申請のあった者

○ 通級指導担当者

瀬戸市適応指導教室指導員、ボランティア活動のオアシスメイト

○ 開設日時

毎日。月曜日から金曜日まで。瀬戸市内小中学校の学期・登校日に準じる。

- ・ 通級適応指導 … 午前9時00分 ～ 午後3時00分
- ・ 不登校相談 … 午前9時00分 ～ 午後5時00分

○ 適応指導教室への通級・入級について

- ・ 通級・入級についての主体的な指導は、学校・担任で行う。
- ・ 保護者・本人が見学し、本人・保護者が通級を希望し、学校長が承認すれば正式入級とする。
- ・ 通級時間・通級日等の具体的方法は、本人の意思を確認しながら決定していく。

○ その他

- ・ 適応指導教室での指導中、あるいは通級途上の事故については、独立法人日本スポーツ振興センターを適用する。
- ・ 通級した日は、校長の判断で、学校での出席扱いとする。

オ 平成29年度活動報告

○ 適応指導教室の日課

- ・ 通年の基本日課（夏休み中は特別日課）

午前中は「個別学習」、午後は「体験活動」を通年の基本形としている。午前中は個別学習の時間を《チャレンジタイム》として、通級生個々の能力・学力に応じた学習活動を支援している。午後の体験活動は《オアシスタイム》と呼び、仲間と一緒に活動することを通して、分担・協力を学ばせる場としている。

「学校登校」「学校復帰」に向けて、体験活動の重視は極めて有効であった。

	9：00	12：00	13：00	15：00
月曜 ～ 金曜	《チャレンジタイム》 個別活動（教科の学習活動） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語・社会・理科 （その他の教科の選択可能）	昼食 （弁当）	自由時間	《オアシスタイム》 集団活動（ふれあい活動） ・テニス ・バドミントン ・卓球 ・室内ゲーム ・工作 ・調理実習 ・畑作業 ・栽培活動 など

	9:00	12:00
月曜 ～ 金曜	《オアシスサマー21》 個別活動（個人進度による） ・小学生＝国語・算数 ・中学生＝国語・数学・英語・社会・理科	

・夏休み中の日課

※ 夏休み中は、《オアシスサマー21》として、学力補充を目的に、午前中を中心に20日間実施した。夏休みの課題等についても、取り組ませた。

※ 参加は個人の自由意思とした。

※ 原則、現在の通級生のみを対象とした。

※ 夏季休業中にオアシスカンパを実施した。その時は、午後に話し合いや準備も行った。

カ 適応指導教室の活動内容

【通級・在籍の状況】

平成29年度のおアシス登録・通級者数は33名で、内訳は右表のようである。おアシスでの登録・通級人数は、平成27年4月から、1日でも通級実績のある児童生徒（見学のみは含まれていない）をカウントしている。したがってこの人数の中には、数日おアシスに来て「学校に戻った子」、「おアシスにも来られなくなり家に引きこもってしまった子」も含まれている。

今年度は、在籍人数は例年とあまり変わらなかったが、おアシスに通級する児童生徒はすごく多かった。9月以降、おアシスに通級する児童生徒が急増し、11月末頃からは、おアシス始まって以来の大人数が通級することとなった。

H29年度登録・通級人数

学年	男	女	計
小1			
小2			
小3	3		3
小4	1	2	3
小5			
小6		1	1
中1	1	7	8
中2	5	6	11
中3	4	3	7
合計	14	19	33

【入級の実態と入級指導】

イ 入級の実態と入級指導について

平成29年度のおアシスへの見学者は39名（継続者3名＋新規見学者36名）であった。見学人数自体は、昨年とほとんど変わらなかったが、今年度は、見学のみで終わった子は少なかった。見学に来た子のほとんどが、教室の雰囲気や好印象を持ってくれた。嬉しい限りである。ただ、11月以降に見学に来た子は、通級生的人数が多すぎ、机が足りなくなる可能性をも伝えなくてはならなかった。そのため、12月以降の見学者は、入級を控えた者も少なくない。通級人数の関係で、本当は通級したいのに通級できなかった不登校生を救うことができなかったことは、今年度の一番の反省点である。月別では、やはり9月からどっと増えたのが分かる。これは毎年の傾向であるが、本年度はそれが特に顕著であった。昨年は、12月に不登校の子たちがどっと動いたのを感じたが、今年はそれが3ヶ月早かった。もう一つ気になるのが、本年度は担任や学校への不信感から学校に行けなくなり、おアシスに駆け込む児童生徒が多かったことである。担任・学校のちょっとした対応の善し悪しで、不登校を生み出してしまうのは、心許ない気がする

H29おアシス月別見学者数			
月	男	女	計
継続	2	1	3
4月	2		2
5月	1	5	6
6月	2	2	4
7月		1	1
8月	2		2
9月	3	5	8
10月	1	1	2
11月	2	3	5
12月		1	1
1月		3	3
2月		2	2
3月			0
合計	15	24	39

【適応指導の状況】

今年度は、まずオアシスに通級させることを優先したので、午前中のチャレンジタイムの時、一時期騒がしくなる 때가あった。厳しいことを言わず、いろいろなことを大目に見ていたため、ずるずるとルールが崩れていったようである。途中から、学習時間の確保ということをしっかり掲げ、取り組ませることにした。このあたり、ここはフリースクールではなく、適応指導教室であるということを忘れないようにやっていかなければならない。ただ、勉強から逃げたいという子がかなりいることも確かである。その多くが現学年の学習内容が分からないという子であるため、来年度はもっと個に対応し、理解できる段階まで戻って指導することを考えていきたい。

午後のオアシスタイムは、不登校の子たちには貴重な時間である。オアシスに通う子たちは、集団行動やコミュニケーションの苦手な子が多いので、これが人間関係を学ぶ大切な機会になっていた。今年度は、この活動の中でトラブルが多かったが、反面それがオアシスに通う子たちの社会性を養うよい機会にもなった。ただ、今年度人数が多すぎたため、体育館や畑などへ行く移動手段に困った。市所有のキャラバンを借りたり、所長の車まで出すことが何度もあった。そのためその間は、オアシスは無人状態にせざるを得なかった。今後、活動内容・活動場所・移動手段など、一考していく必要がある。

【適応指導教室の成果】

ア 子どもの変容

オアシスに見学に来た当初は、覇気がなく、無表情であった子が、オアシスに少しずつ通えるようになってくると、日に日に表情が変わっていき、次第に笑顔も見られるようになる。こんな児童生徒たちを見ていると、手前味噌になるが、適応指導教室(オアシス21)は本当に必要なものだとつくづく感じさせられる。今年度は多くの子が、オアシスに自分の居場所を見つけ通っていた。反面学校でも、自分の居場所さえあれば、普通に通える子ばかりであるということが言える。

イ 学校や関係機関との連携

今年度は、月1回程度スクールソーシャルワーカー(SSWr)との情報交換を行った。それぞれかかわっている子が重なる部分もあり、有意義であったと感じる。学校との連絡もできる限りとりあうようにした。ただ、オアシスの通級生が学校に行く場合、事前に知らせておいたのに、学校側の連絡ミスでうまくいかないこともあった。

ウ 保護者との連携

保護者とは、できるだけ連絡を密にとるようにしてきた。特に、今年度はオアシス内で個別の保護者懇談会も開催してみた。多くの保護者は、オアシスに通うようになって、子どもがよい方向に変容しているのので、こちらの意見も好意的に聞いてもらえた。中学生も多いので、将来的な進路の話も保護者とは共有しておく必要性があると感じた。

エ 引きこもり児童生徒の対応

オアシス独自のHPの対応がなかなか予算化されないので、今年度はブログを独自に立ち上げた。ネット時代なので、家に引きこもっている子たちのために、オアシスの存在を少しでも知ってもらうためである。オアシスに入級してくる子の中には、事前にこのブログを見て、ある程度内容をとらえてくる子もいた。正式なHP等を立ち上げる対応を、早急にする必要性を感じる。

オ オアシスタイムの運用

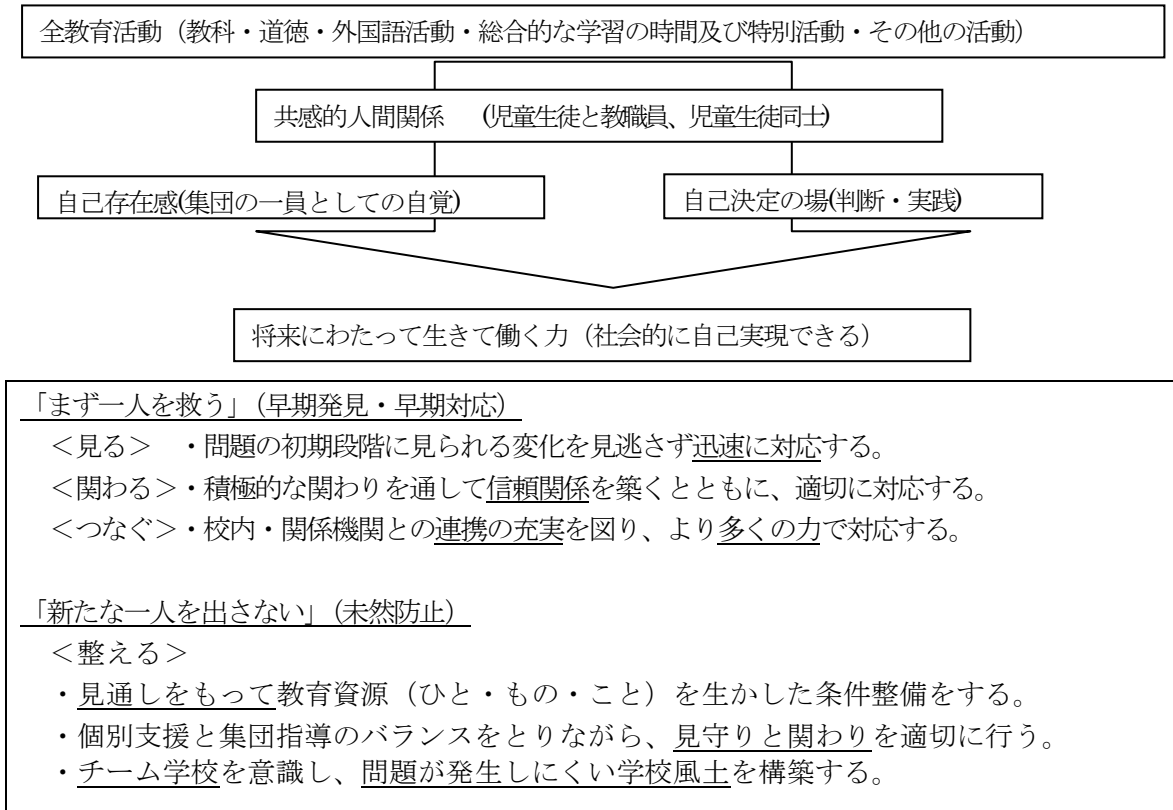
午後のオアシスタイムは非常に重要で、今後も絶対に続けていきたい活動である。しかし、前述もしたが、農作業をする畑や運動をする体育館等へ行く手段が、指導員の自家用車(公用車登録済)に頼らざるを得ない状況である。今年度は人数が多く、所長の車も何度か動員しなければならなかった。その間、オアシスの事務所は誰もいない状態にせざるを得なかった。移動方法等、今後考えていかなければならない。また、このまま

オアシス通級生が増え続けるようであれば、教室自体パンクしてしまう。第2オアシスを設置することも検討していかなければならないかもしれない。

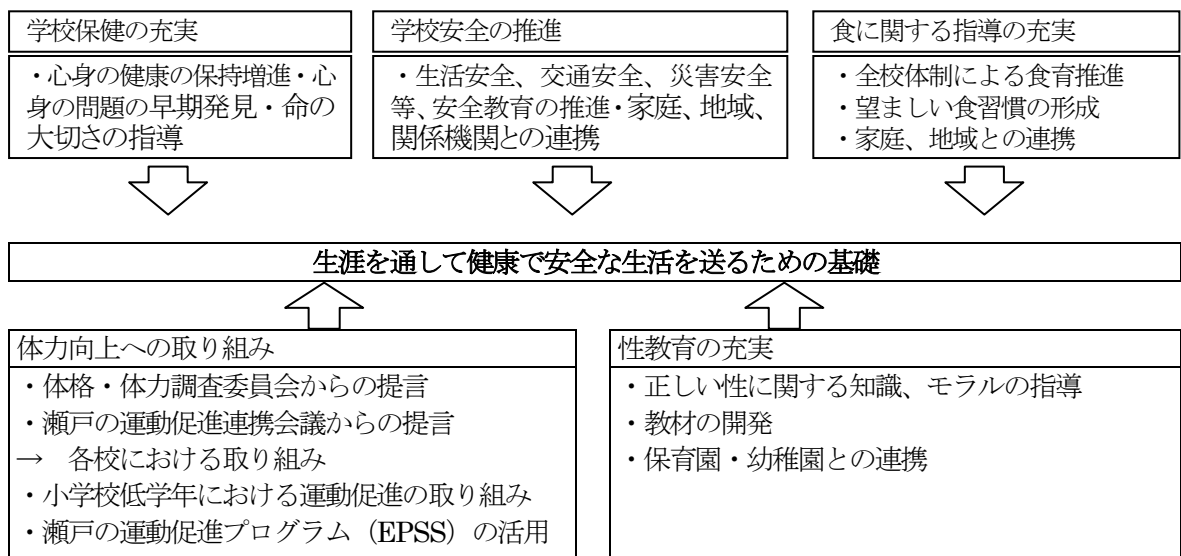
カ 「やすらぎ木曜日」への参加

今年度からやすらぎ会館内で開催している木曜日(社会福祉協議会主催)に参加させてもらった。これが、①通級生のコミュニケーション機会が増えた ②農作業が意欲的になった ③売り上げを調理実習代に利用できた ④やすらぎ会館内の人たちとの交流が深まった等、予想もしない大きな成果があった。来年度も続けていきたい大切な活動となった。

(5) 生徒指導の推進



(6) 健やかな体の育成



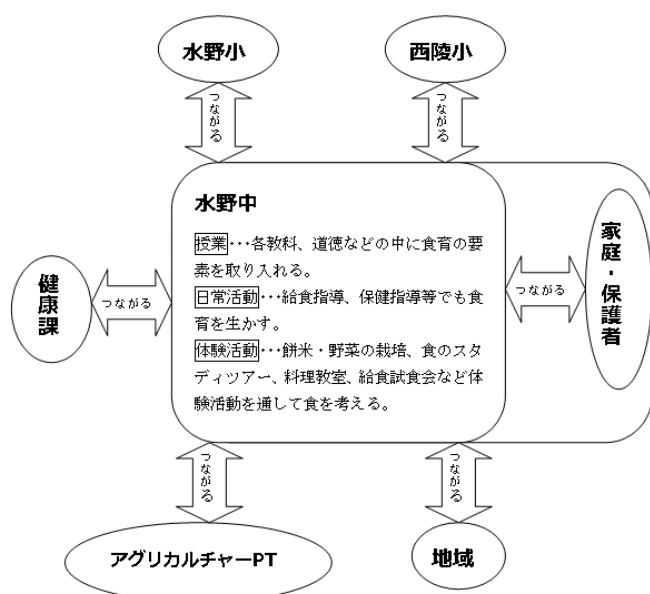
○瀬戸の食育

子どもたちが、望ましい食生活を自ら工夫し、
豊かで健康な生活を築いていく基礎を培う

取り組みの重点

平成29年度文部科学省委託事業「つながる食育推進事業」に瀬戸市立水野中学校が受託した。栄養教諭が中心となり、学校が核としてアグリカルチャープロジェクトチームや健康課などの関係機関や地域の生産者の方々と連携しながら、学校においてより実践的な食育を行うとともに、その活動に保護者も参画して、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを研究し、平成30年度も瀬戸市からの委嘱を受け、継続して研究に取り組んでいる。

また、小中連携教育の一環として水野地区の小学校（水野小学校、西陵小学校）と9年間を見通した食育を推進するために協力して研究を行っている。



担任と栄養教諭がTTで食育を行う様子



【瀬戸市小・中・特別支援学校全体として】

- ・ 瀬戸市アレルギー対策委員会の設置

各校において、正しい知識のもとで食物アレルギーに対応することができるように、瀬戸市でアレルギー対策委員会を設置し、マニュアルを作成する準備をしている。

- ・ 中学校での食育指導案、指導資料の作成

小学校の食育への取り組みや指導案の活用状況を元に、中学校でも指導案や指導資料を作成し食育を切れ間無く継続させる。

- ・ 中学校での栄養教諭・学校栄養職員との連携検討

小学校だけではなく、中学校でも栄養教諭・学校栄養職員とのさらなる連携をすすめるための方策を検討する。

○瀬戸の運動促進

平成25・26年度に、市内5つの保育園で取り組んできた体力向上のための活動を、平成27年度からは、小学校低学年にも広げている。今年度は、瀬戸の運動促進プログラムを保育園・小学校全校に配布し、実施している。また、名古屋学院大学との協力校を小学校4校に増やし、実践研究を進めている。

これまでの取組を継続して行うことで、次のような効果が期待できると考える。

- 運動好きな子、日常的に運動を行う子の増加
- 二極化現象に歯止めをかけ、健康的な体づくりにおいて底上げを図ることができる
- 自分に対して自信がもてるようになる子の増加、活動的、意欲的に生活する子の増加
- 保護者、保育士、教員の運動に対する指導への意識および指導者の指導技能の向上

保育園と小学校が連携

共通のねらいや方向性

保小連携の下、瀬戸市としての運動に対する考え方や取り組み方について協議し、共通理解を図る

これにより、「瀬戸の運動促進連携会議」を開催し、保育園と小学校で切れ目のない一貫した指導をすることができるよう、実態の把握や啓発活動に取り組んでいく。また、体力向上を図るという直接的なねらいのみならず、子どもたちの生活習慣を改善する、子どもたちの何事にも前向きに取り組もうとする姿勢や意欲、挑戦する心、自信を高める、そして仲間と協力する姿勢を育むことにも効果が期待できる。



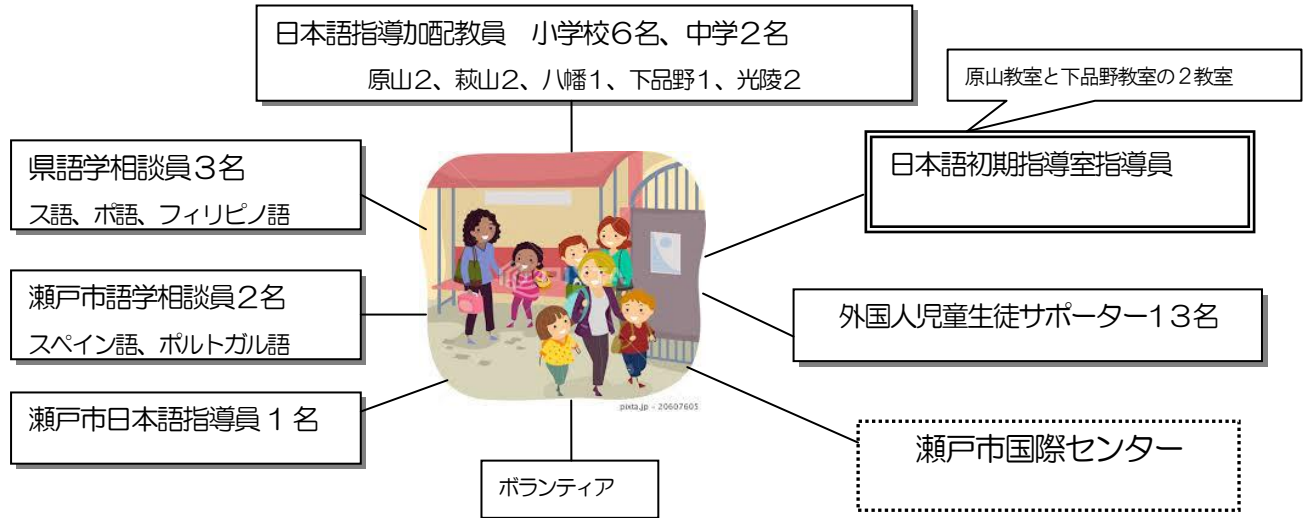
(7) 外国人児童生徒に対する日本語教育の充実

- 日本語初期指導教室における日本語指導・適応指導
- 外国人児童生徒サポーターによる学校生活の支援
- 悩みを抱える外国人児童生徒に対する心のケア
- 日本語教室がない学校への遠隔システムによる日本語教室の開催

日本語指導が必要な児童生徒数

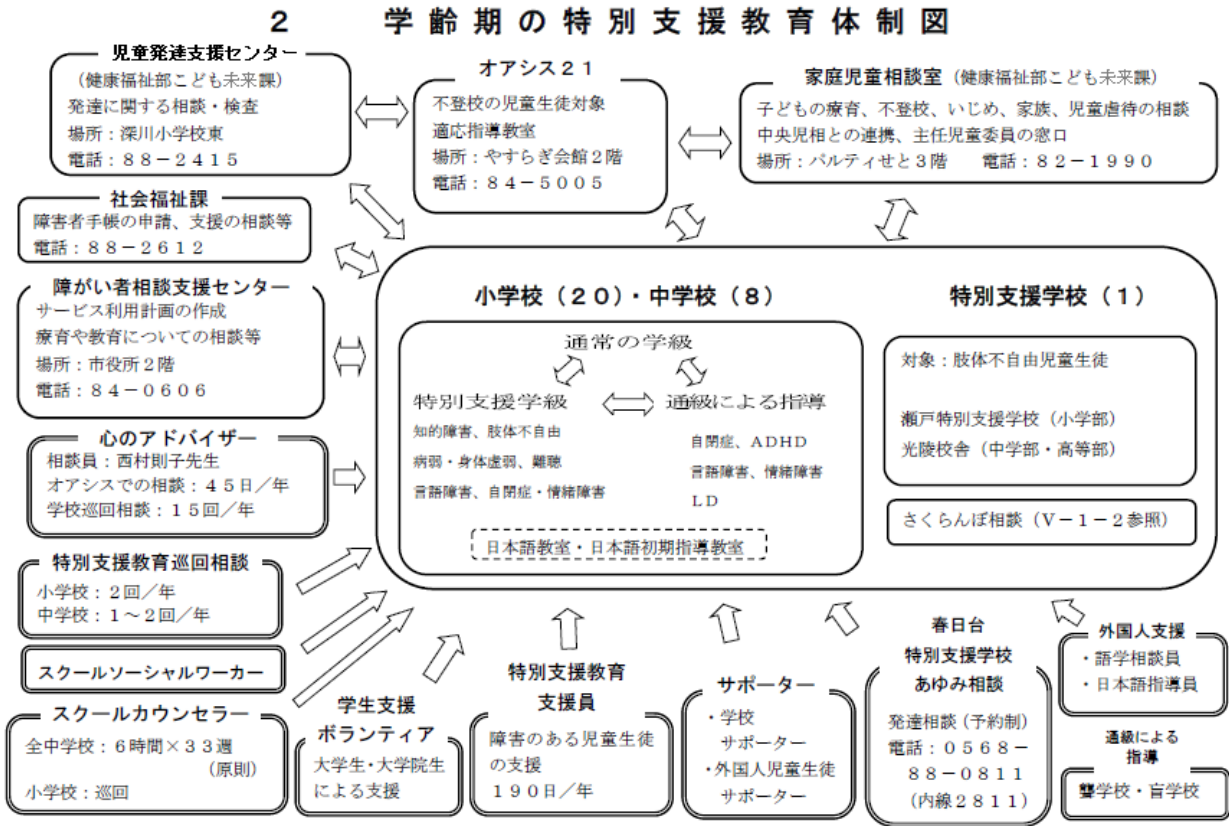
	小学校	中学校
外国籍の児童生徒数	116名(9校)	55名(6校)
日本国籍の児童生徒数	2名	1名
合計	118名	56名

日本語指導の支援体制



(8) 特別支援教育の充実

①瀬戸市の特別支援教育体制図（平成30年度）



②瀬戸特別支援学校（愛称：さくらんぼ学園）

平成22年4月1日	瀬戸市立瀬戸養護学校開校
平成26年4月1日	瀬戸市立瀬戸特別支援学校に名称変更 瀬戸市立瀬戸特別支援学校光陵校舎開校

開校以来、校訓の「支え合い、活動的に、今を生きる」のもと、保護者・地域・職員が一丸となって教育を

進めている。萩山小学校との併設という利点を生かし、開校当初より萩山小学校との交流活動を盛んに行ってきた。各学年交流や児童会交流、学校行事としての「まるっとせとっ子フェスタせとっ子音楽会」における合同発表の他、休み時間の自然な交流など、ノーマライゼーションの理念の実現に向けた取り組みが行われている。瀬戸市以外にも、尾張旭市と長久手市から児童生徒を受け入れており、教育支援部が中心となってさくらんぼ相談（教育相談）による地域支援にも力を入れている。

③特別支援学級

平成30年度特別支援学級設置状況（平成30年5月1日現在）

障害種別	小学校		中学校	
	学級数	児童数（人）	学級数	生徒数（人）
知的障害学級	17	44	8	33
肢体不自由学級	5	5	1	1
病弱・身体虚弱学級	2	2	1	1
難聴学級（聴覚障害）	1	2	0	0
言語障害学級	0	0	1	1
自閉症・情緒障害学級	18	58	5	17

上記の他に、公立陶生病院内の院内学級は、病弱・身体虚弱学級として、対象児童が当該病院に入院した場合に効範小学校に設置される。

市内全小中学校の特別支援学級が交流する「あすなろ交流会」は、10月12日（金）に瀬戸市体育館で行われた。この他にも、中学校区を中心として学校間で交流活動を行っており、様々な活動を通して自立に向けての支援を行っている。

④通級による指導

平成30年度通級指導教室設置状況（平成30年5月1日現在）

学校名	学級名	障害種別	
陶原小	通級指導教室	LD	設置校
東山小	通級指導教室／コスモス学級	LD	巡回校
西陵小	通級指導教室／コスモス学級	ADHD	設置校
幡山西小	通級指導教室／大空学級	ADHD	巡回校
水野小	通級指導教室	ADHD	巡回校
水南小	通級指導教室／	LD	設置校
長根小	通級指導教室／ひかり学級	LD	巡回校
水野中	通級指導教室	LD	巡回校
南山中	通級指導教室	LD	巡回校
効範小	通級指導教室	LD	設置校
幡山東小	通級指導教室	LD	巡回校
下品野小	通級指導教室	LD	巡回校
八幡小	通級指導教室／みつばち教室	LD	設置校
原山小	通級指導教室	LD	巡回校
古瀬戸小	通級指導教室	LD	巡回校
萩山小	通級指導教室	言語障害	設置校
光陵中	通級指導教室	情緒障害	設置校
幡山中	通級指導教室	ADHD	設置校
祖東中	通級指導教室	ADHD	巡回校

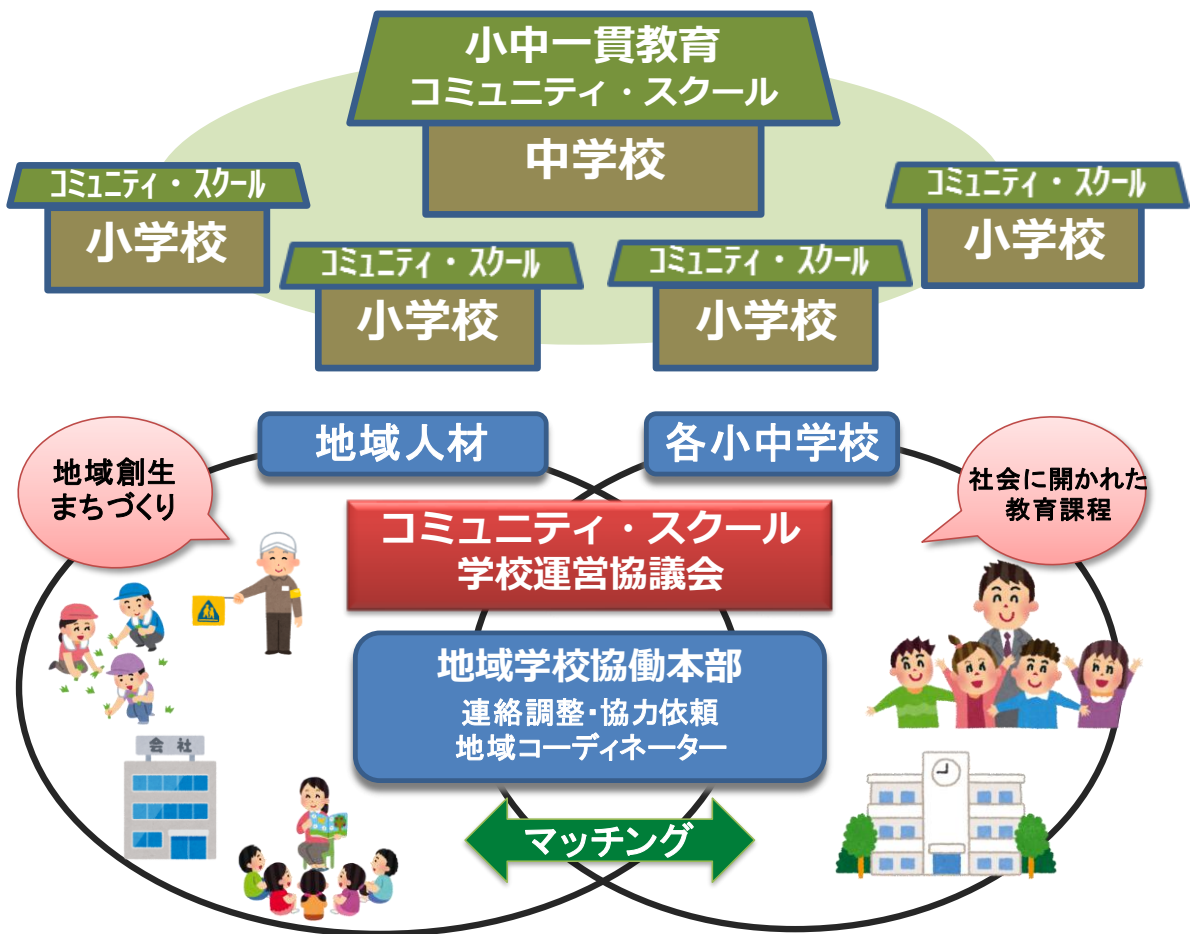
⑤ 特別支援教育支援員及び学校サポーター

通常の学級・特別支援学級に在籍する、特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、市全体として特別支援教育支援員を16名、学校サポーターを約60名配置している。さらに一人ひとりの教育的ニーズに的確に応えるため、特別支援教育支援員及び学校サポーターの充実を図る必要がある。

(9) 「地域とともにある学校」づくり

- 地域(含家庭)と学校が連携・協働して、子どもたちの対してどのような資質を育むのかという目標を共有しながら、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく。
→「地域の子どもは地域で育てる」という意識が高まる。
- 地域の教育力の再生・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。
- 従来の「支援」から「連携・協働」を目指す新体制として「コミュニティ・スクール」「地域学校協働本部」を設置する。

地域・家庭・学校が一体となって子どもを育てる仕組みです！



【30年度の取り組み】・・・「コミュニティ・スクール」「地域学校協働本部」設置に向けて

○コミュニティ・スクール設置推進事業研究指定校の委嘱

< 期 間 > 平成30年5月1日 ～ 平成31年3月31日

< 目 的 >

瀬戸市教育アクションプランに基づき、地域とともにある学校づくりを推進するため、長根小学校を平成30年度「コミュニティ・スクールで育む笑顔あふれるまちづくり推進事業研究指定校」とする。

また、研究結果については、平成32年4月開校のにじの丘学園をはじめ、市内各校においてコミュニティ・スクールを設置する際の問題解決、啓発、促進の材料として提示し、瀬戸らしい教育の実現を目指すために活用していく。

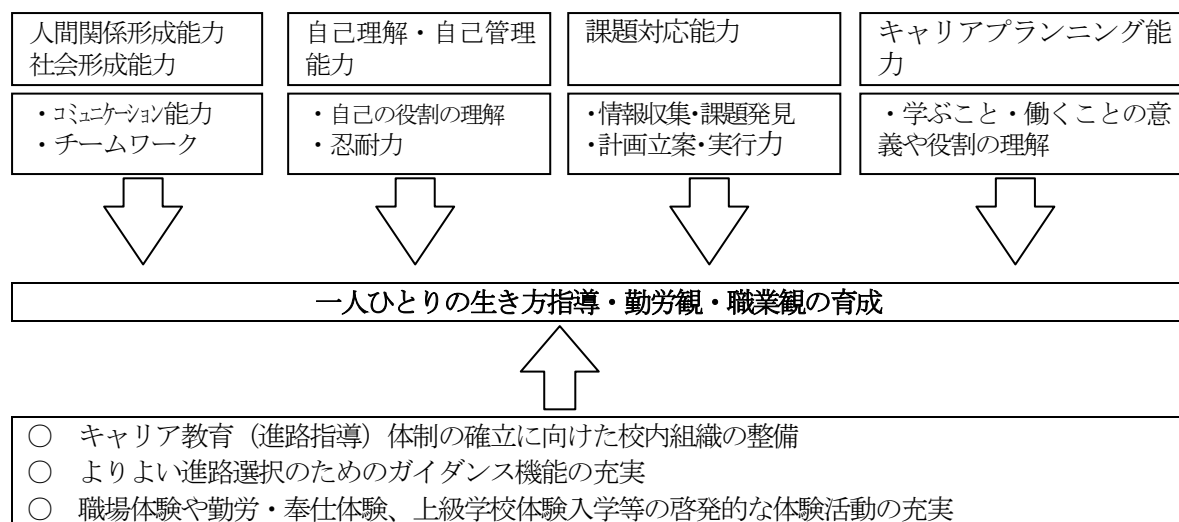
<研究項目>

- ① 組織体の在り方（全体像と各組織体の役割）
- ② 各組織体の協議内容の在り方
- ③ 学校経営目標の共有による成果と課題
- ④ 教職員の役割と意識変化
- ⑤ 地域関係者の意識変化
- ⑥ 児童の意識変化

○ 地域学校協働研修会の開催

- 第1回（導入編） … 「セト・ティーチャーズ・アカデミー」
地域学校協働の意義や目的を具体的な事例から学ぶ
- 第2回（ホップ編） … 「瀬戸市教育シンポジウム」
キミチャレ全員発表 有識者によるパネルディスカッション
- 第3回（ステップ編） … 「セト・コミュニティ・アカデミー①」
地域学校協働の意義や目的を具体的な事例から学ぶ
- 第4回（ジャンプ編） … 「セト・コミュニティ・アカデミー②」
有識者による車座ワークショップ

(10) キャリア教育（進路指導）の充実



(11) 子どもの創造性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む力の育成【未来創造事業】

各学校が子どもの実態や地域の特色を生かし、創意工夫して主体的・創造的な教育活動を展開し、子どもたち一人ひとりの未来を切り拓く「自ら考え、学び、生き抜く力」を育む。＜環境教育 国際理解教育 キャリア教育 食育 福祉教育 自然体験 地域学習等＞

○ 伝統文化伝承

地域の製陶所を訪れ、陶芸作家の協力を得て、陶製のお雛様作りを行った。毎年、個性豊かなお雛様が出来上がり、『瀬戸のお雛めぐり』とタイアップして、深川神社に展示している。



○ 国際理解教育

オーストラリア、ニュージーランドの学校と友好提携し、相互訪問活動を通し、国際交流活動を行っている。訪問を受け入れた場合は、全校生徒がふれあえるよう工夫をし、訪問した場合には、帰国後、文化祭等で報告会を行い、全校生徒が共有できるようにしている。



オーストラリア ロービル・セカンダリー・カレッジとの交流



ニュージーランドワイコワイ中学校との交流

○ 環境学習

「マメナシおじさん（マメナシ観察会の方々）」との学習を通して、自然に対する畏敬の念や親しみを深めている。マメナシ学習を通して、地域にある自然や植物について考える環境学習のみならず、その取り組みを通して地域の方々とのつながりが一層深まった。



○ 福祉教育

「障がい者スポーツ体験教室」を行い、東京パラリンピックの陸上強化指定選手を講師にお迎えした。義足で片腕にも関わらず、駿足で、サッカーのリフティングやバスケットボールのシュートも見せられたり、クラブ活動に参加していただいてバドミントンを一緒にやったりした。障がいをもっていても生き生きとしている講師の先生の姿を、子どもたちは尊敬のまなざしで見ている。



(12) 保護者・地域への発信、市民・関係団体との連携【まるっとせとっ子フェスタ】

① ねらい

瀬戸市在住・在学の子どもたちが、日頃の学習の成果を発表する場として、毎年11月に「まるっとせ

とっ子フェスタ」を開催している。このフェスタは、子どもたち同士、また、子どもたちと市民の方が交流し、つながりと信頼を深める場でもある。

子どもたちが元気いっぱい活動する様子を市民の皆様に見てもらい、瀬戸の学校、瀬戸の教育について、理解を深めてもらいたいとの思いで、企画・運営している。

② 内容

ア セとっ子音楽会

瀬戸市内にある学校が、日頃練習してきた歌や合奏の成果を発表している。ほかの学校の児童生徒や保護者、地域の方々に楽しんでもらえるように毎年工夫を凝らしている。今年度から、小学校は3年に2回、中学校は隔年での出演となったが、元気いっぱいの小学生の歌声、レベルの高い中学生の合唱、気持ちをひとつにした部活動の演奏など、様々な子どもたちの様子を見ることができ



イ 中学生 英語スピーチコンテスト

瀬戸市内の中学校の代表生徒が、英語スピーチに磨きをかけ、舞台発表を行う。瀬戸西高校による発表やALTによる異文化発表なども行っている。



ウ 小学生 英語スピーチ発表会

今年度から平成32年に外国語が教科化されるのを見据え、中学生だけでなく、小学生も英語スピーチを発表する機会を設けた。

エ 学校活動ブース

子どもたちが作ったり、仕入れたりした品物を、大きな声でアピールして販売する。お値打ち品や、ユニークな商品をじっくり見ながら、楽しく買い物をしていく中で、瀬戸市のキャリア教育の一端を感じることができる。



オ 各種展示会

瀬戸市の子どもたちが、授業で制作した作品や、夏休みに挑戦した課題を展示する。子どもたちの豊かな発想力や、見事な作品は、多くの方々から賞賛の声があがっている。



【展示内容】

せとっ子書写展、瀬戸子ども図工・美術展、せとっ子科学展、特別支援教育展、技術・家庭科展、ポスター展

カ わくわくせとっ子ワールド

「まるっとせとっ子フェスタ」に会場した方々を、体験ブースでおもてなしする。様々な団体にご協力いただいたり、瀬戸市内の先生方にもアイデアを出してもらったりしている。いろいろなジャンルのブースを体験することができる。

(13) ライフステージに応じた切れ目のない教育の推進

- 関係機関の連携による教育の推進
 - ・ 保育園における保育、幼稚園教育および小学校教育を互いの職員が知る機会を創出する。
 - ・ 中学校ブロックごとの活動を増やす。
 - ・ 子ども同士が触れ合う機会、職員同士が学び合う機会を増やす。
 - ・ 幼保、小、中の情報交換・情報共有を積極的に進める。
 - ・ 特色ある学校づくりを推進する。(小中一貫校、小中一貫教育の推進)

(14) 適正で魅力ある教育環境の充実

- 魅力ある学校づくりと学校の適正規模・適正配置の充実
 - ・ 児童生徒が適切な教育環境で学校生活を送ることができるよう、教職員が主体的に考え、学校の適正規模・適正配置を進めるとともに、魅力ある学校づくりを推進する。
- 安心で安全な学校づくりの充実
 - ・ 児童生徒が自他のいのちを大切にし、自ら考えて行動することができるようにするための実践的な防災教育を実施する。
- 信頼される学校づくりの推進
 - ・ 学校公開日を設けたり、学校通信やホームページなどにより広く情報発信をしたりして、開かれた学校づくりを進める
 - ・ 家庭・地域・他機関と連携・協力し、「チーム学校」としての学校マネジメント力を高める。

3 教職員の研修

(1) 方針

- 教育に携わる者として、自らの専門性確立のために、謙虚な態度でたゆまなく研修に努める。教職員も、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成する。
- 校内現職教育の充実に努め、学校教育目標の達成をめざして、研修等の活動を推進する。
- 文部科学省・愛知県教育委員会・愛日地方教育事務協議会・市教育委員会並びに各種教育研究団体の研修機会を活用する。

(2) 教職経験に応じた研修等と「自ら考え、学び、生き抜く力」の育成

経験	「教員として必要な資質能力」	年数	主な研修	「自ら考え、学び、生き抜く力」の育成
1年 5年	<p>学級指導・生徒指導・学級経営 学校における職務一般等について の職務遂行能力</p>	1年目	初任者研修 ○県・尾張・市の研修計画に基づいて実施する。	
		2年目	2年目研修 ○教育研究の進め方について研修 ○夏季研修（教育実践レポート中間報告） ○教育実践レポート提出（A4 4ページ）	
		3年目 4年目	少経験者研修（3・4年目研修） ○夏季研修 <生徒指導・道徳・特別活動等> ○教育論文執筆は任意とする。	
		5年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
		6年目	5年経験者研修 ○5年研修における校内研修の充実に図る。 ○校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	
10年	<p>学級・学年運営、 教科指導、生徒指導、 学校運営上の職務等 に 関 し て の 力 量</p>	7年目 8年目 9年目 10年目	○教育論文執筆は任意とする。 ○校内研修・自主研修等により力量向上を図る。	
		11年目	10年経験者研修 ○10年研修における校内研修の充実に図る。 ○校内研修における課題追求にあわせて「教育論文」を執筆する。	
20年 30年	<p>若手教員への指導助言 職務に関する専門的知識・技能 幅広い教養 調整力・運営力等</p>	12年目以降	○教育論文執筆は任意とするが、常に自己の教育課題を有し、追求する ○各職務・担当に応じた研修 ○教員免許更新講習 ○校内研修・校内研究 ○その他の研修 ・自主研修、その他	

教員としての力量向上を図り、その専門性を確立していくためには、教職経験を重ねたり、様々な研修に参加したりする中で、その経験や職責、学校において担うべき役割に応じた資質能力を身につけていく必要がある。あわせて、自己の教育課題を見出すとともに、その解決に向けてたゆまなく研究・研修に努めていかねばならない。こうした過程は、教職員自らの「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成する取り組みである。児童生徒・保護者・地域から信頼される教員であるために、常に自己研鑽に努めていかねばならない。

① 初任者研修

新規採用教員に対して、教員としての自覚を高め、実践的な指導力を養うとともに、幅広い見識を会得させ、教員として必要な資質の向上と研修意欲の喚起を図る。指導教員を中心として学校全体であらゆる機会を通じて取り組み、研修の充実を図る。

② 2年目研修

採用2年目の教員に対して、初任者研修等を通して身につけた教員としての資質・実践的指導力の更なる向上を図る。また、教育課題の見出し方・教育研究の進め方について研修し、自らの教育課題に基づいた実践を課題レポートにまとめ、提出する。

③ 少経験者研修（3・4年目研修）

3・4年目の教職経験者を対象に、「道徳」「特別活動」「生徒指導」に関する研修を3年一巡で実施する。
〔平成30年度「道徳」・平成31年度「特別活動」・平成29年度「生徒指導」〕

④ 教職経験者研修

ア 5年経験者研修

- ・ 校内研修の充実を図る。
- ・ 総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・ 平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修課題を教育論文にまとめ提出する。

イ 10年経験者研修

- ・ 総合教育センターの実施要項に従い研修を行う。
- ・ 社会体験研修と異校種体験研修については、併せて3日間の研修を選択し受講する。
- ・ 校内研修・特定課題研究等、校内研修計画の充実を図る。
- ・ 平成23年度以降の採用者及び転任者は、校内研修や課題を教育論文にまとめ提出する。

⑤ 教育研究論文

全教職員を対象に、個人及び共同での教育実践を踏まえた教育研究論文を募集する。

⑥ 指定研修員

研究心旺盛かつ指導力に優れた者で、今日的教育課題を研究課題としている教員を対象として募集する。候補者の推薦は、本人の願書に校長推薦書を添えて、市教委へ提出する。願書等は規定の用紙を学校へ年度当初までに送付する。市教委は、応募者の中から過去の研究実績・研究課題・研究状況等を考慮し、10名程度決定する。

⑦ スクールセミナー

学校の教育活動の充実のために、各校が取り組んでいる「未来創造事業」の推進や教員の授業力・指導力向上に向けて、指導主事、教科指導員を派遣する。

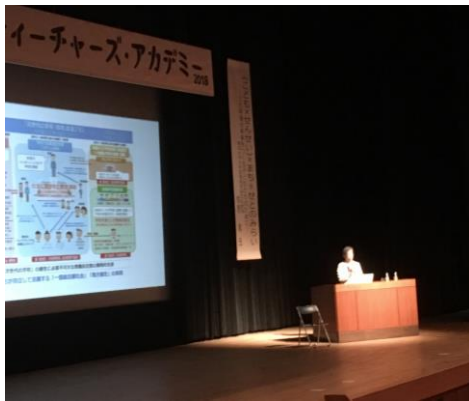
⑧ 精神衛生推進事業

各学校に在籍するいじめ・不登校など様々な問題を抱える児童生徒や発達障害のある児童生徒の理解や指導方法、エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどの技法等について研修するために、豊かな見識と経験をもつ講師を各学校の要請に従って派遣する。

⑨ セト・ティーチャーズ・アカデミー

第2次瀬戸市教育アクションプランの具現化にむけて、教職員の資質の向上を図るとともに、瀬戸の教育を創造していく機会とする。子どもたち一人ひとりの学びや成長を、確かに支えていく教育活動を推進していくための研修を深める。全教職員を対象とし、午前に全体会、午後に分科会を開催する。

<平成30年度の取り組み>



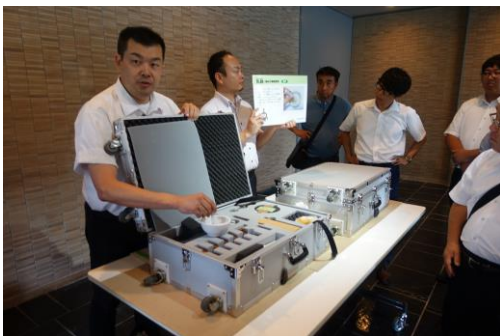
午前の部 牧野 篤氏の講演

新しい瀬戸の教育の大きな柱となる「地域学校協働」に焦点を当て、東京大学大学院教授の牧野 篤氏を講師として迎え、「(こども) × (せんせい) × まち = せとのみらい」
—30年後の未来をつくる子どもたちのために—
と題し、学校・地域がパートナーとして連携・協働し、子どもたちの学びを充実させていく必要性について学ぶことができた。また、講演に先立って、瀬戸市出身のピアニスト江川智沙穂さん、そしてヴァイオリニストの宮田英恵さんをゲストに迎え、ミニコンサートも開催した。

これからの瀬戸市のあり方を見つめなおすよい機会となった。

午後は、瀬戸市の各研究会による自主的・創造的な講座や外部講師の協力を得て、13講座を開設した。その講座に対して個々の先生が興味や課題に応じて講座を選択し、意識の高揚や力量向上を図る機会となった。

<午後の部 分科会の様子>



「愛知県陶磁器美術館で学ぼう！愛知のやきもの」

—見る・触れる・交流する—



「私の見たロンドンオリンピック」

—より速く！より格好よく走ろう！—



今さら聞けない！？大筆の基本点画
—毛筆の筆づかいが美文字に生きる—



教師として身につけたいアンガーマネジメント
—自分の、そして相手の怒りの感情を抑える方法を学ぶ—



パラリンピック種目「ボッチャ」を体験しよう
—2020 東京パラリンピックへのファーストステップ—



生活における安全対策と訓練
—すごろくを使って安全対策を
瀬戸の子にひろめよう—

⑩ 各種研修会

教職員の力量向上のため、各種研修会を実施する。

○ 学校経営研修会	○ 指導力向上研修会	○ 発達支援研修会
○ いじめ対策研修会	○ カウンセリング研修会 等	

(3) 各組織による研究推進・研修会開催

① 研究推進校の委嘱

	事業名	委嘱先	年度
県	キャリアスクールプロジェクト	8中学校	30
国・県	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 研究実践校	八幡小学校	30
国・県	学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究	品野中ブロック	30～31
市	コミュニティースクールで育む笑顔あふれるまちづくり推進事業	長根小学校	30
市	つながる食育推進事業	水野中学校	29～

② 研究の委託

- 社会科副読本「せと」・「瀬戸」編集委員会

社会科副読本「せと」・「瀬戸」の改訂に向け、資料の収集と編纂等を行う。

- 教育情報化推進委員会

学校教育の情報化推進に向け、ICTを活用した授業および校務用コンピュータの活用についての研究を進める。

○ 性教育推進委員会

性教育の推進を図る。指導用資料「明日へのあゆみ」の改訂を行う。

○ 特別支援教育推進委員会

特別な支援を必要とする児童生徒の実態把握・支援のあり方、効果的な校内支援体制作りについての研究を進める。

○ 食育推進委員会

食育を推進していくためのカリキュラムづくりや指導方法などの研究を進める。

③ 各職務・担当者等研修会

○ 校長研修会	○ 教頭研修会	○ 教務主任研修会
○ 校務主任研修会	○ 保健主事研修会	○ 養護教諭研修会
○ 学校事務職員研修会	○ 学校経営研修会	○ 特別支援教育担当者研修会
○ 特別支援教育コーディネーター研修会	○ 栄養教諭・学校栄養職員研修会	
○ 学校用務員夏季共同作業研修	○ 学校用務員緑化研修（不定期開催）	

④ 各種委員会・連絡協議会

○ 現職教育委員会

現職教育全般に関する企画・運営

○ 学校教育組織検討委員会

瀬戸市全体の学校教育の組織体制・運営方法の見直し

○ 教育支援委員会

適正就学に向けての検討や教育相談の実施

○ 瀬戸の学び創造委員会

「確かな学力」の向上に向けての検討・提言

○ 瀬戸地区生徒指導連絡協議会

小中高校の生徒指導担当者による各校等の情報交換及び協議

○ 瀬戸市交通安全指導連絡協議会

小中高校の交通安全担当者による各校等の情報交換及び協議

○ いじめ・不登校対策推進協議会

いじめ・不登校問題の実態把握、予防・改善策について協議、いじめ・不登校対策研修会の実施

○ 瀬戸市特別支援教育地域連携会議

特別支援教育に関わる関係諸機関の代表者による情報交換及び、協議、ケース会議の開催

4 学校の状況

(1) 学年別児童生徒数

(平成30年5月1日現在)

No.	学校名	児童・生徒数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女	計	学級数	
小 学 校	1	陶原	89	113	110	105	111	97	324	301	625 (10)	23 (4)
	2	深川	6	6	5	11	6	11	25	20	45 (1)	7 (1)
	3	祖母懐	23	13	24	26	19	18	58	65	123 (4)	9 (3)
	4	道泉	25	38	42	30	35	25	97	98	195 (2)	9 (1)
	5	效範	108	99	77	94	92	101	307	264	571 (12)	22 (5)
	6	東明	32	17	23	23	19	8	69	53	122 (3)	8 (2)
	7	古瀬戸	19	17	16	19	8	14	38	55	93 (3)	8 (2)
	8	水野	85	90	69	70	85	59	228	230	458 (8)	18 (3)
	9	水南	75	80	91	91	102	98	260	277	537 (6)	20 (2)
	10	幡山東	93	74	88	80	77	74	246	240	486 (3)	17 (2)
	11	幡山西	102	78	74	95	106	98	274	279	553 (16)	20 (3)
	12	下品野	77	66	76	60	90	74	231	212	443 (5)	16 (2)
	13	品野台	13	20	11	13	13	15	38	47	85 (1)	7 (1)
	14	掛川	3	7	5	5	7	7	17	17	34 (1)	5 (1)
	15	長根	87	95	87	74	96	73	252	260	512 (2)	18 (2)
	16	原山	26	30	38	41	41	41	120	97	217 (7)	8 (2)
	17	東山	101	101	99	129	146	143	357	362	719 (10)	23 (2)
	18	萩山	10	10	14	19	20	21	45	49	94 (3)	7 (1)
	19	八幡	20	42	32	35	46	47	106	116	222 (6)	11 (2)
	20	西陵	146	123	130	138	125	118	418	362	780 (10)	26 (2)
計			1,140	1,119	1,111	1,158	1,244	1,142	3,510	3,404	6,914 (113)	282 (43)
中 学 校	1	水無瀬	226	219	208				315	338	653 (17)	22 (4)
	2	祖東	66	57	44				88	79	167	6
	3	南山	295	351	327				485	488	973 (9)	30 (3)
	4	本山	0	14	48				31	31	62 (1)	4 (1)
	5	幡山	184	181	181				283	263	546 (12)	18 (2)
	6	品野	90	85	78				142	111	253 (2)	10 (2)
	7	光陵	82	84	93				134	125	259 (5)	11 (2)
	8	水野	170	147	168				246	239	485 (7)	17 (3)
	計			1,113	1,138	1,147				1,724	1,674	3,398 (53)
支瀬 援戸 学特 校別	小学部		2	4	5	6	4	7	15	13	28	10
	中学部		11	9	5				15	10	25	9
	高等部		3	3	4				5	5	10	5
	計									35	28	63

() 特別支援学級分再掲

資料：学校基本調査

(2) 児童生徒数等の推移

① 小学校

(各年5月1日現在)

年 度		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
学校数		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
学級数		272 (24)	275 (28)	279 (30)	28 (32)	276 (31)	278 (30)	277 (32)	278 (38)	286 (43)	282 (43)
教員数	男	170	176	182	189	183	179	184	177	184	186
	女	250	266	270	281	282	300	309	306	310	311
	計	420	442	452	470	465	479	493	483	494	497
児童数	男	3,895	3,846	3,736	3,689	3,633	3,615	3,590	3,581	3,569	3,510
	女	3,584	3,606	3,632	3,548	3,527	3,542	3,498	3,421	3,375	3,404
	計	7,479 (68)	7,452 (68)	7,368 (80)	7,237 (86)	7,160 (80)	7,157 (83)	7,088 (86)	7,002 (83)	6,944 (103)	6,914 (113)

② 中学校

年 度		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
学校数		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
学級数		119 (11)	113 (10)	117 (10)	114 (8)	113 (10)	114 (11)	113 (12)	119 (18)	120 (17)	118 (17)
教員数	男	157	147	148	143	152	156	152	155	157	150
	女	112	105	102	103	100	102	104	103	115	117
	計	269	252	250	246	252	258	256	258	272	267
生徒数	男	1,954	1,914	1,961	1,918	1,903	1,884	1,815	1,789	1,719	1,724
	女	1,698	1,652	1,636	1,677	1,652	1,686	1,652	1,703	1,700	1,674
	計	3,652 (45)	3,566 (46)	3,597 (42)	3,595 (32)	3,555 (41)	3,570 (50)	3,467 (55)	3,492 (62)	3,419 (54)	3,398 (53)

③ 特別支援学校

年 度		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0
学級数		—	12	15	17	21	13	24	24	23	24
教員数	男	—	17	17	18	17	19	24	19	22	27
	女	—	17	17	23	35	38	36	42	38	45
	計	—	34	34	41	52	57	60	61	60	72
生徒数	男	—	17	22	30	35	37	38	34	35	35
	女	—	10	14	16	19	21	25	27	28	28
	計	—	27	36	46	54	58	63	61	63	63

※ () 特別支援学級分再掲、教員は兼務者を含む

資料：学校基本調査

(3) 教育事務委託児童生徒数

(平成 29 年度実績)

	春日井市	多治見市	合 計
小 学 校	1	0	1
中 学 校	13	1	14

(4) 学校別教職員数

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

No.	学校名	県費負担職員					市費負担職員				校 長 名
		教員数			事務	栄養職員	栄養職員	調理員	用務員		
		男	女	計							
小 学 校	1 陶 原	16	24	40	1				2	野田 敬資	
	2 深 川	3	9	12	1		1		1	藤戸 環	
	3 祖母懐	6	11	17	1			2	1	片田 晃司	
	4 道 泉	5	12	17	1		1			臼井 一夫	
	5 效 範	15	21	36	1		1		1	丹羽 光成	
	6 東 明	5	8	13	1			2	1	大高 和人	
	7 古瀬戸	6	8	14	1			1		魚住 英史	
	8 水 野	9	21	30	1			6	1	石田 正人	
	9 水 南	15	20	35	1					刑部 哲也	
	10 幡山東	8	22	30	2				1	加藤 中哉	
	11 幡山西	11	25	36	1				2	早川 元彦	
	12 下品野	13	16	29	1				1	浅井 大司	
	13 品野台	5	7	12	1		1		1	石河 光章	
	14 掛 川	7	3	10	2				1	堀田 仁	
	15 長 根	12	19	31	1		1		1	此下 明雄	
	16 原 山	9	7	16	1		1		1	長江 章彦	
	17 東 山	15	25	40	1				2	小川 剛	
	18 萩 山	6	12	18	1			2	1	山田 克己	
	19 八 幡	4	17	21	2		1		1	加藤 寛司	
	20 西 陵	16	24	40	1				2	山田 滋生	
	計	186	311	497	23	0	7	13	21		
中 学 校	1 水無瀬	23	22	45	2				1	高木 雅浩	
	2 祖 東	10	10	20	1				1	水野 富士夫	
	3 南 山	36	23	59	2				2	加藤 正彦	
	4 本 山	9	7	16	1				1	勝田 拓真	
	5 幡 山	21	18	39	1				2	加藤 篤	
	6 品 野	15	11	26	1				1	杉浦 哲男	
	7 光 陵	15	12	27	1				1	臼井 和人	
	8 水 野	21	14	35	1				1	中崎 毅	
		計	150	117	267	10	0	0	0	10	
	特別支援	27	45	72	4	0	1	3	2	落合 智子	

※教員数は兼務者を含む ※用務員・調理員は臨時職員を含む

資料：学校基本調査

(5) 中学校卒業者の卒業後の状況

		27		28		29	
			割合(%)		割合(%)	割合(%)	
卒業生総数		1,125	—	1,221	—	1,142	—
全 日 制	国 立	0	0	3	0.2	5	0.4
	公 立	762	67.7	815	66.7	765	66.9
	私 立	242	21.5	284	56	254	22.2
高等専門学校		11	1.0	7	0.6	3	0.2
定時制		16	1.4	23	1.9	14	1.2
通信制		51	4.5	53	4.3	54	4.7
各種 専修 学校	高等専修	5	0.4	1	0.1	0	0
	各種	0	0	0	0	0	0
	職業訓練校	0	0	0	0	0	0
特別支援学校高等部		18	1.6	19	1.6	20	1.7
就職（除・定時制）		6	0.5	4	0.3	6	0.5
その他		14	1.2	12	1.0	21	1.8

※特別支援学級卒業者を含む公立中学および特別支援学校のみ

資料：学校基本調査他

○ 高等学校進学率

卒業年度	25	26	27	28	29
卒業生総数	1,200	1,249	1,125	1,221	1,142
進学者	1,168	1,224	1,105	1,205	1,115
進学率(%)	97.3	98.0	98.2	98.6	97.6

※進学者数には、高等学校卒業資格の取得ができる各種専修学校への進学者数も含む

○ 全日制課程高等学校地区別進学状況

公私立別	公立高校				私立高校			
	28		29		28		29	
地区別	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区	瀬戸市内	他地区
進学者	412	403	376	389	27	257	40	214
進学率(%)	33.7	33.0	33.7	34.8	3.2	21.0	3.5	19.1

※瀬戸市内中学校卒業生（公立中学校のみ）の地区別進学状況を示したもの

5 学校施設一覽

平成30年5月1日現在

学 校 名		学 級 数	保 有 教 室 数												
			普 通	理 科	音 楽	図 工 ／ 美 術	コ ン ピ ユ ー タ	生 活 ／ 技 術	家 庭	視 聴 覚	図 書	特 別 活 動	教 育 相 談	進 路 資 料 指 導	
小 学 校	1	陶 原	22	22	1	1	1	1		1		2	3	1	
	2	深 川	7	7	1	1	1	1	1	2		1	1	1	
	3	祖母懐	9	9	1	1	1	1		2		1	4		
	4	道 泉	9	9	1	1	1	1	2	1		2	3	1	
	5	效 範	22	22	1	2	1	1	1	1		1	4	1	
	6	東 明	8	8	1	1	1	1		1		1		1	
	7	古瀬戸	8	8	1	1	1	1		1		1	2	1	
	8	水 野	18	18	1	1	1	1		1		1		1	
	9	水 南	20	20	1	1	1	1	1	1		1	6		
	10	幡山東	17	17	1	1	1	1		1		1	2	1	
	11	幡山西	20	20	1	1	1	1		1		1	7		
	12	下品野	16	16	1	1	1	1		2		2	5	1	
	13	品野台	7	7	1	1	1	兼1	1	1		1	1		
	14	掛 川	5	5	1	1	1	兼1		1		1	2		
	15	長 根	18	18	1	1	1	1		1		1	1	1	
	16	原 山	8	8	1	2	1	1	2	1		1	13	1	
	17	東 山	23	23	1	1	1	1		1		1	4		
	18	菽 山	7	7	1	1	1	1		1		1	5	1	
	19	八 幡	11	11	1	1	1	1		1		2	10	1	
	20	西 陵	26	26	1	1	1	兼1		1		1	1	1	
計			281	281	20	22	20	17	8	23		24	76	14	
中 学 校	1	水無瀬	22	22	2	2	2	1	2	2		1	1	3	1
	2	祖 東	6	6	1	1	1	1	2	2		2	4	1	1
	3	南 山	30	30	3	2	2	1	2	2		1	4	1	
	4	本 山	4	4	1	1	1	1	2	2	1	1	5	2	1
	5	幡 山	18	18	2	2	2	1	2	1	1	1	6	5	
	6	品 野	10	10	1	1	1	1	2	2	1	1	4	4	
	7	光 陵	11	11	2	2	1	1	2	2		1	10	1	1
	8	水 野	17	17	2	1	1	1	2	2		2	2	1	
	計			118	118	14	12	11	8	16	15	3	10	36	18
瀬戸特別支援学校			24	24											

(単位：㎡)

プール面積	柔剣道場面積	校舎保有面積	体育館保有面積	校 地 面 積				
				建物敷地	運動場	その他	借用	計
425		4,848	1,097	11,970	24,949	21,571		58,490
297		3,185	733	4,520	7,700	1,982		14,202
310		3,298	581	7,000	12,000	9,156		28,156
435		3,838	684	4,250	13,499	2,638		20,387
310		4,989	674	6,292	7,895	1,685		15,872
335		2,785	666	5,400	8,400	9,234		23,034
310		2,985	671	6,326	9,728	10,726		26,780
310		3,634	681	3,480	837	1,200	17,589	23,106
340		4,499	673	13,116	5,040	7,000		25,156
375		3,575	656	4,540	11,300	5,960		21,800
365		4,666	656	6,956	9,756	1,677		18,389
335		4,137	669	3,500	11,816	1,922		17,238
313		4,673	702	14,512	6,767	6,806		28,085
214		1,693	594	3,277	5,709	16,745		25,731
310		3,765	841	7,353	8,895	3,577		19,825
310		5,503	656	9,500	12,000	2,017		23,517
310		5,240	656	11,000	9,500	2,200		22,700
310		3,050	656	6,553	6,507	4,951		18,011
310		5,062	661	7,250	12,320	5,110		24,680
310		4,810	656	9,907	15,550	3,076		28,533
6,534		80,235	13,863	146,702	200,168	119,233	17,589	483,692
275	391	6,385	1,200	14,731	12,594	22,899		50,224
275	377	4,497	1,267	7,350	13,900	15,206		36,456
275	376	7,165	1,333	17,125	17,065	2,210		36,400
	397	4,111	1,211				39,599	39,599
425	358	6,396	1,208	10,142	11,154	3,931	2,400	27,627
275	421	5,120	1,333	10,937	10,663	37,857		59,457
275	644	6,027	1,310	17,226	7,532	8,939		33,697
275	373	4,940	1,217	11,470	18,239	8,560		38,269
2,075	3,336	44,741	10,079	88,981	91,147	99,602	41,999	321,729
		3,442		5,548	3,497	3,458		12,503

資料：公立学校施設実態調査

6 小中学校の適正規模・適正配置

(1) 計画の背景について

瀬戸市立の小中学校における児童生徒数は、昭和50年代後半にピークを迎え、その後は減少傾向が続いており、そのため、1学年1学級の単学級校の出現や、各学校間に生じたアンバランスなど、学校運営上の諸問題が発生し、児童生徒の教育環境に影響を及ぼしています。

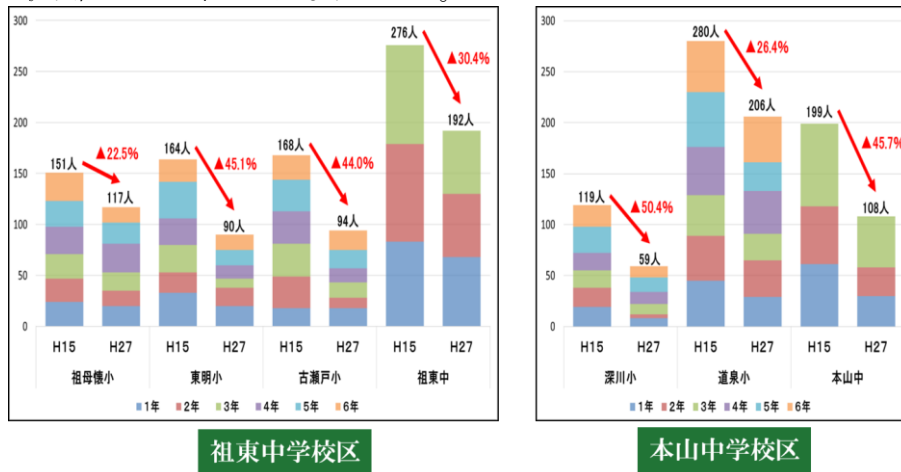
このような状況の中で、平成11年2月庁内に「瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会」を設置して検討を始めましたが、各界の方々の幅広い意見を伺い、一層論議を深めるべきであるとの考えから、平成13年1月に教育委員会の諮問機関として「瀬戸市立小学校適正配置等協議会」を設置しました。

同協議会では、現行の学校教育に係る諸制度を前提に、将来展望も配慮しながら、子どもたちにとって望ましい学校像を求めて、約1年半12回にわたる審議の結果、小学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方や具体的な方策、実施に際しての配慮事項等について取りまとめを行いました。

その後、平成15年3月に「瀬戸市小学校適正配置計画」を策定するとともに、規模の格差是正を主な目的として、教育理念や小学校の統合による学習環境のあるべき姿について、地元説明会などを開催したものの、地域コミュニティへの配慮が充分でなかったことなどから、地元合意が得られず、具体的な進展をみないまま10年以上が経過しました。

この間、「瀬戸市小学校適正配置計画」で統合を目標に掲げた、祖東中学校区の祖東中学校、祖母懐小学校、東明小学校、古瀬戸小学校と、本山中学校区の本山中学校、深川小学校、道泉小学校では、計画策定時よりもさらに児童生徒数の減少が進み、小学校で6年間一度もクラス替えが出来ない状況や、中学校で部活動が成立しないといった、“子どもたちの教育にとって望ましくない環境”が深刻化していることへの対策は、本市において喫緊の課題となっています。

そこで、平成28年度から実施している第2次瀬戸市教育アクションプランにおいて、子どもたちが「自ら考え、学び、生き抜く力」を育成するため、多様な考え方に触れ、一定の集団の中で切磋琢磨することなどを目的とし、「魅力ある学校づくりと適正規模・適正配置の推進」とともに、9年間一貫した系統的な教育課程を編成・実施することによる「小中一貫教育の推進や小中一貫校の導入」を主な事業の一つとして取り組んでいくことになりました。



祖東中学校区

本山中学校区

■減少する児童生徒数

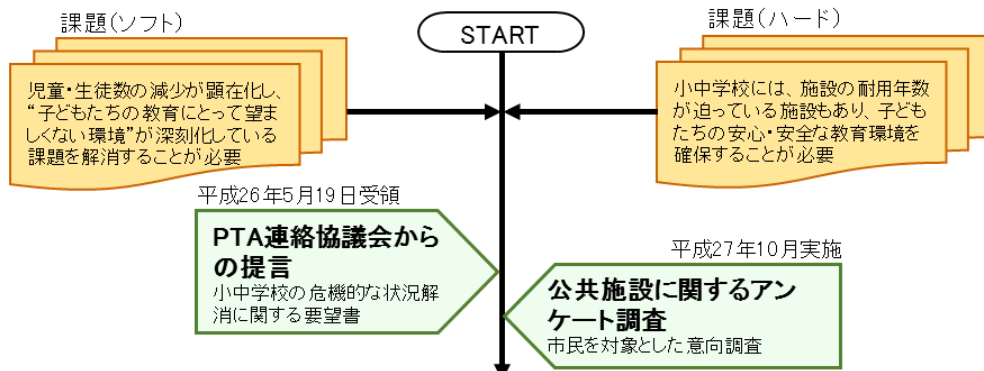
中学校名称	生徒数 (人)	小学校名称	児童数 (人)	小学校名称	児童数 (人)	小学校名称	児童数 (人)	小中合計 (人)	1000人未満
水無瀬中学校	653	陶原小学校	625	長根小学校	512			1790	
祖東中学校	167	古瀬戸小学校	93	祖母懐小学校	123	東明小学校	122	505	○
南山中学校	973	效範小学校	571	東山小学校	719	水南小学校	537	2800	
本山中学校	62	道泉小学校	195	深川小学校	45			302	○
幡山中学校	546	幡山東小学校	486	幡山西小学校	553			1543	
品野中学校	253	下品野小学校	443	品野台小学校	85	掛川小学校	34	815	○
光陵中学校	259	原山小学校	217	萩山小学校	94	八幡小学校	222	792	○
水野中学校	485	水野小学校	458	西陵小学校	780			1671	

■平成30年5月1日時点 児童生徒数

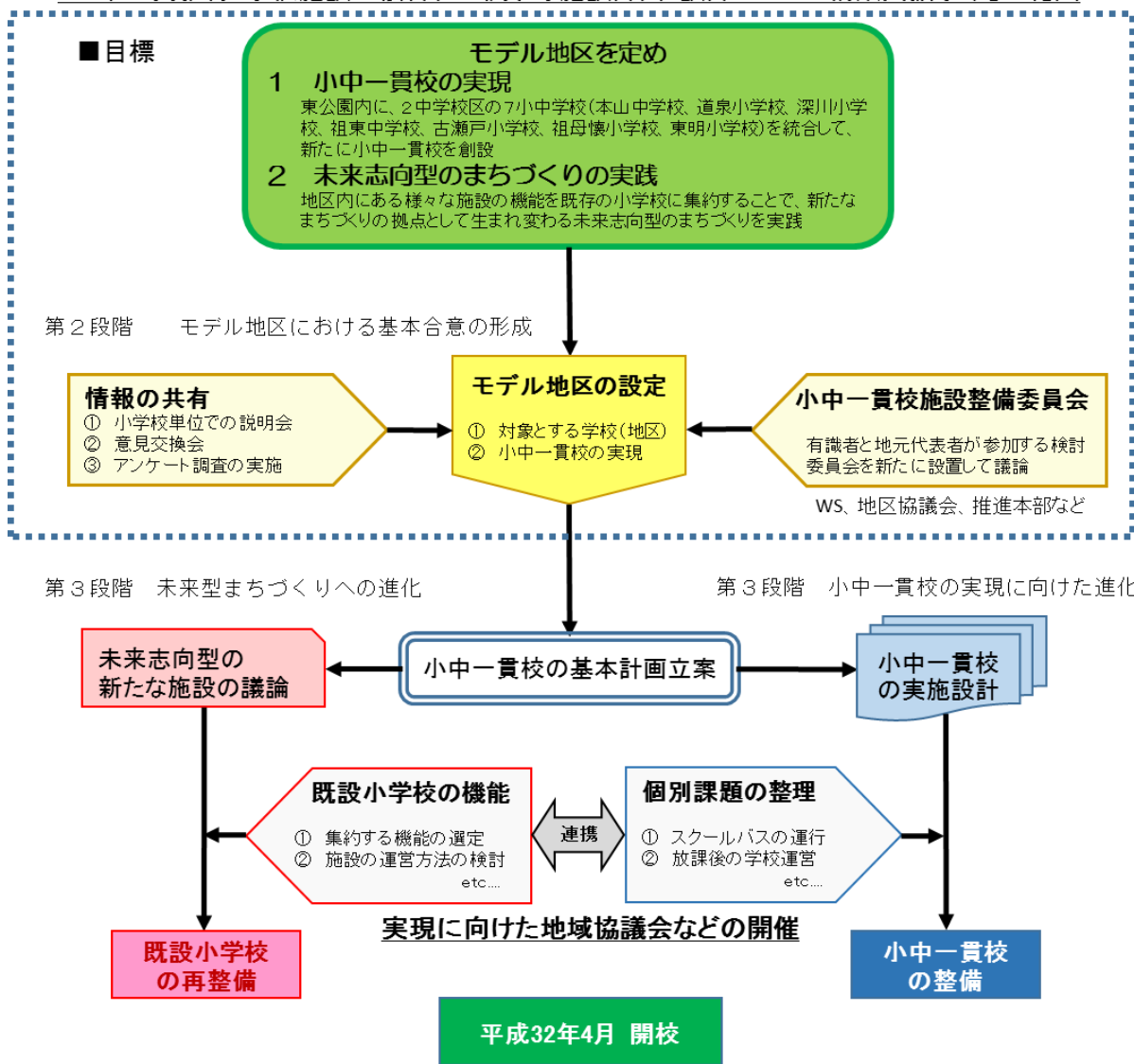
(2) 瀬戸市小中一貫校について

小中一貫校の実現に向けた検討体制としては、瀬戸市小中一貫校開校準備委員会をはじめ、PTA、地区などの代表によるワークショップなどを開催し、小中一貫校におけるカリキュラムや新しい学校の施設整備について協議を重ねてきました。また、学校と地域との関わり方や、通学路・スクールバスなどについても協議や検討を重ねるとともに、様々な情報共有に努めています。

第1段階 モデル地区設定の与件となる事項の整理

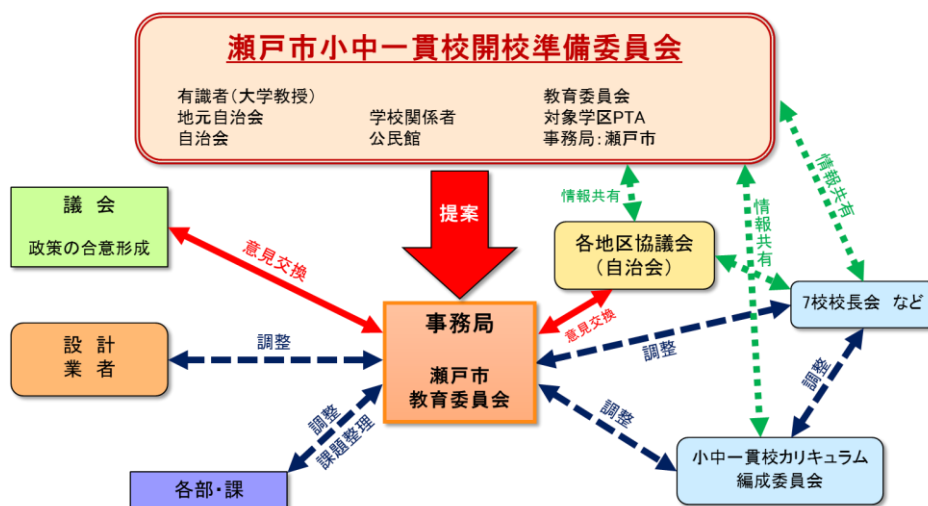


「小中一貫教育・学校施設の複合化に関する施設計画・設計プロセス構築支援事業」の範囲



■モデル地区における小中一貫校の実現に向けたフロー

【検討体制】



1) 瀬戸市小中一貫校開校準備委員会

モデル地区における小中一貫校の開校に向けた準備を円滑に推進することを目的に、瀬戸市小中一貫校開校準備委員会を設置いたしました。本委員会は、平成 28 年度に設置した瀬戸市小中一貫校施設整備委員会が市民参加型のワークショップなどを行い、「瀬戸市小中一貫校施設整備基本構想策定のための提言書」を取りまとめるなど、一定の役割を終えたことから、発展的に継承されたものであり、モデル地区における小中一貫校の開校に向けた準備を円滑に推進することを目的としています。

第1回 平成29年6月29日(木)

本年度の進め方、施設概要、通学、小中一貫教育 など

第2回 平成29年8月28日(月)

施設基本設計、校名選定(案)、カリキュラム編成、ワークショップ概要(案) など

第3回 平成30年1月18日(木)

カリキュラム中間報告、学校運営、学校跡地活用 など

第4回 平成30年3月22日(木)

校名、教育目標、施設概要 など

2) PTA、各地区における意見交換会

PTAをはじめ、各地区のみなさまや、関係団体との情報共有及び意見交換など継続的な対話の場は小中一貫校を開校し、その後地域とともに成長する学校づくりを目指すためにかかせないものであります。そうした対話を重ねることにより、小中一貫教育のカリキュラムや通学などについての様々な不安や心配ごとを少しずつ解消していくことに繋がると考え、開校まで続けていく予定です。

3) 各地区におけるまちづくり検討組織(協議会)

PTAや地区における意見交換会を重ねる過程において、対象となる5つの小学校区(連区)で、自治会・保護者・学校・公民館関係者などによる地区協議会が設置されています。この、まちづくり検討組織では、新しく開校する小中一貫校に関すること(教育環境や通学など)を協議するとともに、学校跡地の活用に関すること(防災などの必要な機能など)についても、議論を重



ねています。こうした会議に市職員がオブザーバーとして参画することにより、その時点においての適切な情報を提供することが可能となり、PTA や保護者など関係者の心配ごとの解消や課題の共有などに繋がっているものと考えています。

4) 7校校長会等

小中一貫校開校に該当する7校の教職員が、校務分掌ごとに集まり、それぞれの校務分掌で閉校や開校に向けて話し合いを進めています。

5) 小中一貫校カリキュラム編成委員会

瀬戸市の教員7名からなる小中一貫校カリキュラム編成委員と、瀬戸市の各教科の研究会の代表者によって小中一貫校カリキュラム編成委員会を組織し、小中一貫校のカリキュラム全般の編成について検討しています。

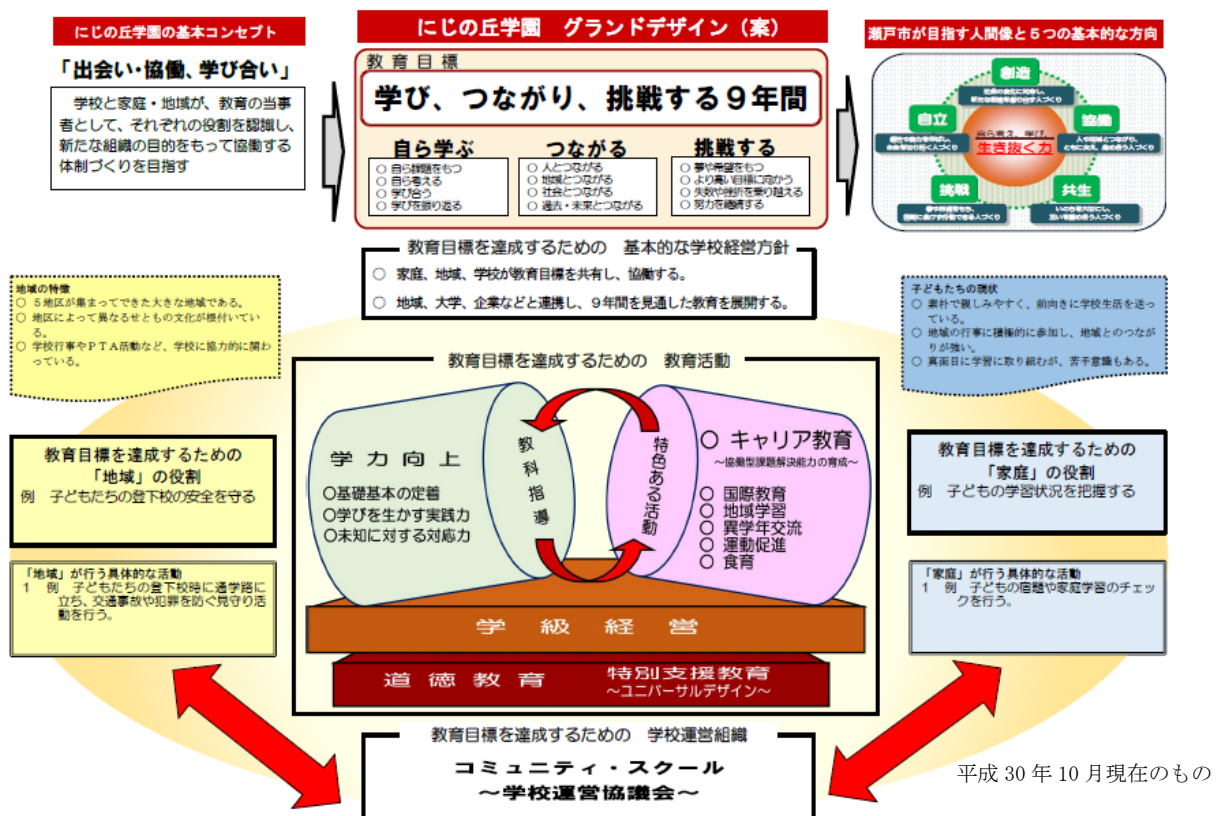


小中一貫校カリキュラム編成委員会会議では、小中一貫校カリキュラム編成委員が、瀬戸らしさを追求した教育活動についての提案を作成したり、各研究会で作成された教育課程の整合・調整を行ったりしています。また、各教科の研究会では、各教科の教育課程について、9年間の系統性・連続性・横断性、主体的・対話的で深い学びに留意して編成をしています。

【小中一貫校開校に向けての取組等】

1) 教育目標

小中一貫校の基本コンセプトと瀬戸市が目指す人間像と5つの基本的な方向を鑑み、小中一貫校の教育目標を「学び、つながり、挑戦する9年間」にしようと考えています。「学級経営」「特別支援教育」「教科指導」を基盤とし、教育目標の達成に向かい、その基盤の上に6つの特色ある活動を展開していきたいと考えています。



学校経営方針にもあるように、学校だけで教育目標に向かって活動するのではなく、「家庭・地域・学校」が協働で達成する目標とさせていただきたいと考えています。そして、今後話し合いながら、教育目標を達成するための地域の役割と家庭の役割決めていきます。

また、家庭・地域・学校が協働するために、コミュニティ・スクールという仕組みを活用していきたいと考えています。その仕組みを活用しながら、教育目標を共有し、お互いに何ができるか役割分担しながら、9年間を見通して教育活動を進めていきます。

2) 合同行事・授業

小中一貫校が開校した際に、子どもたちが円滑に人間関係を構築し、学校生活をよりスムーズに進めていくために7校の子どもたちが、一緒に授業や部活動に取り組むことができるようにするための計画、実践を行っています。



3) 施設

教職員、保護者をはじめとした地域のみなさまなどからも意見をいただきながら、平成29年度は施設の詳細設計を進めました。

	1階				2階				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
カリキュラム	学習規律の定着				主体的な学習の促進			主体的な学習の定着	
	自己肯定感の獲得				自己肯定感から自己有用感への醸成			自己有用感の獲得	
担任制	学級担任制				一部教科担任制		教科担任制		
運営システム	移動を伴わない教室固定型				一部の教科ごとに教室を移動				

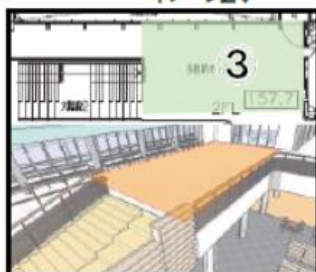
【施設活用案】



2階登り廊ステップ

イメージ図↓

1階可動式ドアの多目的室及び多目的スペース



①ワークスペース

グループでの話し合い活動や調べたことを模造紙にまとめたり、それを発表したり表現活動など、各教科における主体的・対話的で深い学びに関する活動において活用する。

②多目的室

普通教室の隣に多目的教室を配置し、この教室で算数の授業において、3クラスを4分割することで、よりきめ細かく子どもたちを指導する。該当学年の授業に関する資料を置いておくことで、探究活動を促進する。

③多目的スペース

異学年で一緒に給食を食べたり発表を見せ合ったりするような異学年交流や食育の場として活用する。地域の方々に来校していただき、講話や体験学習の場として活用する。

工事内容等	平成30年度 (2018年度)				平成31年度 (2019年度)				平成32年度 (2020年度)			
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
① 東公園構造物解体 敷地造成工事	→											
② 校舎建築工事					→							
③ 体育館建築工事					→							
④ プール建築工事					→							
⑤ 備品搬入・引越									→			
⑥ 祖東中学校解体工事									→			
⑦ ゲラフト整備工事									→			

■工事スケジュール予定

施設の建設は平成30年6月から順次行っており、始めに東公園の構造物の解体及び敷地の造成工事を行っています。造成工事の後に校舎建築工事を行う予定です。



■小中一貫校イメージ図

4) 通学

平成29年の夏に、想定される通学路について、国、愛知県、警察、学校、PTA、教育委員会等の関係者による合同安全点検を行いました。

(通学路交通安全プログラム)

明らかになった危険箇所、区間の安全対策をまとめ、今後、順次実施していきます。

また、徒歩通学以外の新たな通学手段についても、地元と協議を重ねながら、通学路の安全対策と並行して、検討を進めていきます。



5) 小中一貫校PTAのあり方に関するワークショップ

小中一貫校の新設にあたり、小中一貫校開校後のPTAと学校との関わり方をはじめ、PTAの位置づけや役割などを改めて認識及び確認することを目的とし、現時点のPTA（保護者及び教員）を対象としたワークショップを実施し、様々な観点から意見交換を行いました。運営については、名古屋市立大学にお手伝いいただき、学生さんにも入っていただいて、未来志向型のアイディアの集約・共有を図りました。

第1回 平成29年10月17日（火）

テーマ「統合小中一貫の地域と学校の連携」

第2回 平成29年11月30日（木）

テーマ「先進事例に学ぶ」

第3回 平成30年1月16日（火）

テーマ「各校のPTAを知ろう」

第4回 平成30年3月13日（火）

テーマ「学習活動、生活指導を考えよう」



■ワークショップの様子

6) 校名選定

小中一貫校のコンセプトである「出会いと協働による新たな学び合いの創造～地域とともに歩む未来の学び舎～」に相応しいものや、分かりやすく、親しみやすいものであることなどを基準とし、市長と教育委員会が選定した結果、新しい小中一貫校の校名は「にじの丘学園 瀬戸市立にじの丘小学校 瀬戸市立にじの丘中学校」とすることになりました。

今後は議会に瀬戸市立学校設置条例の一部改正案を提出し、可決により校名が決定します。



■校名発表セレモニーの様子

7 隣接学校選択制

(1) 隣接学校選択制度

児童生徒が在住する学校区と隣り合う小中学校区への通学を選択できる制度を平成18年度から導入し、選択の機会を設けました。

(2) 選択の機会

小中学校入学時、転入転居に伴う小中学校転入学時

(3) 選択可能校

小学校入学時は在住の小中学校区、中学校入学時は在住の中中学校区を中心に、周辺の隣接している学校区の小中学校を選択可能とするものです。

(4) 特認校の設定

一般の小中学校とは一線を画する特色のある学校については、隣接の学校区の児童生徒のみならず、市内全域からの選択希望に対応する必要があります。このことから、品野台小学校はオープンスクール、エコスクールとしての特色があるため、市内全域から選択できる特認校としました。なお、平成32年度からは、小規模で特別な教育環境を有する学校として掛川小学校も特認校とします。

(5) 抽選の実施

各学校はあらかじめ学校区外からの受け入れ人数を設定し、広報紙や教育委員会ホームページで公表します。受け入れ人数を超える希望者があった場合は、公開抽選により入学者を決定します。なお、兄弟が入学時に希望校に在籍見込みの申請者や、隣接学校選択制実施以前から隣接校に入学可能であった地域に居住する申請者は、抽選から除外し、優先的に入学できるものとします。

(6) 学校の情報公開

入学前の児童生徒に対して学校の情報を提供するため、各学校は学校要覧及びホームページを作成します。また、学校公開日を設定して教育活動を広く公開します。

(7) 通学方法

公共交通機関での通学や自家用車での通学を含め、通学方法の決定と安全確保は保護者の責任とします。ただし、自転車通学は原則として認めない。なお、通学に必要な費用は保護者の負担とします。

(8) 備考

- ・入学が決定した学校には卒業まで通学するものとします。
- ・申請により隣接小学校に入学した児童が、その小学校区が含まれる中学校区の中学校に入学を希望する場合、中学校入学時にも隣接学校選択制の申請を必要とします。なお、その中学校の入学希望者が受け入れ人数を超える場合には、抽選に参加するものとします。

(9) 学校別選択可能校一覧

在住小学校区	選 択 可 能 小 学 校
陶 原	深川、祖母懐、道泉、效範、幡山西、長根、原山、萩山
深 川	陶原、祖母懐、道泉、古瀬戸、水野
祖母懐	陶原、深川、東明、古瀬戸、幡山東、萩山
道 泉	陶原、深川、效範、水野、水南
效 範	陶原、道泉、水南、長根、東山
東 明	祖母懐、古瀬戸、幡山東、下品野、品野台
古瀬戸	深川、祖母懐、東明、水野、下品野
水 野	深川、道泉、古瀬戸、水南、下品野、掛川、西陵
水 南	道泉、效範、水野、東山、西陵
幡山東	祖母懐、東明、幡山西、原山、萩山、八幡
幡山西	陶原、幡山東、長根、原山
下品野	東明、古瀬戸、水野、品野台、掛川
品野台	東明、下品野、掛川
掛 川	水野、下品野、品野台
長 根	陶原、效範、幡山西
原 山	陶原、幡山東、幡山西、萩山、八幡
東 山	效範、水南、西陵
萩 山	陶原、祖母懐、幡山東、原山、八幡
八 幡	幡山東、原山、萩山
西 陵	水野、水南、東山

※ 品野台小学校は市内全域から選択可

在住中学校区	選 択 可 能 中 学 校
水無瀬	祖東、南山、本山、幡山、光陵
祖 東	水無瀬、本山、幡山、品野、光陵、水野
南 山	水無瀬、本山、水野
本 山	水無瀬、祖東、南山、水野
幡 山	水無瀬、祖東、光陵
品 野	祖東、水野
光 陵	水無瀬、祖東、幡山
水 野	祖東、南山、本山、品野

(10) 平成29年度新入学等の許可実績

- ① 小学校 153人
- ② 中学校 119人
- ③ 主な申請事由：通学の距離・安全性、友人関係、家庭の事情、部活動

(11) 制度の廃止と新制度の導入

導入から10年以上が経過し、学校間の児童生徒数の格差の発生、地域との学校の関係の希薄化等の課題が顕著に表れ、拡大していく傾向が明らかとなったことから、特認校、特定区域の設定に移行し、平成31年度末をもって当該制度を廃止します。

8 就学・私学助成制度

(1) 要保護及び準要保護就学援助制度

経済的理由によって就学困難な児童生徒について、学校給食費・学用品費等を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図ることを目的として援助するものです。

① 要保護及び準要保護児童生徒の認定

- ・要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法第6条第2項に規定する要保護者である児童生徒
- ・準要保護児童生徒・・・保護者が生活保護法による要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる児童生徒

② 補助対象費目

- ・要保護者・・・修学旅行費
- ・準要保護者・・・学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費

補助対象費目 平成30年度	小学校	中学校
学用品費等	11,420円	22,320円
校外活動費	1,570円(宿泊なし) 3,620円(宿泊あり)	2,270円(宿泊なし) 6,100円(宿泊あり)
新入学用品費	40,600円	47,400円
修学旅行費	21,490円	57,590円
学校給食費	実費	実費
医療費	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分

③ 要保護及び準要保護就学援助実績

年 度	対象児童生徒数		援 助 費
	要 保 護 者	準要保護者	
平成29年度	37人	1,004人	79,747,617円

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、特別支援学級教育普及奨励を図ることを目的として、保護者の負担能力の程度に応じて補助するものです。

① 補助対象費目

学用品費等、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費

② 補助額

保護者の負担能力に応じて、要保護及び準要保護就学援助費補助額の2分の1の額。ただし、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費は実費。

③ 特別支援教育奨励費実績

年 度	対 象 児 童 生 徒 数	補 助 額
平成 29 年度	1 2 1 人	4, 0 1 8, 4 8 8 円

(3) 私立高等学校運営費補助事業

私立高等学校の健全な運営を図るため、日常的に必要な備品、図書、消耗品等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補助対象高等学校	補 助 額
平成 29 年度	2 校	9 0 0, 0 0 0 円

(4) 学校法人愛知朝鮮学園第七初級学校運営費補助事業

学校法人愛知朝鮮学園愛知朝鮮第七初級学校が行う教育に必要な備品、図書、消耗品等の購入及び施設補修等の経費を設置者に補助するものです。

年 度	補 助 対 象 校	補 助 額
平成 29 年度	1 校	7 0 0, 0 0 0 円

(5) 私立学校等授業料補助金

私立高等学校等に在籍する生徒の保護者等の経済的な負担を軽減するため、授業料の一部の補助を行うものです。

①補助対象者

毎年 10 月 1 日現在で市内に在住し次の私立学校に在籍する生徒の授業料を負担していて、愛知県の授業料減額制度における所得区分甲Ⅰ、甲Ⅱ、乙Ⅰに該当するもの。学校での授業料が免除されている場合や、国及び県、その他補助制度により授業料の負担のない場合は補助の対象とならない。

- ・私立高等学校（全日制・定時制）
- ・私立中等教育学校（後期課程全日制・定時制）
- ・私立専修学校（高等課程）
- ・私立高等専門学校

②補助金額

生徒一人につき 10,000 円（上限額）

国及び県の補助制度により授業料の負担が 10,000 円未満となった場合は、その額を上限として補助をする。

年 度	補助金受給者数	補助額合計
平成 29 年度	2 9 8 件	2, 9 5 0, 0 0 0 円

Ⅲ 学 校 給 食

1 学校給食の方針

(1) 基本方針

学校教育の一環として、学校給食の一層の安全と充実を図るとともに、食育を推進する。

(2) 重点目標

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

2 学校給食の現況

瀬戸市の学校給食は、センター方式(共同調理方式)と単独校方式(学校調理方式)とで実施している。

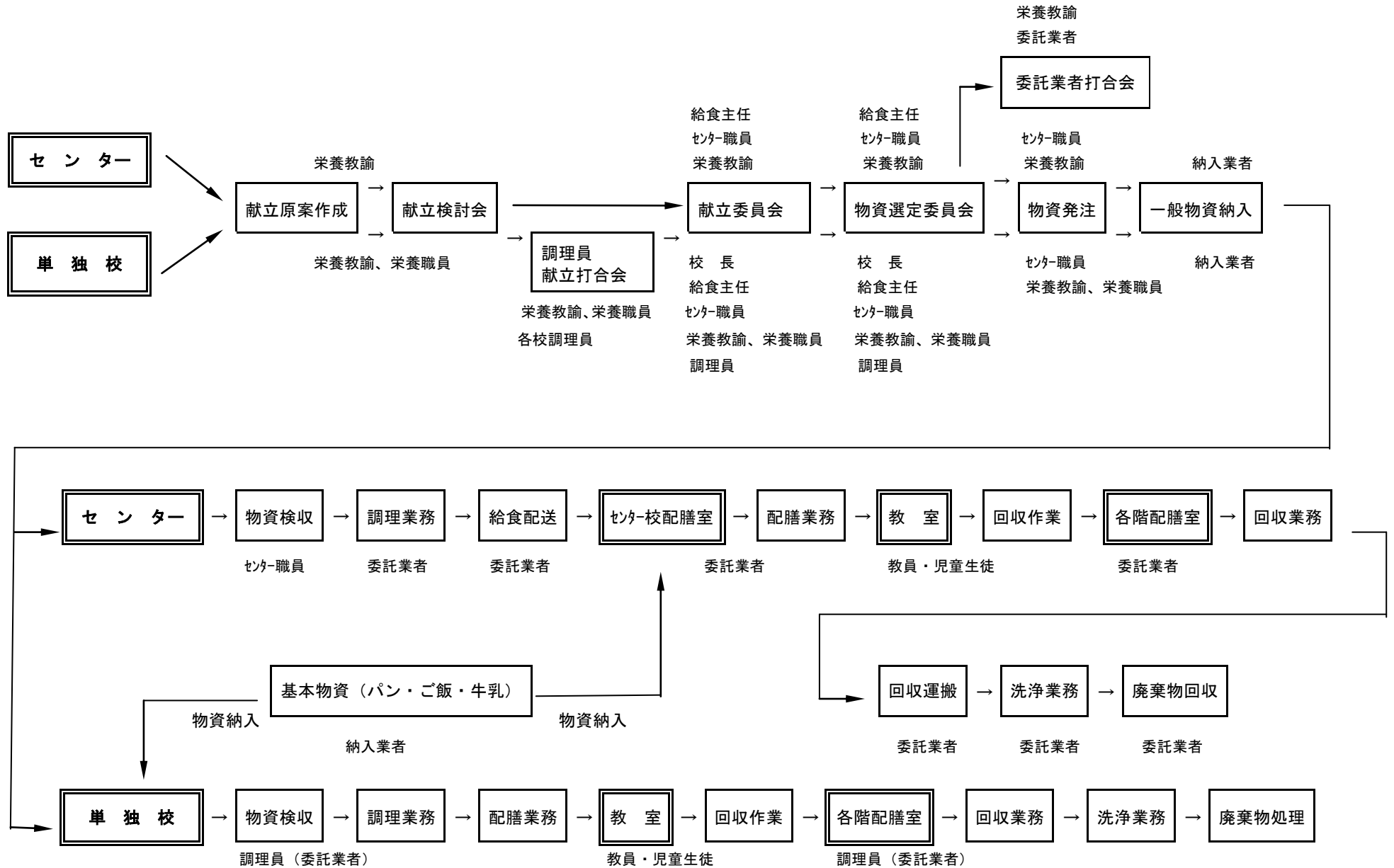
※ センター方式で行っている調理業務(全中学校と掛川小)は、平成12年8月から、配膳業務は、平成14年4月から民間委託で実施している。

※ 単独校の調理業務も平成15年4月から深川小、品野台小、平成17年4月から長根小、幡山東小、平成18年4月から陶原小、平成19年4月から效範小、原山小、平成21年4月から東山小、平成22年4月から幡山西小、平成23年4月から西陵小、平成25年4月から水南小、平成27年4月から下品野小、平成28年4月から八幡小、平成30年4月から道泉小で実施され、合計14校で民間委託を実施している。

学校給食センター調理風景



(1) 学校給食の業務の流れ



(2) センター校及び単独校一覧

平成30年5月1日現在

センター校	9校	水無瀬中学校、祖東中学校、南山中学校、本山中学校、幡山中学校、品野中学校、光陵中学校、水野中学校、掛川小学校
単独校	20校	陶原小学校、深川小学校、祖母懐小学校、道泉小学校、效範小学校、東明小学校、古瀬戸小学校、水野小学校、水南小学校、幡山東小学校、幡山西小学校、下品野小学校、品野台小学校、長根小学校、原山小学校、東山小学校、萩山小学校、八幡小学校、西陵小学校、瀬戸特別支援学校

(3) 学校給食実施状況

- ① 実施食数 単独調理校 (小学校19校、特別支援学校1校) 7,618食
学校給食センター (中学校8校、小学校1校) 3,759食

- ② 実施回数 191回 (学校行事により異なる。)

- ③ 給食の形態 完全給食で週5回給食を実施している。

ア 主食

ごはん：4回/週 (通年平均)：自校炊飯と委託炊飯の併用

(精米「あいちのかおり」を使用)

- ・自校炊飯：炊き込みごはん、ピラフ、チャーハン、チキンライス等
- ・委託炊飯：白ごはん、麦ごはん (麦10%)、わかめごはん (わかめ3%)、赤飯、発芽玄米ごはん等

パン：1回/週 (通年平均)：スライSPAN、ミルクロールパン、クロスロールパン、クロワッサン、リンゴパン、あいちの米粉パン等

麺(めん)：1回/月 (通年平均)：ソフトめん (スパゲティ式)、中華めん、きしめん

イ牛乳 200ml (瓶入り)

ウ副食 主菜、副菜、添え物 (果物、ヨーグルト、のりの佃煮、アーモンド小魚、ゼリー等)

(4) 使用食器：強化磁器食器

- ①単独校 平成元年度から、従来のアルマイト食器を強化磁器食器に切り替えを図り、平成5年度に全校導入を完了した。
- ②センター校 平成10年度から使用を開始した。
- ③食物アレルギー対応用食器 平成25年度から、通常使用している食器の色を変えたもの (イエロー) を導入している。



#は応募献立

瀬戸市中学校・掛川小学校

日曜日	献立名	主食	飲み物	その他	おもに体をつくるものになる食品	おもに体の調子を整えるものになる食品	おもにエネルギーのものになる食品
11 水	山菜入り洋風団子汁 おひたし	麦ごはん	発酵乳	④アセロラゼリー ⑤桜餅 アセロラゼリー 桜餅	発酵乳・鮭・牛乳・豚肉 味噌・油揚げ・もずく	にんじん・小松菜・大根・ねぎ・もやし わらび・ふき・ウワバミソウ	麦ごはん・米粉団子 じゃがいも・アーモンド 砂糖 もち米・砂糖
12 木	親子煮 小松菜とごぼうのツナサラダ	ごはん	牛乳	オレンジ	牛乳・鶏卵・鶏肉 かまぼこ・凍り豆腐 オイルツナ	たまねぎ・小松菜・にんじん・ごぼう ねぎ・とうもろこし・しいたけ オレンジ	ごはん・砂糖 ごま
13 金	とりめし 春キャベツの甘酢和え	センターごはん	牛乳	豆乳プリン	牛乳・鶏肉・ひじき ホキ・オキアミ・アオサ 豆乳	にんじん・キャベツ・ごぼう・枝豆 切干し大根・きゅうり・しいたけ	ごはん・砂糖・油 ごま・ごま油 小麦粉・砂糖・米粉・大豆油 水あめ・砂糖
16 月	卵とえびのスープ 鶏肉のてりかけ きんぴらごぼう	ごはん	牛乳		牛乳・鶏肉・鶏卵 豆腐・えび・かまぼこ 豚肉	ほうれん草・ごぼう・にんじん こんにゃく・さやいんげん・しいたけ	ごはん・油・砂糖 ごま・ごま油
17 火	ポークカレー イタリアンサラダ	麦ごはん	牛乳	④桜餅 ⑤アセロラゼリー 桜餅 アセロラゼリー	牛乳・豚肉・ベーコン チーズ 小豆	たまねぎ・キャベツ・にんじん とうもろこし・きゅうり・にんにく 桜葉 アセロラ果汁	麦ごはん・じゃがいも・ルウ アーモンド・油・砂糖 もち米・砂糖 砂糖
18 水	たぬき汁 いわし梅煮 さっぱり野菜サラダ	わかめごはん	牛乳	ヨーグルト	牛乳・油揚げ・鶏肉 昆布・わかめ いわし ヨーグルト	にんじん・こんにゃく・キャベツ・ねぎ・えのきたけ とうもろこし・きゅうり・しょうが・レモン果汁 梅	ごはん・里芋 マヨネーズ・油・砂糖 砂糖 砂糖
19 木	コーンポタージュ 大豆サラダ	あいちの米粉パン	牛乳	ココア牛乳の素	牛乳・豆乳・鶏肉・ベーコン 大豆・油揚げ・チーズ 鶏卵・チーズ・牛乳	とうもろこし・たまねぎ・キャベツ にんじん・いんげん豆・枝豆・パセリ たまねぎ・ブロッコリー	米粉パン・生クリーム 小麦粉・バター・砂糖・油 じゃがいも・砂糖・油 砂糖・ココア
20 金	マーボー豆腐 えびの水晶包み	発芽玄米ごはん	牛乳		牛乳・豆腐・鶏肉 豚肉・味噌 えび・たら・大豆	キャベツ・きゅうり・にんじん・にら ねぎ・しょうが・にんにく 枝豆・たけのこ・しょうが	発芽玄米ごはん・ごま 砂糖・ごま油 豚肉・砂糖・ごま油・米粉
23 月	わか若竹汁 アスパラサラダ	ごはん	牛乳		牛乳・鮭・豆腐 鶏肉・ハム・油揚げ わかめ	たけのこ・にんじん・アスパラガス えのきたけ・ねぎ・とうもろこし	ごはん・砂糖・ごま アーモンド オリーブ油
24 火	いそ寒天スープ ビビンバ	麦ごはん	牛乳	甘夏みかん	牛乳・豚肉・豆腐 鶏卵・鶏肉・味噌 もずく・寒天	チンゲン菜・にんじん・もやし・ほうれん草 しめじ・とうもろこし・しょうが・にんにく こんにゃく・甘夏みかん	麦ごはん・砂糖 ごま油・ごま・油
25 水	肉じゃが ひじきと枝豆のサラダ	ごはん	牛乳	アーモンド入り小魚	牛乳・豚肉・ベーコン ひじき かたくちいわし	たまねぎ・にんじん・こんにゃく・もやし 枝豆・ピーマン・さやいんげん・しょうが	ごはん・じゃがいも ごま・砂糖 アーモンド・砂糖・水あめ
26 木	ポークビーンズ 切干し大根とキャベツの サラダ	ミルクロールパン	牛乳	大豆チョコ	牛乳・豚肉・大豆 ハム 大豆・脱脂粉乳	たまねぎ・トマト・にんじん・キャベツ・とうもろこし グリーンピース・切干し大根・パセリ・にんにく	パン・じゃがいも マヨネーズ・ごま 砂糖・油 大豆油・砂糖・ココア
27 金	ししゃもフライ 小松菜のアーモンド和え	センターごはん	牛乳	ソーソ お米のタルト	牛乳・鶏肉・油揚げ ししゃも 牛乳・鶏卵・練乳・脱脂粉乳	小松菜・たけのこ・にんじん・枝豆 もやし・かんぴょう	ごはん・アーモンド 砂糖・油 パン粉・小麦粉 砂糖・マーガリン・糖・油・水あめ

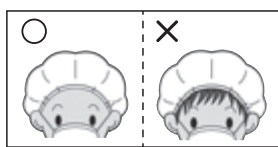
④は小学校のみ、⑤は中学校のみ

[付記] 材料の都合により多少の変更を、お許し願います。

ご入学・ご進級おめでとございます

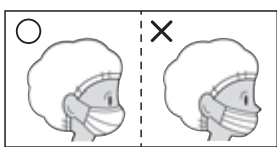
給食では、みなさんが健康で心豊かに生きていくために必要な食に関する知識や、実践力を身につけられるよう、栄養バランスや衛生管理に配慮した魅力ある献立作りに取り組んでいます。毎日、楽しく心と体の栄養を補給し、大きく成長していきましょう。

給食当番の身支度チェック



✓ 帽子に髪をきちんと入れる

✓ 清潔な白衣を着る



✓ マスクで鼻まで覆う

✓ 爪を短く切る

✓ 手を石けんできれいに洗う



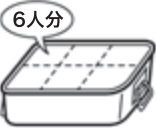
●体調が悪い時は、担任の先生に申し出て交代しましょう

配膳するときのポイント

汁物はよくかき混ぜましょう



1人分の目安を
考えましょう



今月の応募献立

「トルティージャ・スペインオムレツ」

水南小学校
I. Y. 様

毎月19日は「食育の日」

～おうちでごはんの日～です。



「食育」とは、食べ物に興味をもち、食について学ぶことです。家族と一緒にごはんを食べる日をつくることができると良いですね。

(5) 給食費の内訳

給食費は、1食当たり小学校260円・中学校300円。

学校給食の形態

平成30年4月現在

学校別	給食の形態	主食		牛乳		副食・その他	給食費
		規格	価格	規格	価格	価格	
小学校	パンの場合	50g	52.20円	200ml	51.99円	155.81円	260円
	米飯の場合	70~80g	54.55円	200ml	51.99円	153.46円	
	めんの場合	70g	48.50円	200ml	51.99円	159.51円	
中学校	パンの場合	70g	59.47円	200ml	51.99円	188.54円	300円
	米飯の場合	100g	57.94円	200ml	51.99円	190.07円	
	めんの場合	120g	58.86円	200ml	51.99円	189.15円	

(6) 栄養摂取状況

摂取基準値（目標値）と摂取量及び充足率

平成29年度年間平均

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g) 25%~ 30%	カルシウム (mg)	マグネシウム (mg)	鉄 (mg)	亜鉛 (mg)	ビタミン				食物繊維 (g)	食塩 相当量 (g)		
								A (μg)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)				
小学校	摂取基準値	640	24.0	21.3	350	80	3.0	2.0	170	0.40	0.40	20	5.0	2.5	
	単 独 校	摂取量	659	26.8	19.9	344	100	3.0	3.1	251	0.57	0.56	28	4.5	2.3
		充足率 (%)	103.0	111.8	93.6	<u>98.2</u>	125.0	100.6	157.1	147.8	143.0	137.9	138.1	<u>89.9</u>	91.6
	掛 川	摂取量	703	29.7	21.5	372	112	3.4	3.4	290	0.56	0.58	37	4.8	2.2
		充足率 (%)	109.8	123.9	101.1	106.2	139.4	113.6	169.5	170.5	141.1	145.7	183.6	<u>95.8</u>	86.2
中 学 校	摂取基準値	820	30.0	27.3	450	140	4.0	3	300	0.5	0.6	35	6.5	3.0	
	摂取量	847	35.6	24.8	405	133	4.1	4.2	336	0.69	0.65	43	6.1	2.7	
	充足率(%)	103.3	118.7	90.8	<u>89.9</u>	<u>95.1</u>	102.3	140.9	111.9	137.8	108.8	121.8	<u>93.6</u>	89.1	

(アンダーラインの部分が未充足)

(7) おいしく楽しく食事をするための取り組み

- ① 食材の安全性の確保を図る。
国産のものを努めて使用し、遺伝子組み替え食品や食品添加物の入った食品はできる限り使用しない。
- ② 学校給食を通じて学校と家庭との連携を図る。
家庭へ「給食だより」の配布、家庭から募集した献立の導入、PTA試食会等の実施を図る。
- ③ 調理機器等の充実により献立内容の充実を図る。
コンベクションオープン、真空冷却機、保冷剤の使用。
- ④ 瀬戸市産の農産物を給食に取り入れ、地域との連携を図る。
産業政策課（アグリカルチャー推進係）を通じて、市内で生産された豚肉、米、玉葱、なす、里芋等を使用。
- ⑤ 献立の工夫を図る。
行事食や、郷土料理、バイキング給食等で、食に対する理解を深める。

〈瀬戸市産親芋を使った献立の給食〉



〈バイキング風景〉



〈瀬戸市産玉葱のポスター〉



〈いつもの給食風景〉



(8) 食物アレルギーの対応

平成21年度から食物アレルギーのある子どもたちに、除去食、代替食（牛乳のみ）の対応に取り組んでいる。

- ① 学校給食において食物アレルギー対応を行う場合、「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」の提出を必須としている。
- ② 学校給食におけるアレルギー対応面談記録表、聞き取り調査表をもとに保護者と面談している。校長、教頭、養護教諭、保健主事、給食主任、栄養教諭、担任等で協議し、学校給食におけるアレルギー対応決定書が作成される。
- ③ 保護者には、学校給食におけるアレルギー対応についての決定をお知らせする。
- ④ 単独校では、各学校で除去食の対応をしている。
- ⑤ センターでは、食品16品目（29年度）の除去食の対応をしている。
- ⑥ 配膳やおかわりにおける誤食を防ぐために、平成25年度より、食物アレルギー対応専用食器（イエロー）を使用している。
- ⑦ センターでは、専用ランチジャーで除去食を運び、専用食器（イエロー）を使用している。
※なお、本人に除去食が正確に提供できるように受取表で確認記録を行う。

IV 図書館

1 図書館活動

(1) 基本方針

図書館サービスの充実、施設やネットワークの整備により、利用しやすい環境づくりを推進する。

(2) 重点目標

- ① 学校図書館との連携による地域図書館の増設・利活用を進める。
- ② 市民等がくつろぎ、学び、暮らしに役立つ情報を享受し、交流する場づくりを進める。
- ③ 子どもの読書環境の整備、学習活動への支援を図る。
- ④ 情報化に対応した資料の充実やサービスの提供を図る。
- ⑤ 高齢者及び障害者等、誰もが利用しやすい環境づくりを進める。

(3) 施設

① 瀬戸市立図書館（本館）

所在地	東松山町1番地の2	TEL	0561(82)2202	FAX	0561(85)2651
敷地面積	4,222.5 m ²				
建物	構造	鉄筋コンクリート2階建			
	面積	868.26 m ²			
	延面積	1,412.26 m ²			
	構造	軽量鉄骨平屋建（プレハブ集会室）			
	面積	98.69 m ²			



② 情報ライブラリー

所在地	栄町45番地（パルティセと3階）	TEL	0561(97)1162
面積	198.24 m ²		

図書館全景

(4) 利用案内

開館時間 本館 午前9時～午後7時（4月～9月）

午前9時～午後6時（10月～3月）

情報ライブラリー 午前9時～午後9時半

休館日 毎月第4水曜日（この日が休日となる日を除く）

年末・年始（12月28日から翌年の1月4日まで）

特別整理期間（年1回10日以内）

利用対象 館内利用は自由、館外貸出は市内在住・在勤・在学及び近隣8市1区1町の在住者

利用内容

貸出サービス 個人貸出—1人10冊（点）まで 期間3週間以内（視聴覚資料・雑誌は2週間以内）
団体貸出—構成員は5人以上、代表及び構成員の過半数は市内在住とし、貸出期間は最長2か月、最大200冊まで

その他サービス 予約サービス（5冊まで）、リクエストサービス、相互貸借サービス、レファレンスサ

ービス、コピーサービス（有料 1枚10円）、ハンディキャップサービス、パソコンルーム利用サービス（PC利用・DVD視聴）

(5) 蔵書状況

平成29年度末の蔵書冊数は330,749冊で、前年度末に比べ7,711冊増加した。平成29年度中の増減の内訳は、雑誌・視聴覚資料を含む購入（増）が17,106冊、寄贈など（増）が397冊、除籍（減）が9,792冊であった。

① 蔵書の種類

資料区分	H28年度末 蔵書数	購入	寄贈/他	除籍・変更	H29年度末 蔵書数	増減
一般書	200,049	8,280	126	5,256	203,199	3,150
児童書	92,425	5,611	76	1,138	96,974	4,549
郷土資料	14,881	46	178	10	15,095	214
点字・大活字本	2,559	159	0	2	2,716	157
小計	309,914	14,096	380	6,406	317,984	8,070
雑誌	11,003	2,962	15	3,379	10,601	-402
視聴覚資料	2,121	48	2	7	2,164	43
小計	13,124	3,010	17	3,386	12,765	-359
合計	323,038	17,106	397	9,792	330,749	7,711

② 蔵書及び資料購入費等の推移

年度	人口（人）	蔵書冊数（冊）	購入冊数（冊）	資料購入費（千円）	市民1人あたりの資料費（円）
平成27年度	130,676	319,534	17,378	28,369	217
平成28年度	130,298	323,038	12,895	28,730	220
平成29年度	129,900	330,749	17,106	28,723	221

③ 郷土（地域）資料の収集

地場産業である窯業・陶磁器に関する資料を、国内外を問わず広く収集し、2階の参考室内に「陶磁器本コーナー」を設置し、閲覧・貸出を行っている。その他地域資料についても行政機関等の協力により収集に努めており、整理・活用が課題となっている。

④ 電子資料の整備

地域資料を適正に保管し閲覧等の利便性を高めるため、所蔵する中日新聞なごや東版及び中日ホームニュースの電子化を専門業者への委託により進めている。

平成29年度実績 - 中日新聞なごや東版（平成18年10月～平成24年12月分）

中日ホームニュース（平成27・28年分）

(6) 利用状況

平成29年度の本館の開館日数は335日、入館者数は228,285人、285人で、対前年度比3.0%減となった。また、情報ライブラリーは開館日数356日、入館者数は85,508人で、対前年度比6.2%減となった。本館・情報ライブラリー・移動図書館（山口公民館・幡山公民館）・地域図書館（品野台小・光陵中・西陵小・水野小・東山小・幡山西小）を窓口とする個人・団体への平成29年度総貸出数は、654,106冊で前年度に比べ0.4%増加した。うち、個人への貸出は、624,416冊で、団体への貸出は、29,690冊であった。また、市民一人あたりの貸出冊数は5.0冊で、平成28年度5.0冊から増減はなかった。

総合表		29年度計	28年度計	27年度計	26年度計	月平均	増減数	対前年比(%)	
本館	開館日数	335	333	339	336	28	2	101%	
	入館者数	228,285	235,126	245,040	238,623	19,024	-6,841	97%	
	個人	利用者数(人)	111,463	111,157	117,673	112,630	9,289	306	100%
	貸出	貸出冊数(冊)	505,788	504,053	531,997	507,188	42,149	1,735	100%
	新規登録者数	2,609	2,812	3,250	2,799	217	-203	93%	
	団体貸出	貸出冊数(冊)	26,773	30,886	19,096	30,310	2,231	-4,113	87%
	貸出冊数小計	532,561	534,939	551,093	537,498	44,380	-2,378	100%	
移動図書館 (山口、幡山) (学校図書配達)	巡回回数	24	48	70	70	2	-24	50%	
	個人	利用者数(人)	209	571	707	594	17	-362	37%
	貸出	貸出冊数(冊)	911	2,428	3,900	3,656	76	-1,517	38%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	89	0	10,210	10,292	7	89	-
貸出冊数小計	1,000	2,428	14,110	13,948	83	-1,428	41%		
情報ライブラリー	開館日数	356	342	358	356	30	14	104%	
	入館者数	85,508	91,185	99,458	95,352	7,126	-5,677	94%	
	個人	利用者数(人)	20,530	21,113	22,942	21,696	1,711	-583	97%
	貸出	貸出冊数(冊)	57,535	59,230	65,743	61,905	4,795	-1,695	97%
団体貸出	貸出冊数(冊)	351	629	2,932	3,451	29	-278	56%	
貸出冊数小計	57,886	59,859	68,675	65,356	4,824	-1,973	97%		
地域図書館 (品野台小)	開館日数	113	110	114	111	9	3	103%	
	入館者数	988	931	1,165	1,073	82	57	106%	
	個人	利用者数(人)	3,286	2,790	2,825	3,436	274	496	118%
	貸出	貸出冊数(冊)	8,969	7,625	8,390	10,158	747	1,344	118%
	団体貸出	貸出冊数(冊)	1,140	1,352	719	1,125	95	-212	84%
	貸出冊数小計	10,109	8,977	9,109	11,283	842	1,132	113%	
	開館日数	113	109	114	110	9	4	104%	
	入館者数	1,708	1,482	1,614	1,662	142	226	115%	
	個人	利用者数(人)	1,480	1,810	2,004	1,906	123	-330	82%
	貸出	貸出冊数(冊)	4,197	4,727	5,099	4,954	350	-530	89%
団体貸出	貸出冊数(冊)	47	112	773	227	4	-65	42%	
貸出冊数小計	4,244	4,839	5,872	5,181	354	-595	88%		
地域図書館 (西陵小)	開館日数	113	101	103	99	9	12	112%	
	入館者数	2,302	2,081	2,293	2,247	192	221	111%	
	個人	利用者数(人)	10,927	10,419	11,093	11,384	911	508	105%
	貸出	貸出冊数(冊)	14,890	13,629	15,118	15,549	1,241	1,261	109%
団体貸出	貸出冊数(冊)	82	189	490	662	7	-107	43%	
貸出冊数小計	14,972	13,818	15,608	16,211	1,248	1,154	108%		
地域図書館 (水野小)	開館日数	112	106	111	108	19	6	106%	
	入館者数	1,297	1,174	1,358	1,186	216	123	110%	
	個人	利用者数(人)	6,326	5,922	5,906	6,493	1054	404	107%
	貸出	貸出冊数(冊)	13,174	13,454	13,009	14,109	2196	-280	98%
団体貸出	貸出冊数(冊)	244	316	363	479	41	-72	77%	
貸出冊数小計	13,418	13,770	13,372	14,588	2,236	-352	97%		
地域図書館 (東山小)	開館日数	112	106	109	105	19	6	106%	
	入館者数	1,019	1,277	1,742	1,778	170	-258	80%	
	個人	利用者数(人)	8,154	10,027	11,039	11,646	1,359	-1,873	81%
	貸出	貸出冊数(冊)	10,180	12,273	14,574	15,215	1,697	-2,093	83%
団体貸出	貸出冊数(冊)	366	325	317	463	61	41	113%	
貸出冊数小計	10,546	12,598	14,891	15,678	1,758	-2,052	84%		
地域図書館 (幡西小)	開館日数	54	-	-	-	9	54	-	
	入館者数	1,285	-	-	-	214	1,285	-	
	個人	利用者数(人)	5,250	-	-	-	875	5,250	-
	貸出	貸出冊数(冊)	8,772	-	-	-	1,462	8,772	-
団体貸出	貸出冊数(冊)	598	-	-	-	100	598	-	
貸出冊数小計	9,370	-	-	-	1,562	9,370	-		
小計	入館者数	8,599	6,945	8,172	7,946	-	-	-	
	個人	利用者数(人)	35,423	30,968	32,867	34,865	-	-	-
	貸出	貸出冊数(冊)	60,182	51,708	56,190	59,985	-	-	-
	団体貸出	貸出冊数(冊)	2,477	2,294	2,662	2,956	-	-	-
貸出冊数計	62,659	54,002	58,852	62,941	-	-	-	-	
全館	総入館者数	322,392	333,256	352,670	341,921	-	-	-	
	総個人	利用者数(人)	187,625	183,809	174,189	189,785	-	-	-
	貸出	貸出冊数(冊)	624,416	617,419	657,830	632,734	-	-	-
	総団体貸出	貸出冊数(冊)	29,690	33,809	34,900	47,009	-	-	-
	総貸出冊数	654,106	651,228	692,730	679,743	-	-	-	

(7) 事業概要 (平成29年度実績)

① 地域図書館

「身近な場所に身近な図書館を」をコンセプトに、小中学校との連携により、土日祝日に学校図書館を一般開放し、図書の閲覧・貸出など、図書館の分館としてのサービス提供を図書館サポーターとの協働により行っている。平成29年10月1日には、6館目となる地域図書館を幡山西小学校に開設した。

名称 (開設校)	品野台小学校 地域図書館 「宝島」	光陵中学校 地域図書館	西陵小学校 地域図書館	水野小学校 地域図書館	東山小学校 地域図書館	幡山西小学校 地域図書館
開設日	H18. 10. 7	H20. 10. 4	H21. 10. 3	H22. 10. 9	H23. 10. 15	H29. 10. 1

開館日時：土日祝日 午前10時～午後3時
 内容：学校図書館の一般開放
 図書の購入支援（一般書・児童書）
 司書及び図書館サポーターの派遣など



地域図書館の来館者数 (土日祝のみ) (人)

	子ども	大人	合計
平成27年度	3,537	4,635	8,172
平成28年度	2,959	3,986	6,945
平成29年度	3,908	4,691	8,599

② 移動図書館

月2回の山口・幡山公民館2ヶ所での巡回を、幡山西小学校の地域図書館開設に伴い、平成29年9月末で終了した。

③ 各講座・行事の開催

ア 第19回 夏休み子ども理科教室

日時：平成29年8月4日(金) 午前・午後2回

場所：図書館 1階 集会室

協力：瀬戸市理科教育研究会

参加：市内小学生3～6年生 62名参加

イ 第21回 図書館まつり

期間：平成29年10月14日(土)～11月19日(日)

場所：図書館、瀬戸蔵

内容：文学カフェ(10/21)、子ども1日司書(10/29)、本のリサイクル市(11/11)、ビブリオバトル(11/19)、
 「図書館めぐり！瀬戸高校の図書館に行こう」(11/6～11/14) など

ウ その他

- ・読み聞かせ (毎週月～金曜 午前11時から30分間 職員・ボランティアグループにより実施)
- ・こどもの読書週間行事 (4/2～5/5)



- ・読書感想画展 (4/27～6/27)
- ・教科書展示会 (6/10～7/11) ※愛知県教育委員会主催、教科書センター事業
- ・キッズルーム開設 (テーマ設定、集会室) 年2回 (4/27～5/5、10/26～11/11)

④ 支援事業

ア 学校図書館への支援

- ・地域図書館開設学校図書館への支援
司書の派遣 (週1回 平日) による読み聞かせなどの実施、研修支援
- ・その他学校図書館への図書貸出
小学校 (11校) 年2回

イ その他施設への支援

公民館図書室 (11館) 及び保育園・陶生病院などの施設へ図書を貸出

⑤ 連携事業

ア 子育て支援「ブックスタート」事業

市健康課との連携により、6ヶ月健診受診親子を対象に、ファーストブックの読み聞かせや図書館での取り組み (絵本の読み聞かせ、おはなし会・映画会) などを紹介し、絵本2冊・アドバイス集・絵本リストをコットン・バックに詰めた「ブックスタート・バック」を配布した。事業の実施にあたっては、公募によるブックスタートボランティアの協力を得た。(参加ボランティア 延53人)

開催日：月2回

場所：やすらぎ会館

配布数：子ども 822人

イ 図書館連携健康支援事業 めりーらいん

近隣図書館との連携により、病気や症状の調べ方ガイド「メディカルパス」の共同作成など、健康・医療をテーマとした事業を実施した。平成29年度には、事業開始10周年を迎え、記念行事を行った。

参加図書館：愛知医科大学・尾張旭・長久手・日進・瀬戸 5館

10周年イベント 日時：平成29年12月16日 (土)

場所：愛知医科大学総合学術情報センター

内容：ぬりえ、小学生1日ナース体験、医療情報発信、資料配布

参加者：ぬりえ1,660枚、ナース体験27人

ウ 大学コンソーシアムせと連携事業

大学コンソーシアムせと「新しい文化創造プロジェクト」の採択を得て、若年層の読書への関心を高めるイベントとして、「ビブリオバトル」を開催した。(平成27年度から継続)

プロジェクト名：図書館連携事業ビブリオバトル

開催日：平成29年11月19日 (日)

参加校：愛知工業大学、金城学院大学、名古屋学院大学、名古屋産業大学、南山大学、瀬戸高校

参加者：バトラー (本の紹介発表者) 大学生5人、高校生2人

エ 図書館ボランティア活動との連携

本館での読み聞かせやブックスタート事業において、ボランティアとの連携による活動を行った。(ボランティア団体：8団体、ブックスタートボランティア：12人)

活動内容：読み聞かせ（平日 11：00～11：30）、土曜おはなし会（第 1 土曜 午後）、
土曜おはなし会とえいが会（第 2 土曜 午後）、ブックスタート（月 2 回）

オ 図書館友の会事業

平成 11 年 1 月に図書館の呼びかけにより利用者や図書館で活動するグループが任意参加して設立され、
図書館を支援する活動を継続して取り組んでいる。本の補修や館内行事の企画開催などを企画から運営ま
で自主的に実施した。（会員数：約 60 人）

活動内容：世話人会（第 3 土曜）、本の補修（毎週火曜午前）、会報（年 3 回）発行、
図書館まつり協力、七夕・クリスマスなど館内行事の開催など

⑥ 広報事業

図書館の取り組みや利用内容について市民などへの効果的に PR することを目的とする事業を実施した。

ア 瀬戸市立図書館 PR 事業 “はるが来た！みんなおいでよ 地域図書館”

開催日：平成 30 年 3 月 17 日（土）・18 日（日）

開催場所：6 地域図書館

開催内容：紙芝居屋上演、ポン菓子実演・配布、しかけ絵本展示

参加者数：約 230 人

イ 「地域図書館」ビジュアルサイン計画・作成業務委託

内容：地域図書館の誘導・案内サインの確認・分析、効果的なサインの提案

(8) 組織及び運営の見直し

① 瀬戸市立視聴覚ライブラリーの組織廃止及び図書館業務への統合

平成 29 年度末で、瀬戸市立視聴覚ライブラリーの組織（昭和 49 年 7 月 1 日に地方教育行政の組織
及び運営に関する法律に基づく教育機関として設置）及び同運営委員会を廃止した。

平成 30 年度からは、視聴覚ライブラリーで行ってきた学校教育及び社会教育機関への視聴覚教
材・機材の貸出事業を「視聴覚教材・機材団体貸出」として図書館業務の中で行うこととした。

② 瀬戸市図書館協議会の設置

多様な人材の参画による運営をすすめるため、瀬戸市図書館協議会条例（平成 30 年 3 月 29 日条例
第 10 号）を制定し、学校又は社会教育の関係者、図書館利用者、学識経験者、その他教育委員会が
必要と認める者 10 人以内で組織する「瀬戸市図書館協議会」を設置した。

委員 9 人（任期：平成 30 年 5 月 1 日～平成 32 年 4 月 30 日）

職名	氏名	区分
会長	中井 孝幸	学識経験者
副会長	加藤 和守	社会教育関係者
委員	臼井 和人	学校教育関係者
委員	丹羽 光成	学校教育関係者
委員	新海 弘之	社会教育関係者
委員	加藤 絹子	図書館利用者
委員	金谷 みどり	図書館利用者
委員	福田 直美	図書館利用者
委員	石川 良文	図書館利用者

V 社 会 教 育

1 社会教育

(1) 基本方針

社会教育の本旨を効果的に達成するために、社会教育施設や人的要素を充実させる等、諸条件の整備を図り、特に生涯学習の観点に立って、積極的に社会教育活動を推進します。

(2) 重点目標

- ① 生涯学習の充実、民間指導者層の育成及び拡充を図ります。
- ② 社会教育施設の整備充実、活用の促進を図ります。

(3) 社会教育の振興

◇ 平成30年度 社会教育委員

平成30年6月1日現在

氏 名	選 出 母 体	公 職 ・ そ の 他
福 岡 明	学 識 経 験 者	瀬戸市第2次教育アクションプラン推進委員
加 藤 寛 司	校 長 会	瀬戸市小中学校長会副会長・八幡小学校長
加 藤 英 憲	公 民 館	瀬戸市公民館協議会副会長
横 井 暢 彦	子 ど も 会	瀬戸市子ども会連絡協議会会長
中 島 隆 幸	P T A	瀬戸市小中学校PTA連絡協議会会長
川 本 まり子	体 育 団 体	瀬戸市体育協会常任理事
青 山 貴 彦	医 師 会	瀬戸旭医師会副会長
谷 口 幸 二	文 化 団 体	瀬戸陶芸協会理事
佐 野 麻 貴	福 祉 団 体	瀬戸市民生委員児童委員協議会子育て支援部会長
水 野 草 平	薬 剤 師 会	瀬戸旭長久手薬剤師会会長

社会教育委員……社会教育に関する諸計画を立案、教育委員会の諮問に答え、又は教育委員会に対し意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

定数及び任期……13名以内、2年任期 平成30年6月1日～平成32年5月31日

(4) 社会教育事業

- ① 社会教育講座・生涯学習セミナーの開催
学習活動の機会を増やし、生涯学習のきっかけづくりを行います。

◇ 平成29年度 生涯学習セミナー実績

講座名	開催日	参加者数
子育てパパ・ママの学びセミナー ・『子育てパパのキャンプ教室』	6月25日	14組(53人)
品野の森・里山学校サマースクール (1泊2日)	8月3日～4日	31人



「品野の森・里山学校サマースクール」の様子

◇ 平成29年度 学びキャンパスせと

「自分が得意なことを教えたいたい」という熱意のある公募による市民講師が「教える生きがい」をもって講座を企画・運営し、多彩で豊かな講座を提供する新しい講座の仕組み、「学びキャンパスせと」を開催しました。

講座の内訳は、パソコン、趣味・教養、美術、軽運動、書道、語学、市民生活、健康、音楽、料理、親子向けとなっています。

前期は90講座を開き受講生は1670名、後期は89講座を開き受講生は1670名でした。



「親子向け講座」の様子

(5) 地区公民館事業

① 勤労青少年教養講座（平成30年度）

勤労青少年向けの講座を開催し、生涯学習のきっかけづくりと交流を図っています。

② 地区公民館生涯学習補助事業（平成30年度）

市内各地域において生涯学習の機会を増やし、また、その活動を促進するとともに、地区公民館が地域における生涯学習の中核施設としての役割を果たしていくことを推進するために、関係

事業に補助金を交付しています。

(6) 施設の概要

生活、文化、教養の向上や、地域住民の連帯意識の高揚を図るため、各種の教育事業と住民の主体的な学習・創造活動が行われています。(平成30年4月1日現在)

館名	館長氏名	所在地	電話	設立年月日	建物延面積	建物構造
陶原公民館	加藤和守	熊野町98	83-3579	S28. 2. 1	620 m ²	鉄筋2階
深川公民館	谷口幸二	宮脇町53	82-0453	S28. 2. 1	403 m ²	鉄筋2階
祖母懐公民館	山田重夫	上ノ切町43	82-9304	S28. 2. 1	730 m ²	鉄骨1階
古瀬戸公民館	丹羽静夫	西拝戸町16-10	83-8741	S28. 2. 1	413 m ²	鉄筋2階
東明公民館	鈴木一己	西拝戸町16-3	82-8024	S28. 2. 1	427 m ²	鉄筋2階
效範公民館	長江保	北山町39	82-1095	S28. 2. 1	709 m ²	鉄筋2階
長根公民館	伊藤繁男	城屋敷町22	85-0911	S44. 4. 1	686 m ²	鉄筋2階
水南公民館	山本玉美	東松山町154	21-2556	S28. 2. 1	409 m ²	鉄筋2階
山口公民館	加藤英憲	田中町108	87-0700	S38. 4. 1	745 m ²	鉄筋2階
幡山公民館	中根謙	幡山町71	87-4000	S30. 4. 1	428 m ²	鉄筋2階
下品野公民館	成瀬彰良	品野町6-105	41-4118	S34. 4. 1	874 m ²	鉄筋3階
掛川公民館	加藤令元	定光寺町1206	48-6165	S38. 4. 1	153 m ²	鉄骨1階
原山公民館	菊川照一	原山台8-163	83-9231	S48. 4. 1	405 m ²	鉄筋2階
萩山公民館	石原昭二	萩山台4-2-2	84-2088	S50. 11. 1	405 m ²	鉄筋2階
八幡公民館	高木秋男	八幡台1-145-2	82-9456	S52. 5. 7	405 m ²	鉄筋2階

(7) 瀬戸市公民館協議会に関する事業

地区公民館相互の情報交換と地域課題を解決する糸口を見出す方策や指導者を養成する事業を行い、地域における公民館活動の一層の振興を図ります。

◇ 協議会役員

平成30年4月1日現在

役職名	氏名	所属
会長	加藤和守	陶原公民館
副会長	菊川照一	原山公民館
副会長	加藤英憲	山口公民館
監査	高木秋男	八幡公民館
監査	鈴木一己	東明公民館

◇ 事業（平成29年度）

- * 公民館グラウンドゴルフ大会
平成29年5月14日（日） 天候不良により中止
- * 愛知県公民館連合会総会 安城市文化センター
平成29年6月6日（火）
- * 中学校区指導者研修会
平成29年7月～11月
- * 瀬戸市公民館協議会研修事業
平成29年11月29日（水） 文化センター
「瀬戸市の教育の未来～地域とともにある学校づくり～」
- * 平成30年成人式
平成30年1月7日（日）各地区公民館等（17会場 該当者1,335人 参加者1,037人）
- * 瀬戸市公民館大会
平成30年1月27日（土） 瀬戸蔵つばきホール
記念講演 「誰も一人では生きられない」
- * 愛知県公民館連合会 東尾張支部研究発表会
平成30年2月16日（金） 東郷町イーストプラザいこまい館
- * 公民館長会議 年6回開催
- * 公民館長・運営委員長合同会議 年2回開催
- * 運営委員長会議 年4回開催

(8) 「大学コンソーシアムせと」による教育支援

「大学コンソーシアムせと」は、瀬戸市と近隣の大学とが連携し、市民への生涯学習の機会の提供や市民と大学との交流促進、大学と行政による地域研究などを目的に作られた組織です。

① 平成29年度 教育現場問題研修会・学習会実績

小中学校教員が教育現場で抱える問題の解決の一助となるようにと、小中学校教員を対象とした研修会・学習会を開催し加盟大学より教員を派遣しています。

内 容	担 当 大 学	開 催 場 所	実 施 日	参加教員数
発達支援研修会	名古屋学院大学	文化センター22 会議室	8月22日	59名
	金城学院大学	文化センター22 会議室	8月25日	18名
	名古屋産業大学	文化センター31 会議室	8月29日	36名

② 平成29年度 小中学校教育現場支援実績

小中学校へ大学教員や学部生、留学生を派遣し実際の教育現場での児童・生徒の授業を支援しています。近年は、発達障害児対応の支援が増えています。

内 容	担 当 大 学	小 中 学 校 名	実 施 日
理科学習（全10日）	名古屋産業大学	幡山西小学校	7月11日,12日,14日
		原山小学校	7月14日
		東明小学校	12月1日
	愛知工業大学	道泉小学校	12月19日
		深川小学校	12月21日
		幡山西小学校	2月6日,8日,9日
		八幡小学校	2月22日
内 容	担 当 大 学	講 師 名	実 施 回 数
発達障害支援	金城学院大学	川瀬正裕教授	3回
		今村友木子教授	1回
		加藤大樹准教授	2回
		二村 彩講師	2回
	名古屋学院大学	廣藤稚子相談員	2回
	名古屋産業大学	松瀬留美子准教授	4回
	南山大学	早川徳香准教授	2回

③ 平成29年度講座主催実績

専門的でわかりにくいと思われがちな大学教員の研究を市民のみなさんにわかりやすく楽しく紹介し、学んでいただく講演会・講座を行いました。

内 容	参 加 人 数	開 催 日 ・ 実 施 回 数 等
カレッジ講座 『「手仕事の日本」の民芸－瀬戸とともに－』 提供大学：南山大学 濱田琢司教授	52名	10月12日(木)
カレッジ講座 『身体のしくみと病気のなりたち－アレルギー、高血圧について－』 提供大学：金城学院大学 福石信之教授	61名 44名	10月14日(土) 10月21日(土) 2回講座
カレッジ講座 『多様な黒人文化を生み出してきたニューヨーク市ハーレム：125番街の夢と現実』 提供大学：名古屋産業大学 内山哲治教授	40名	10月19日(木)
カレッジ講座 『運動の重要性とその効果 - 運動により生じる身体の変化 - 』	86名	10月27日(金)

提供大学：名古屋学院大学 坂井智明准教授		
カレッジ講座 『高齢者の交通事故と見るチカラ』 提供大学：愛知工業大学 石垣尚男客員教授	54名	11月2日(木)

VI 社 会 体 育

1 社会体育

(1) 基本方針

スポーツを通じて市民の健康保持・増進とともに、競技スポーツの競技力向上及びアマチュアスポーツの振興に努めます。市民が生涯を通じて自分に合ったスポーツに親しみ、健康づくりができるような環境の整備充実と、生涯スポーツを根底においたスポーツ人口の拡大を目指し、スポーツ活動の普及に努めています。

(2) 重点目標

- ① 生涯にわたりスポーツに取り組む意識の向上と市民総スポーツの実現
- ② 地域スポーツ振興とスポーツ指導者の養成、資質の向上
- ③ スポーツをする機会の提供
- ④ 充実した施設の提供と学校体育施設の有効活用
- ⑤ 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- ⑥ 生涯スポーツ及び競技スポーツと学校体育（部活動）との連携の推進

(3) スポーツ推進委員

「市民の体力づくり」「市民スポーツ事業の振興」「アマチュアスポーツの普及発展」という三つの目標に向かって、積極的にその事業の推進を図り、特にコミュニティスポーツの指導者養成及び組織づくりを中心に、個人の健康とスポーツに対する市民意識の盛り上がりを図るため、関係機関・団体にアピールし、市民の健康や体力向上を期するための活動をしています。

現在30名（地区公民館・地域交流センター推薦18名、体育協会推薦10名、学識経験者2名）でその任務にあたっています。

(4) 総合型地域スポーツクラブ支援

地域住民が主体となり、誰でも、いつでも、どこでも、気軽にスポーツができる、生涯スポーツ環境を実現するため、総合型地域スポーツクラブの活動支援に努めています。平成16年8月に市内で初めての総合型地域スポーツクラブである「品野スポーツクラブ」が設立されたのに続き、平成19年8月に「水野・西陵いきいきクラブ」が設立され、会員により自主運営されています。上記の2団体の支援を中心に、他の地域におけるクラブの必要性や今後の方向性についても引続き検討していきます。

2 体育・スポーツ活動

(1) スポーツ教室

定期的にスポーツをしたい方や新たにスポーツを始めようとする方たちに機会を提供することを目的として、平成29年度は次の教室を開催しました。



競技名	開催数(回)	参加数(人)	競技名	開催数(回)	参加数(人)
ウォーキング&健康づくり	3	150	ソフトバレーボール	1	25
幼児体力づくり	3	154	バスケットボール	2	55
ソフトテニス	2	101	ミニバスケットボール	3	155
陸上競技	2	54	サッカー	1	182
剣道	2	14	テニス	3	58
卓球	2	50	バドミントン	2	34
弓道	2	16	少林寺拳法	3	5
柔道	3	20	ラグビー	1	129
スキー	2	60	空手道	2	47
ソフトエアロビクス	9	604			
ウォーキング	6	377	合計	54	2,290

(2) スポーツ大会

① 市民体育大会

市民体育大会は、当市のスポーツの祭典と呼べるもので、多数の市民に参加の機会をつくり、スポーツの普及と体力の増進を図り、健康で明るい市民の育成を目的に行われています。

平成29年度で68回目を迎え、5月28日(日)の総合開会式を皮切りに、23競技28大会で熱戦が繰り広げられました。



第68回市民体育大会

競技名	大会数(回)	参加数(人)	競技名	大会数(回)	参加数(人)
陸上競技	1	214	テニス	1	142
ソフトテニス	1	176	バドミントン	2	166
軟式野球	1	1,060	ソフトボール	1	90
剣道	1	233	クレール射撃	1	15
卓球	1	266	ボウリング	1	38
弓道	1	62	少林寺拳法	1	15
バレーボール	4	475	ラグビー	2	460
柔道	1	62	ウエイトリフティング	1	22
スキー	1	32	ビーチボール	1	124
体操	1	260	グラウンドゴルフ	1	168
バスケットボール	1	330	空手道	1	229
サッカー	1	130			
			合計	28	4,769

② 瀬戸地方近郊駅伝競走大会

本大会は昭和27年に始まり、平成29年で66回目を迎え、伝統ある広域的な大会として定着しています。第62回大会から中学生の部（男子・女子）を創設し、参加チームは年々増加する傾向にあります。

また、平成23年以降は、同日に小学生駅伝大会も開催しています。



第66回大会参加状況（平成29年12月10日実施）

男子第1部（一般）・5区間	14チーム
男子第2部（一般）・4区間	60チーム
男子第3部（高校生）・5区間	63チーム
一般女子の部・4区間	36チーム
中学生男子の部・4区間	46チーム
中学生女子の部・4区間	39チーム
合計	258チーム

< 第7回瀬戸市小学生駅伝大会 >

男子の部・4区間	34チーム
女子の部・4区間	21チーム
合計	55チーム

(3) 学校体育施設スポーツ開放

学校体育施設を学校教育に支障のない範囲内において開放することにより、広く市民にスポーツ活動の実践の機会を提供し、市民の健康保持増進と体力の向上に努めています。

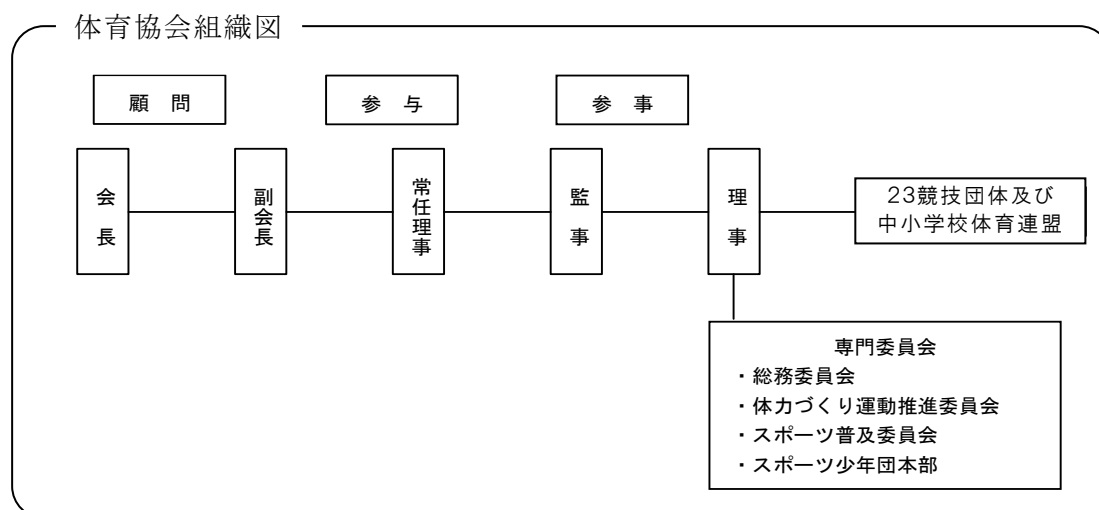
市内在住者又は在勤者により構成された登録団体が各学校体育施設を利用しています。
平成29年度の利用者数は122,580人です。

学校開放実施状況（平成30年3月現在）

	開放施設
小学校（20校）	屋内運動場、校庭
中学校（8校）	屋内運動場、柔剣道場、校庭
高等学校（1校）	校庭

(4) 社会体育団体

瀬戸市体育協会（24団体 約9,300人加盟）は「市民スポーツ事業の振興」と「競技力向上、アマチュアスポーツの発展」という2つの目標に向って、積極的に各種事業の推進を図り、スポーツに対する市民意識の盛り上がりを図るため、関係機関、協会加盟団体と密接に協力して、各種のスポーツ大会を開催し、その実現を期しています。



平成29年度 瀬戸市体育協会主催(共催)大会

競技名	大会数 (回)	参加数 (人)	競技名	大会数 (回)	参加数 (人)
陸上競技	—	—	サッカー	8	1,200
ソフトテニス	11	2,296	テニス	10	1,642
軟式野球	17	4,740	バドミントン	5	490
剣道	3	797	ソフトボール	3	409
卓球	14	2,638	ボウリング	10	859
弓道	4	344	ビーチボール	2	350
バレーボール	12	1,099	グラウンドゴルフ	4	751
柔道	2	101			
スキー	1	32			
バスケットボール	8	2,050	合計	114	19,798

※陸上競技は荒天のため大会中止。

3 スポーツ施設

(1) 施設一覧

	施設名	所在	敷地面積(㎡)	建物床面積(㎡)	規模	竣工
有 料 施 設	体育館	市民公園内	4,809	5,240	第1競技場(1,575㎡) バスケットボール 2面 バレーボール 3面 バドミントン 8面 卓球台 14台 体操全種目 第2競技場(440㎡) バレーボール 1面 バドミントン 2面 卓球台 10台 トレーニングルーム(163㎡)	S54. 3.15
	第二体育館				1,773	競技場(910㎡) バスケットボール 1面 バレーボール 2面 バドミントン 6面 卓球台 12台 大鏡 トレーニングコーナー(132㎡)
	野球場		20,300	820	両翼 100m、センター 125m 照明施設	S45.11. 1
	陸上競技場		28,168	425	400m 単心円トラック 8コース 3,000m 障害池	S48.10.31
	A テニスコート		5,500	129	砂入人工芝舗装 6面 照明施設	S49.10. 1
	B テニスコート		3,177		砂入人工芝舗装 4面	S55. 3.31
	プール		8,095	460	25m 7コース、50m 9コース 幼児用プール	S46. 6.20
	武道館		1,288	630	柔道場 1面 剣道場 2面	S47.11.10
	弓道場		2,167	272	近的(28m)10人立 遠的(60m) 5人立	S47.11.10
	設		窯神グラウンド	磁祖公園内	10,231	
陶祖グラウンド		陶祖公園内	8,303		両翼 71m センター 80m	S56. 9.30
南公園グラウンド		南公園内	12,000	22	両翼 90m センター 100m 照明施設	S62. 3.13
北グラウンド		北スポーツ 施設内	11,500		両翼 92m、センター 105m	H4. 3.30
北テニスコート			2,780	78	アクリル系樹脂舗装 4面	H4.12. 7
南ヶ丘野球場		瀬戸信用金庫 総合グラウンド内	14,271	671	両翼 95m、センター 120m	瀬戸信用金庫から借用し H30.6.18から一般利用開始
南ヶ丘テニスコート			2,822	152	砂入人工芝舗装 4面	
南ヶ丘運動広場			4,581		70m×59m	
定光寺野外活動センター	鹿乗町地内	27,685	1,908	管理棟、屋外施設(キャンプ場・ 営火場・炊飯場)、トリム施設	S60. 7.10	
無 料 施 設	ゲートボールコート	市民公園内	824		クレイ舗装 1面	S56. 3.15
	ジョギングコース				Aコース(1.5km) Bコース(1.2km)	
	オリエンテーリングコース				10ポイント	
	トリムコース	東公園内			1.5km コース	
	オリエンテーリングコース				8ポイント	

(2) 利用方法

2か月先までの申込みを先着順で使用許可しています。ただし、申込みの多いテニスコートと野球場の土曜・日曜及び祝日については、市内在住、在勤又は在学者により構成された登録団体からの申込みを受け、抽選で決定しています。

(3) 平成29年度スポーツ施設等利用状況

施設名		利用者数(人)	備考
市民公園	体育館	199,612	
	野球場	18,301	4月～10月ナイター使用
	陸上競技場	15,976	
	テニスコート	73,666	4月～10月ナイター使用
	プール	18,352	7月・8月使用
	武道館	31,064	
	弓道場	7,699	
	芝生広場	10,150	
窯神グラウンド		6,445	
陶祖グラウンド		7,877	
南公園グラウンド		16,551	4月～10月ナイター使用
東公園グラウンド		9,440	
東公園テニスコート		14,788	
東公園運動広場		8,852	
北グラウンド		7,741	
北テニスコート		9,060	
パーティせとフィットネスジム		27,683	
合計		483,257	(平成28年度利用者数 482,383人)

4 定光寺野外活動センター

青少年を中心として、みどり豊かな森での野外生活により自然と親しみ、自然を理解する機会を提供するとともに、団体生活をとおして、規律・協調・友愛・奉仕の精神を体得し、心身共に健全な成長を図ることを目的としています。

平成29年度利用状況

	団体利用			個人利用	合計
	キャンプ	デーキャンプ	その他		
利用者数	5,512人	1,369人	3,410人	4,853人	15,144人

VII 文化財保護

1 文化財保護活動

(1) 基本方針

文化財は、地域の歴史文化を物語り構成する貴重な資源です。瀬戸特有の歴史文化を大切にし、その魅力をさらに高め、有効に活用することによって、歴史と伝統のある「やきもののまち」に住む住民が、誇りと愛着を持てるまちづくりを進めていくことが重要です。瀬戸市は、瀬戸市歴史文化基本構想に基づき、千年以上のやきものの歴史の積み重ねを時代に活かし、市民とともに新たな魅力を創造します。

(2) 重点目標

- ① 文化財・文化遺産の総合的把握と、その魅力をわかりやすく提示し、市民との価値の共有化に努めます。
- ② 文化財・文化遺産を適切に保存・管理することに努めます。
- ③ 文化財・文化遺産を活用し、地域の活性化に活かしていきます。

(3) 文化財保護審議会

① 任務

審議会は、文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、または教育委員会に意見を具申し、また、このために必要な調査研究を行います。

② 定員及び任期

委員7名 平成29年10月1日～平成31年9月30日

文化財保護審議会委員 平成30年4月1日現在

会 長	大 塚 英 二
副 会 長	加 藤 令 吉
委 員	成 田 一 成
委 員	水 野 和 郎
委 員	北 島 み ち 子
委 員	伊 藤 京 子
委 員	上 杉 毅

(4) 文化財の指定・登録及び指定解除

- ① 市文化財の指定(平成29年度 0件)
- ② 国文化財の指定・登録(平成29年度 0件)

瀬戸市域の指定文化財一覧表

平成30年7月1日現在

区	種別	指定名称	員数	所在地等	時代	指定年月日	
国指定	有形	建造物	定光寺本堂	1棟	定光寺	室町後期	大15. 4. 19
			源敬公(徳川頼直)廟、焼香殿也	7棟	定光寺	江戸前期	昭12. 8. 25
		工芸	陶製白犬	1軀	深川神社	鎌倉	大元 9. 3
			太刀銘助重	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12
			太刀銘守家	1口	定光寺	鎌倉中期	大 8. 4. 12
			灰釉多口瓶	1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭50. 6. 12
			渥美灰釉芦鷺文三耳壺	1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭51. 6. 5
	陶製五輪塔	1基	愛知県陶磁美術館	平安末期	平 7. 6. 15		
	民俗	有形民俗	瀬戸の陶磁器の生産用具及び製品	3,943点	瀬戸蔵ミュージアム	江戸以降	昭49. 2. 18 昭50. 9. 22
	記念物	史跡	瀬戸窯跡(小長曾陶器窯跡・瓶子陶器窯跡) 志段味古墳群 尾張戸神社古墳	1,510.07㎡ 4,519.72㎡ 270.34㎡	東白坂町1-1他 夙山町31番17・24 十軒町845	室町中期ま 江戸前期 古墳	昭46. 7. 13・平14. 3. 19 平27. 10. 7 平26. 10. 6
県指定	有形	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16
			木造十一面観音菩薩立像	1軀	下半田川町746	平安末期	昭34. 1. 16
	工芸	御深井釉木瓜形水盤	1口	瀬戸蔵ミュージアム	江戸前期	昭57. 3. 31	
		陶製牡丹文経筒外容器	1口	愛知県陶磁美術館	平安末期	昭59. 2. 27	
		猿投灰釉梅須壺	1口	愛知県陶磁美術館	平安中期	昭59. 2. 27	
		鉄釉巴文瓶子	1口	愛知県陶磁美術館	鎌倉末期	昭59. 2. 27	
		御深井釉唐草文双耳水甕	1口	瀬戸蔵ミュージアム	江戸中期	平 4. 2. 28	
考古資料	猿投灰釉梅須壺及び平瓶	各1口	愛知県陶磁美術館	平安前期	昭59. 2. 27		
無形	工芸技術	陶芸織部・黄瀬戸	1件	保持者 加藤作助		平16. 8. 20	
民俗	有形民俗	陶製白犬コレクション	210軀	愛知県陶磁美術館	室町・大正	昭59. 3. 30	
市指定	有形	建造物	一里塚本業窯	1基	一里塚町27	昭和	昭50. 7. 21
			直入橋	1橋	定光寺町373	江戸前期	昭58. 6. 1
			石燈籠	1基	落合町1	江戸前期	平 4. 2. 21
			石燈籠	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19
			石造鳥居	1基	八幡町3	江戸前期	平 5. 2. 19
			洞本業窯	1基	東町45他	昭和	平 7. 2. 13
			石造鳥居	1基	巡問町1	江戸中期	平 8. 2. 9
			古窯(こがま)	1基	瀬戸染付工芸館	昭和	平 9. 2. 14
			深川神社本殿	1棟	深川神社	江戸後期	平11. 11. 12
			常夜燈	1基	秋葉町100の2	江戸後期	平13. 2. 7
		彫刻	石造阿弥陀如来坐像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1
			石造地藏菩薩立像	1軀	片草町401	江戸中期	昭60. 5. 1
		絵画	聖徳太子絵伝	4幅	万徳寺	室町中期	平18. 2. 10
		工芸	六角陶碑	1基	藤四郎町1	江戸末期	昭49. 4. 1
			永享年銘梵鐘	1口	深川神社	室町中期	昭57. 3. 1
	陶質十六羅漢塑像		16軀	宝泉寺	江戸末期	昭57. 3. 1	
	志野焼燈籠		1対	藤四郎町1	明治	平 5. 2. 19	
	織部焼燈籠		1基	深川神社	江戸後期	平 8. 2. 9	
	染付花唐草文大燈籠		1基	瀬戸蔵ミュージアム	明治	平 9. 2. 14	
	染付花鳥図蓋付大飾壺		1口	瀬戸蔵ミュージアム	明治	平10. 11. 20	
	古瀬戸瓶子		1対	宝泉寺	鎌倉	平17. 2. 10	
	古瀬戸瓶子		1対	赤津町85	鎌倉	平25. 3. 18	
	典籍	聖徳太子伝	5冊	万徳寺	鎌倉・室町	平18. 2. 10	
		大般若経	155巻	東菱野町59-1		平20. 9. 12	
	歴史資料	織田信長の制札	1通	窯町63	室町末期	昭53. 11. 1	
		窯屋証文	1通	五位塚町11-541	江戸初期	平 9. 2. 14	
		陶製梵鐘	1口	法雲寺	昭和	平 9. 2. 14	
		祠堂帳	1巻	定光寺	室町	平11. 11. 12	
		笠原村・両半田川村国境争論会図	1枚	上半田川町・下半田川町	江戸前期	平16. 2. 6	
	古文書	松原広長寄進状	1点	万徳寺	江戸	平18. 2. 10	
加藤善三郎家文書		481点	窯元町80	江戸	平 6. 2. 18		
加藤新右衛門家文書		140点	窯町63	江戸	平 6. 2. 18		
松本茂助家文書		711点	穴田町64	江戸	平13. 2. 7		
菱野郷倉文書		7780点	東菱野町59-1	江戸～昭和	平20. 9. 12		

無形	工芸技術	陶芸 黄瀬戸	1件	保持者 加藤兼平		平18. 2.10
		陶芸 織部	1件	保持者 加藤錦三		平18. 2.10
		陶芸 灰袖	1件	保持者 田沼春二		平19. 5.18
		陶芸 色絵磁器	1件	保持者 林 邦佳		平19. 5.18
		陶芸 御梁井	1件	保持者 加藤吉三郎		平20. 5. 9
		有線七宝	1件	保持者 柴田 明		平22. 6.18
		陶芸 練り込み	1件	保持者 水野教雄		平22. 6.18
民俗	有形民俗	菱野のおでく	1体	東菱野町59-1	江戸～大正	平17. 2.10
		品野紙鬨祭の神武天皇像および従者像	3体	品野町2丁目40(全宝寺祇園堂)	昭和	平25. 3.18
	無形民俗	山口の警固祭り	1件	八幡町3 山口八幡社内	江戸	平15. 2. 7
記念物	史跡	本地大塚古墳	1基	西本地町1-109	古墳	昭51. 5. 1
		宮地古墳群	1,542 m ²	上之山町2-171-15	古墳	平 5. 2.19
		広久手第30号窯跡	15.7 m ²	吉野町320番地	平安中期	平18. 9.27
	名勝	石樋	約750 m ²	水北町1027-2		平 4. 2.21
		目鼻石	約530 m ²	十軒町439		平 7. 2.13
	天然記念物	マルバタラヨウ	1本	中水野町1-579		平 9.11.18
		マメナシ	1本	東松山町154		平16. 2. 6

登録文化財

区	種別	指定名称	員数	所在地等	時代	登録年月日
国	建造物	雲興寺 鐘楼	1件	白坂町	江戸中期	平17.12.26
		瀬戸永泉教会 礼拝堂	1件	杉塚町	明治	平22. 4.28
		旧山繁商店(離れ・事務所・旧事務所・土蔵・新小屋・前倉庫・中倉庫・奥倉庫・塙)	9件	仲切町・深川町	明治～昭和	平27.11.17



市指定 広久手第30号窯跡 平安時代中期



市指定 聖徳太子絵伝(部分) 室町時代中期



国指定 源敬公(徳川義直)廟 江戸時代前期



市指定 染付花唐草文大燈籠 明治期

(5) 歴史文化基本構想の推進

瀬戸市域に存在する文化財を、指定・未指定に関らず幅広く捉え、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するため、前年度に策定した「瀬戸市歴史文化基本構想」に基づき、活用推進事業として、ポータルサイトを作成し、ガイドブック(A5版159頁)・こども向け冊子「ココがすごいぞ せとずかん」(A5版16頁)・ガイドマップ(中心市街地4コース)等を国庫補助事業で作成した。

(6) 埋蔵文化財等の調査・普及啓発

① 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の文化財関係事業

ア 発掘調査事業

- 市内遺跡(若宮遺跡(若宮町3丁目83地点)・神川町遺跡・品野西遺跡(品野町4丁目1086地点)) …本発掘調査資料整理実施
市内遺跡(中水野遺跡・穴山窯跡) …発掘調査(確認調査)実施
本地大塚古墳・西本地町東遺跡 …本発掘調査報告書刊行
市内遺跡(若宮遺跡(山口町304ほか地点)・若宮町3丁目83地点)) …本発掘調査等報告書刊行

イ 文化財調査事業

- 民俗文化遺産(警固祭り標具等)調査
民俗資料調査(国庫補助事業)報告書作成・シンポジウム開催(3月)

ウ 普及啓発事業

1) 企画展

- ① 「新出土品展 東印所A窯跡とその周辺-古瀬戸前期の窯業生産-」
平成29年5月13日(土)～7月23日(日)
② 「遺跡からみた瀬戸焼の歴史」 展示図録「遺跡からみた瀬戸焼の歴史」刊行
スカイワードあさひ 歴史民俗フロア 平成29年10月14日(土)～11月19日(日)
歴史講演会「小牧山城跡・小牧城下町の発掘調査と瀬戸・美濃大窯製品」
：中嶋 隆氏(元小牧市教育委員会教育部長)
スカイワードあさひ ひまわりホール 平成29年11月11日(土)
2) 市内小学校への「出前講座」講師派遣5件等
品野台・幡山東・幡山西・陶原・八幡各小学校ほか

- ② 国史跡瀬戸窯跡の追加指定候補等の保存目的発掘調査
広久手F窯跡の学術調査(2月) 愛知学院大学による窯体部分を再実測するための調査

(7) 文化財の保存と整備

- ① 国指定史跡小長曾陶器窯跡管理 史跡の管理及び見学等への対応
② 国指定特別天然記念物オオサンショウウオの保護、普及啓発
○人工巣穴清掃の実施 平成29年7月2日
○夜間観察会の実施 平成29年7月29日、8月19日、9月2日
③ 市指定天然記念物マメナシの樹勢回復事業
天然記念物指定木の樹勢が近年衰えている状況に対し、根の生育環境改善のための土壌改良作業を参加者を公募して実施した(1月20日、3月31日)。
④ 国登録文化財旧山繁商店の保存活用計画を策定



- ⑤ 国指定重要文化財定光寺本堂保存修理事業(2年目)への市補助金交付国庫補助事業として所有者の定光寺が実施する柿葺屋根の全面葺き替えに対し、国・県・市が文化財保存事業として補助金を交付した。
- 平成29年度は、前年度に用意・保管している柿葺材を、現地で葺き替える工事および部分修理工事を行い、8月31日までに全工事を完了した。6月24日、7月29日には「せと歴！」として工事見学会を開催。



定光寺本堂保存修理工事 工事見学会

8) 文化財の普及啓発

- ① 広報せとに「瀬戸の文化財」掲載(毎月1日号)
- ② 文化財見学会
「せと歴」(せと 歴史と文化財を知る見学会)の実施
「まちなめぐり 水野地区」(平成29年4月29日(土))
はじめ5か所で開催。

資料

1 沿 革

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 20	1945	8. 7	図書館（蔵所町1）開館		
S. 26	1951			5. 一	水野村編入
S. 27	1952	4. 1 6. 16 7. 23 10. 5 11. 1	戦後っ子初の入学式 中央公民館（深川小校舎改造） 設立、図書館を移転し併設開館 南山中学校校舎2棟焼失 県・市教育委員選挙 瀬戸市教育委員会発足（庶務課長 山田栄教育長代行）	4. 16 3. 一	瀬戸市保健所竣工 水北保育園開園
28	1953	1. 3 1. 一 1. 一 7. 一	初代教育長 伊藤一雄就任 各小学校区に地区公民館を設置 成人式開催（旧成人祭を改称） 深川小学校 プール竣工	2. 一 4. 28 7. 一 8. 15 11. 16	赤津保育園開園 上品野町で大火 13軒全焼、4軒 半焼 上品野保育園開園 水南保育園苗場町開園 瀬戸医師会が当直制を開始
29	1954			4. 1 6. 一 7. 1 8. 13	市営公益質屋開業 幡山東・幡山西保育園開園 瀬戸市及び品野町自治警を廃 し、国家地方警察として再発 瀬戸青年会議所できる
30	1955			2. 11 5. 28 9. 29	幡山村合併（合併時幡山村人口 5,313人、戸数1,044戸） 八王子保育園開園 瀬戸市青少年問題協議会発足
31	1956	6. 一 10. 1	陶原小学校に瀬戸教科書センタ ー設置 教育委員任命制により発足	6. 1 9. 一	瀬戸市青年団体協議会結成 古瀬戸保育園開園
32	1957	3. 12 6. 1	市史編さん委員委嘱 第2代教育長 相原邦雄就任	8. 8 11. 1	泉町に集中豪雨による山崩れ発 生 22名死亡、品野町にも被害 市役所庁舎蔵所町から現在地へ 移転竣工
33	1958			8. 10	第1回瀬戸市青年大会
34	1959	1. 16 8. 4 9. 1	下半田川の「木造阿彌陀如来立 像、十一面観音菩薩立像」を県文 化財に指定 瀬戸市立小学校管理規則施行 水無瀬中学校で市内中学校最初 の校舎、鉄筋化が始まる	4. 1 9. 26 10. 1 10. 10	品野町合併（合併時品野人口 9,313人、戸数1,809戸） 伊勢湾台風 市制30周年 市民会館竣工
35	1960	4. 1 5. 一 7. 15	陶原小学校に特殊学級（2学級） 設置 雪の聖母修道院・幼稚園創立開園 （私立） 市営共栄プール竣工		
36	1961	3. 31	義務教育諸学校の教科用図書の 無償に関する法律公布	2. 3	北保育園に市内はじめての鉄筋 園舎竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 36	1961	4. 1	小学校、新学習指導要領に基づく教育実施	7. 一 12. 6	小児マヒ予防生ワク第一回投与 国鉄岡多線起工式
37	1962	4. 1	中学校、新学習指導要領に基づく教育実施	1. 15 10. 25 12. 20	愛知用水利用の県営水道から市営水道が受水開始 消防庁舎竣工（末広町1） 瀬戸市開発公社許可
38	1963	3. 22 4. 1 9. 3	道泉小学校の小学校初の全鉄筋化校舎竣工 聖カピタニオ女子高等学校開校 市内各中学校でミルク給食開始	5. 1 8. 31	加藤繁太郎市長就任 勤労会館竣工
39	1964	4. 1 7. 14 12. 8	教科用図書の無料給付開始 幡山中学校に中学校初のプール竣工 瀬戸文化財保存会発足	4. 1 6. 20 10. 1	瀬戸歯科医師会当直制を開始 瀬戸准看護婦学校校舎竣工 こうはん保育園開園
40	1965	4. 1 10. 1	瀬戸ひなご幼稚園開園（私立） 祖母懐小学校、祖母懐町から移転改築	5. 5	瀬戸市社会福祉会館竣工
41	1966	3. 27 4. 1 7. 10	祖母懐公民館全焼 長根小学校創立開校 図書館、東大演習林学生宿舎を改築し現在地へ移転	12. 一	清掃センター竣工
42	1967	4. 一 6. 20	名古屋学院大学瀬戸学舎新築、教養部移転（S. 43. 4 全学移転） 「瀬戸市史陶磁史篇三」刊行	5. 24 12. 7	商工会館竣工 市営上水道赤津浄水場竣工
43	1968	3. 30 10. 1	マリア幼稚園開園（私立） 第3代教育長 松浦正雄就任	1. 8	市営水野団地分譲受付開始（さつき台）
44	1969	3. 31 8. 15 9. 一 9. 1	中央公民館宮脇町に新築移転 「瀬戸市史陶磁史篇一」刊行 陶原小学校、熊野町から移転改築 図書館起工式	5. 24 10. 1	市の木に「くろがねもち」を選定 市営上水道白岩浄水場竣工 市制40周年
45	1970	3. 31 4. 1 6. 17 10. 1 11. 1	図書館移転改築 原山小学校創立開校 真貴幼稚園開園（私立） 私立聖霊学園（中・高・短）名古屋より現地へ移転 図書館（東松山町1-2）開館 瀬戸市スポーツ施設条例施行 市民公園野球場、バレーボールコート竣工	3. 27 4. 1 8. 13	県営菱野団地入居開始（原山台） 八王子保育園を今村保育園に改称し移転改築 瀬戸市青少年育成市民会館発足
46	1971	1. 19 2. 一 4. 1 5. 11 6. 3	南山中学校に中学校初の屋内運動場竣工 品野中学校、品野町から移転改築 教育委員会事務局に体育課設置 瀬戸市学校給食センター条例施行 第一学校給食センター竣工 交通児童遊園（市民公園内）オープン 「自動車文庫せと号」巡回始まる	2. 1 4. 7 4. 8 10. 20	瀬戸市窯業技術センター竣工 窯業専修職業訓練校（現県立窯業高等技術専門校）尾張旭市より移転竣工 瀬戸警察署新庁舎竣工 市内で初の大気汚染測定局陶原町5丁目に竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 46	1971	6. 14 6. 20 7. 13 10. 8	全中学校で学校給食始まる 市民公園プール竣工 小長曾陶器窯跡（東白坂町）が国の文化財に指定 長根小学校に小学校初の屋内運動場竣工		
47	1972	4. 1 8. 1 11. 10	東山小学校創立開校 宿日直制度廃止（学校無人化） 市民公園武道館、弓道場竣工	4. 1 8. 5 9. 1 9. 26	上品野保育園を品野東保育園に改称し移転改築 東海自然歩道足助～定光寺間オープン 下品野保育園を品野西保育園に改称 新消防庁舎竣工（苗場町） 市役所増築工事竣工 人口 10 万人突破（県下 8 番目）
48	1973	4. 1 5. 28 10. 31	萩山小学校・光陵中学校創立開校 菱野幼稚園開園（私立） 品野東公民館竣工 市民公園陸上競技場竣工	4. 1 6. 1 9. 29 10. 1 12. 21	みずの保育園開園 勤労青少年ホームオープン 瀬戸市少年センター発足 瀬戸市基本構想議決 ふたば保育園開園（市内で初の乳児保育） 市営宮川駐車場竣工
49	1974	2. 18 3. 30 4. 1 5. 26 5. 29 8. 1 9. 1 10. 1	「瀬戸の陶磁器の生産用具および製品 3,943 点」が国の重要民俗資料に指定 西陵公民館竣工 教育委員会事務局に教育次長を置く 瀬戸南高等学校開校（瀬戸窯業高等学校定時制から分離併置独立校となる） 瀬戸公園の六角陶碑（陶祖碑）を市の文化財に指定（第 1 号） 幡山東小学校、山口字田中から移転改築 品野公民館竣工 瀬戸市立視聴覚ライブラリー設置条例施行 八幡小学校創立開校 市民公園テニスコート（南）竣工	3. 1 4. 1 5. 12 5. 29 8. 28 12. 3	瀬戸市土地開発公社発足 瀬戸旭准看護学院創立開校 原山・こうはん南保育園開園 老人憩いの家オープン 蛇ヶ洞浄水場竣工 品野支所新庁舎竣工 晴丘センター竣工 県労働者研修センター竣工
50	1975	2. 27 4. 1	道泉公民館竣工 西陵小学校創立開校 はちまん幼稚園開園（私立） 上品野小学校を品野台小学校と校名変更し移転改築 第二学校給食センター竣工 水野小・水南小・東山小・西陵小・	11. 17	瀬戸郵便局新局舎竣工

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 50	1975	7. 21 10. 15	水無瀬中・南山中の6校へ配送 幡山東小・品野台小は第一学校給 食センター校となる 一里塚町の「本業窯」を市の文化 財に指定 瀬戸市歴史民俗資料館竣工		
51	1976	5. 1 9. 10	西本地町の「本地大塚古墳」を市 の文化財に指定 瀬戸市学校体育施設スポーツ開 放に関する規則施行	4. 1 4. 9 5. 5 5. 6 6. 1	ぼっぼ・萩山保育園開園 のぞみ学園開園 瀬戸市友好訪中団中国訪問 自然児童遊園（ねむの森）オー プン 瀬戸市西部コミュニティセンタ ー利用開始 公共職業安定所新庁舎竣工
52	1977	3. 23 3. 30 4. 1 11. 3	長根公民館竣工 第4代教育長 加藤朋也就任 教育委員会事務局に学校給食課 を設置 瀬戸幼稚園開園（私立） 水野公民館竣工 下品野小学校単独給食開始 下品野小学校（中規模校）昭和52 年度学校保健特別優秀賞を受賞 し、健康日本一となる	3. 30 3. 31 4. 1 10. 10	水野支所新庁舎竣工 幡山、水野、品野の農協合併し 瀬戸市農業協同組合となる ひかり保育園開園 第1回せと市民祭
53	1978	3. 一 4. 1 11. 1 12. 11	本山中学校、西印所町から移転改 築 県立瀬戸西高等学校創立開校 水南小学校単独給食開始 「信長の制札」を市の文化財に指 定（第4号） 幡山公民館竣工	4. 1 4. 19 6. 1 8. 20 12. 11	八幡保育園開園 第2次瀬戸市友好訪中団中国訪 問 県陶磁資料館南館オープン 名鉄瀬戸線乗入れ 幡山支所新庁舎竣工
54	1979	3. 15 4. 1 4. 27 5. 2 7. 一 12. 15	瀬戸市体育館竣工 市学校事務員、学校より引きあげ 始まる メールカー運行開始 水南公民館竣工 市民公園野球場ナイター設備使 用開始 4つの小学校でプール完成（下品 野、陶原、道泉、幡山東） 東明小学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート（南）夜間 照明竣工	— 4. 1 5. 21 10. 1 10. 9	国際児童年 品野南保育園開園 市の花に「つばき」を選定 市制50周年、市民憲章制定タイ ムカプセルの埋設 記念誌「瀬戸」刊行 景德鎮市陶磁友好訪問団来瀬
55	1980	3. 31 4. 1	幡山中学校に屋内運動場竣工 市民公園テニスコート（北）竣工 第5代教育長 加藤春夫就任 水野中学校創立開校 古瀬戸・山口公民館竣工	4. 1 6. 26	幡山南保育園開園 赤十字希望の家にベトナム難民 入所

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 55	1980	4. 1 10. 20	自動車文庫「せと号」2世が瀬戸ライオンズクラブより寄贈される（外架式書架2,000冊） 水野小学校単独給食開始 窯神グラウンド竣工		
56	1981	3. 一 3. 31 4. 1 5. 1 9. 30 10. 21	東明・效範公民館竣工 「瀬戸市史陶磁史篇二」刊行 学校教育課・社会教育課に専任課長配置、社会教育課を中央公民館へ移す 幡山東小学校単独給食開始 学校給食に週2回米飯をとり入れる 陶祖グラウンド竣工 掛川小学校移転用地の造成工事起工	—	国際障害者年
57	1982	1. 12 4. 1	祖母懐公民館竣工 西陵小学校単独給食開始	3. 20 10. 4	品野西保育園新園舎竣工 文化センターオープン
58	1983	3. 20 3. 24 3. 26 4. 1 6. 1 8. 一	瀬戸市第二体育館竣工 深川公民館竣工 掛川小学校移転改築 学校教育課に指導主事3名配置 定光寺の「直入橋」を市の文化財に指定 県民大学中央講座（8月13日～9月10日市民会館）	3. 30 8. 1 11. 15	古瀬戸保育園改築 全国高校総体愛知県で開催 シルバー人材センター設立
59	1984	3. 14 3. 30 4. 1 5. 11 5. 20 12. 21	東公園グラウンド竣工 加藤作助氏の「陶芸・織部、黄瀬戸、御深井焼」が県の文化財に指定 県立瀬戸北高等学校開校 下半田川町に本市初の周辺地区小規模集会所竣工 陶原小学校、昭和58年度全日本学校環境緑化コンクール特選（文部大臣賞）を受賞し、緑化日本一となる 東公園に全天候型テニスコート竣工	— 6. 18 11. 3 12. 20	国際婦人年 尾張東地方卸売市場開場 県陶磁資料館で上海博物館所蔵「中国歴代陶磁展」開催 「第3次瀬戸市総合計画基本構想」議決
60	1985	3. 1 3. 5 5. 1	「瀬戸市史資料編一 村絵図」刊行 幡山中学校に初の柔剣道場竣工 原山公民館竣工 瀬戸南高等学校を廃止し瀬戸窯業高等学校定時制となる 片草町の「石造薬師如来坐像・石造地藏菩薩立像」を市の文化財に指定	— 9. 18 11. 28 12. 23	国際青年年 陶生病院改築高層病棟完成 瀬戸少年院全面改築 市議会議員定数削減条例（36人→30人）可決

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
S. 60	1985		掛川小学校プール竣工（市内全小学校にプール設置となる） 定光寺野外活動センター竣工 第1回瀬戸国際青年交流会		
61	1986	1. 10 2. 19 3. 15 3. 15 4. 1 9. 25 10. 9	道泉小学校に屋内運動場竣工 祖東中学校・南山中学校に柔剣道場竣工 萩山公民館竣工 「瀬戸市史資料編二 自然」刊行 教育相談室開設 定光寺野外活動センター市民憲章碑竣工 市民公園陸上競技場に炬火台竣工	— 3. 25 5. 10 9. 5 12. 2	国際平和年 養護老人ホーム「陶寿荘」全面改築 瀬戸市文化協会設立 陶生病院外来棟完成 第3セクター愛知環状鉄道株式会社設置 県陶磁器工業共同組合の技術技能研修センター竣工
62	1987	1. 14 3. 13 3. 24 3. 27 4. 1 4. 18 5. 7 7. 11 11. 3	掛川小学校に屋内運動場竣工（市内全小中学校に屋内運動場設置となる） 南公園グラウンド竣工（ナイター施設完備） 八幡公民館竣工 水無瀬中学校・本山中学校に柔剣道場竣工 図書館電算システム稼働 加藤英一氏の「陶芸・掻き落とし技法」、栗木伎茶夫氏の「陶芸・赤絵技法」、水野双鶴氏の「陶芸・練り込み技法」を市の文化財に指定 定光寺野外活動センターにトリム施設竣工 市民公園に噴水広場竣工 万葉歌碑が図書館の前庭に建立	— 2. 23 5. 1 10. 4	国際居住年 瀬戸市施設管理協会設立 井上博通市長就任 陶生病院全面改築完成
63	1988	3. 2 4. 1 4. 20 10. 1	水野中学校柔剣道場・プール竣工 公民館事務協力員を18館に配置 視聴覚ライブラリーが中央公民館より図書館に移転併設される地区公民館18館において、図書の出貸始まる 下品野公民館竣工 私立高等学校授業料補助始まる	1. 31 2. 17 7. 28 10. 1	愛知環状鉄道開業 瀬戸市クリーンセンター竣工 瀬戸市活性化ビジョン「瀬戸・いきいきビジョン21」策定 市のシンボルマーク・ロゴタイプ選定
64	1989			1. 7	昭和天皇崩御
H. 元	1989	1. 10 1. 31 3. 29 4. 1 4. 11	道泉・東明小学校で給食に強化磁器食器使用の試行開始 埋蔵文化財収蔵施設竣工 品野中学校柔剣道場・特別教室竣工 事務局に文化財課を新設 南山中学校プール竣工	1. 8 4. 26 8. 1 10. 1 10. 14	元号を平成と改元 中小企業大学校瀬戸校が開校 八幡池魚つき場オープン 市制60周年 消防署東分署（品野町1丁目）完成

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 元	1989	7. 10 8. 1	水無瀬中学校プール竣工 外国人英語指導助手招致 (ジェニファー・ニカーソン)		
2	1990	3. 29 3. 31 4. 1 4. 8 6. 29 6. 30 8. 1 9. 1 11. 30	光陵中学校柔剣道場・プール竣工 「瀬戸のことば」刊行 第6代教育長 加藤浩松就任 自動車文庫「せと号」3世が瀬戸 ライオンズクラブより寄贈され る(内外書架式2,500冊) 三国高原集会所竣工 祖東中学校プール竣工 品野中学校プール竣工 外国人英語指導助手招致 (ポール・マッカーシー) 古瀬戸小・下品野小で給食に強化 陶磁器食器を導入 品野中学校コンピュータ室設置	3. 3 4. 2 4. 18 5. 11	消防緊急情報システム稼働 総合行政情報システム(SERA)稼 働 高齢者生きがい活動施設完成 尾張東部衛生組合(晴丘センタ ー)の粗大ゴミ処理施設稼働
3	1991	1. 25 1. 28 3. 25 4. 1 5. 24 8. 1 9. 1 9. 9 9. 21 10. 25 11. 1	加藤舜陶氏の「陶芸・灰釉技法」 を市の文化財に指定 瀬戸生涯学習基本構想策定調査 委員会設置 「瀬戸市近世文書集 第1集」刊 行 事務局に国体準備室を新設 定光寺町民会館竣工 外国人英語指導助手招致 (ローナ・ドゥーハースト) (バンクス・キャメロン) 陶原小・祖母懐小・水南小で給食 に強化磁器食器を導入 水無瀬中学校・南山中学校・本山 中学校コンピュータ室整備 臨時学校休業日を設定 「瀬戸市近世文書集 第2集」刊 行 深川公民館増築	2. 13 2. 27 3. 5 3. 19 7. 20 9. 20	瀬戸川文化プロムナードシンポ ジウム開催 赤重集会所完成 消防署南分署(南山口町)完成 今村橋開通 川端歩道橋完成 市のイメージソング「夢ひと つ・愛ひとつ」発表
4	1992	2. 21 2. 28 3. 27 3. 30 3. 31 . 1 6. 一	落合町の神明社「石燈籠」・水北 町地内の「石樋」、市の文化財に 指定 定光寺の「御深井釉唐草文双耳水 甕」が県の文化財に指定 効範公民館増築 北グラウンド完成 「瀬戸市近世文書集 第3集」刊 行 財団法人 瀬戸市埋蔵文化財セン ター発足(白山町1-46) 瀬戸市生涯学習基本構想策定	3. 31 4. 1 4. 8 4. 15 7. 24 9. 18 10. 1 10. 31	晴丘センターの新ゴミ処理施設 が完成 観光協会移転(栄町から山脇町) インフォメーションセンター完 成 交通安全都市宣言 山脇橋架け替え 六古窯サミット開催 住民記録管理システム稼働 公立瀬戸旭看護専門学校校舎が 完成

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 4	1992	7. 29 9. 1 9. 12 10. 6	外国人英語指導助手招致 (モーリス・リチャード) 深川小・水野小・幡山東小学校で 給食に強化磁器食器を導入 学校5日制がスタート(第2土曜 日学校休業日) 祖東中学校・光陵中学校・水野中 学校コンピュータ室整備		
5	1993	2. 10 2. 19 2. 20 3. 11 7. 19 9. 1 9. 4 9. 5 9. 30 10. 8 10. 15 11. 19 ~11. 21 12. 20 12. 22	「瀬戸市近世文書集 第4集」刊 行 八幡町の八幡神社「石燈籠」・「石 造鳥居」、藤四郎町の「志野焼燈 籠」、上之山町の「宮地古墳群」 を市の文化財に指定 瀬戸市民生涯学習フォーラム '93 開催 幡山中学校校舎増築竣工(コンピ ュータ室含む) 外国人英語指導助手招致 (フッド・クリストファー) 效範小・幡山西小・長根小・西陵 小で給食に強化磁器食器を導入 歴史民俗資料館展示室改修 光陵中学校図書館を開放 「瀬戸市史陶磁史篇四」刊行 水無瀬中学校ギャラリー整備 下品野小学校和室ランチルーム 整備 東明小学校校舎大規模改造工事 わかしゃち国体(リハーサル大 会) 「瀬戸市史陶磁史篇五」刊行 水野公民館増築	4. 1 4. 21 7. 10 9. 11 11. 1	文化振興課を新設 福祉保健センター(やすらぎ会 館)オープン 週休2日制スタート 市民サービスセンターオープン 新京橋・追分橋完成
6	1994	2. 18 2. 24 3. 18 3. 30 4. 一 5. 14 5. 23 7. 14	古文書を市の文化財に指定(加藤 唐三郎家、加藤新右衛門家) 「瀬戸市史陶磁史篇4・5」刊行 生涯学習市民講師リスト発行 市指定無形文化財保持者「陶芸・ 灰釉技法」の加藤舜陶氏が県無形 文化財「陶芸・灰釉系技法」保持 者に認定 「瀬戸市近世文書集 第5集」 刊行 公民館生涯学習委託事業開始 水野小学校図書館を開放 余裕教室等活用検討委員会設置 幡山中学校プール竣工	3. 25 4. 1 6. 14 9. 14	第4次瀬戸市総合計画基本構 想」議決 個人情報保護制度発足 21世紀万国博覧会基本構想まと まる 景德鎮陶瓷展開催

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 6	1994	7. 18 7. 27 8. 1 8. 31 9. 30 10. 30 ～11. 2 12. 1 12. 18	生涯学習推進連絡調整会議設置 外国人英語指導助手招致 (スチーブン・チャンピオン) (マヒュー・パー) 図書館と県図書館とのオンライン稼働 中学校(2校)管理諸室空調設備整備 祖東中学校校舎大規模改造工事 わかしゃち国体開催 (ウエイトリフティング) 品野台小学校移転建設事業 基本設計業務委託 国際家族年講演会開催	11. 一	瀬戸市健康の道完成
7	1995	2. 13 3. 4 3. 21 4. 1 6. 15 6. 30 9. 29	東洞町の「洞本業窯」、加藤靖彦氏(陶芸・瀬戸染付技法)、水野川の「目鼻石」を市の文化財に指定 '95せと女性のつどい開催 子ども名作シアター開催 学校5日制(第2・4土曜日学校休業日) 原山小・東山小単独給食開始 同時に強化磁器食器を導入 愛知県陶磁資料館収蔵「陶製五輪塔」国の重要文化財に指定 中学校(6校)管理諸室空調設備整備 品野台小学校移転建設事業実施 設計業務委託	1. 17	阪神・淡路大震災発生
8	1996	2. 一 2. 9 3. 1 3. 2 3. 31 4. 1 4. 15 7. 4 7. 27	SETOウィンディ vol.1 発行 (市民向け女性問題啓発冊子) 巡間町大目神社の「石造鳥居」 深川神社の「織部燈籠」を市の文化財に指定 図書館50年誌発刊 '96せと女性のつどい開催 「近世の瀬戸」刊行 第二学校給食センターを第一学校給食センターに統合 第二学校給食センターを8・9年度2か年継続事業で増改築 萩山小・八幡小単独給食開始 同時に強化磁器食器を導入 水無瀬中学校校舎大規模改造設計委託 小学校(5校)管理諸室空調設備整備 外国人英語指導助手招致 (ペッツ・マヒュー)	1. 一 5. 18 10. 11	市庁舎5・6階増築 瀬戸市斎苑完成 景徳鎮市と友好提携

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 8	1996	8. 8 ～8. 22 10. 11 12. 13 12. 25	中学生国際交流事業 (ニュージーランド中学生派遣) 図書館コンピューターシステム 更新(第2次) 瀬戸市立小・中学校通学区域問題 検討委員会設置 品野台小学校移転建設(敷地造 成)工事着工		
9	1997	2. 一 2. 14 3. 1 4. 1 5. 8 5. 22 6. 19 6. 30 7. 30 8. 10 ～8. 18 9. 27 ～10. 6 11. 18	SETOウィンディ vol.2 発行 (市民向け女性問題啓発冊子) 西郷町の「古窯」、歴史民俗資料 館収蔵「染付花唐草文大燈籠」、 五位塚町加藤糸美家の「窯屋証 文」、深川町法雲寺の「陶製梵鐘」 を市の文化財に指定 '97せと女性のつどい開催 外国人英語指導助手招致 (スティーブン・ウォール) 東山小学校プール等建設工事設 計業務委託 水無瀬中学校校舎大規模改造工 事着工 小学校(5校)プール温水シャワ ー改修工事 小学校(5校)管理諸室空調設備 整備 外国人英語指導助手招致 (カルバー・アニカ) (シード・カレン) 中学生国際交流事業 (中国景德鎮市他派遣) 中学生国際交流事業 (ニュージーランド中学生受け 入れ) 加藤鈔氏の「陶芸・鉄釉技法」、 三社大明神社の「マルバタラヨ ウ」を市の文化財に指定	4. 一 4. 23 6. 12	やすらぎ会館増設 瀬戸市国際センター設立 2005年国際博覧会瀬戸市開催決 定
10	1998	2. 1 2. 28 3. 一 3. 30 3. 30 4. 一 4. 1	陶原・道泉・水野小学校にコンピ ュータ教室整備 '98せと女性のつどい開催 SETOウィンディ vol.3 発行 「瀬戸市近世文書集 第6集」 刊行 「瀬戸市史陶磁史篇6」刊行 学校給食センター完成(日の出町 34番地の2) センター校全校強化磁器食器を 導入 学校教育課に指導主事4名配置	4. 20 5. 28 ～5. 31 6. 一 10. 28	名誉市民に長江禄彌氏(彫刻家 で日本芸術員会員) 世界グラスアートの祭典開催 「緑の基本計画」策定 「新行政改革実施計画」策定

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 10	1998	4. 1 6. ー 7. 3 ～7. 6 7. 29 8. 6 ～8. 17 9. ー 10. ー 11. 20	「瀬戸市史通史篇」編さん開始 小学校（4校）プール温水シャワー改修工事 小学校（4校）管理諸室空調設備整備 中学生国際交流事業 （中国景徳鎮市中学生受入） 外国人英語指導助手招致 （イアン・ウォーカー） （ウィンクリー・キャサリン） 中学生国際交流事業 （ニュージーランドへ中学生派遣） 図書館情報化・活性化推進モデル地域として指定 心の教室相談員配置 加藤伸也氏「陶芸織部・黄瀬戸」、歴史民俗資料館収蔵「染付花鳥図蓋付大飾壺」を市の文化財に指定		
11	1999	2. 1 2. 26 3. 6 3. ー 3. 24 4. ー 4. 1 4. 2 6. ー 6. 1 8. 7 ～ 8. 16	下品野小学校にコンピュータ教室整備 瀬戸市立小・中学校通学区域問題検討委員会を瀬戸市立小中学校適正配置等検討委員会に改称 長根公民館増築 '99せと女性のつどい開催 SETOウィンディ VOL. 4 発行 品野台小学校、上品野町内で移転改築。市内で初めて、壁の仕切がないオープンスクールを導入 学校給食課の事務を給食センターに移管 課を廃止 オアシスメイト配置 創造的人材育成事業 ふるさと文化伝承事業 日本語指導者派遣事業開始 教育委員会事務局教育次長の職名を教育部長に変更 品野台小学校単独給食開始 第7代教育長 大澤義洋就任 小学校（2校）プール温水シャワー改修工事 小学校（3校）管理諸室空調設備整備 品野台小学校にコンピュータ教室整備 中学生国際交流事業 （中国景徳鎮市他へ16名の中学生派遣）	4. 1 5. 1 5. 28 9. 30 10. 1 12. 6	尾張旭、豊明、瀬戸、愛知東郷、日進、長久手の農協が合併し、あいち尾東農業協同組合となる 増岡錦也市長就任 新世紀工芸館「土夢創舎（トムソーヤ）」がオープン 陶生病院南棟増築工事完成 市政70周年 戸籍電算化事業（運用開始）

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 11	1999	9. 29 ～10. 3 10. 1 11. 12 11. —	中学生国際交流事業 (ニュージーランドから中学生受け入れ) ジョンさんと森の生活体験実施 定光寺の「祠堂帳」、深川神社の「深川神社本殿」を市の文化財に指定 マルチメディア活用学校間連携推進事業の地域として指定		
12	2000	2. 1 3. 25 3. 4 3. — 3. 31 4. — 4. 15 6. — 6. — 7. 1 8. 1 8. 3 10. 1 10. —	特殊教育推進協議会研究発表会 (愛知県教育委員会特殊教育推進地区指定) 小学校(9校)にコンピュータ教室整備 2000せと女性のつどい開催 SETOウィンディVOL.5発行 中学校(8校)にコンピュータ教室整備(更新) 「瀬戸市近世文書集 第7集・尾張藩山林支配と林奉行所」刊行 特色ある学校づくり事業開始 瀬戸市マルチメディア伝承工芸館—瀬戸染付研修所—開館 小学校2校プール温水シャワー設置 小学校3校管理諸室空調設備整備 中学生国際交流事業(中国景德鎮市の中学生受け入れ) 学校給食センター調理業務委託実施 中学生国際交流事業(ニュージーランドへ16名派遣) 小中学校14校警備業務委託開始 小学校(6校)にコンピュータ教室整備 市民学びセミナー開始 小中学校コンピュータ教室インターネット接続	6. — 7. — 10. 1 12. 15	「瀬戸市環境基本計画」策定 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 (仮称)「瀬戸市やきもの博物館基本構想」策定 第17回国勢調査 2005年国際博覧会登録承認される
H. 12	2000	11. 1 11. 21	男女共同参画に関する市民意識調査 加藤鈔氏の「陶芸・鉄釉技法」県の文化財に指定		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
13	2001	1. 5	図書館BDS（図書盗難防止装置）導入 図書館コンピュータシステム更新（第3次）	2. 28	環境ISO14001取得
		2. 1	図書館ホームページ開設 同インターネット予約受付開始	3. ー	「第4次瀬戸市総合計画改訂基本計画」策定
		2. 7	秋葉神社の「常夜燈」と「松本茂助家文書」を市の文化財に指定	3. ー	「瀬戸市児童育成計画」策定
		2. 22	瀬戸市立小学校適正配置等協議会設置（平成13年に8回開催）	4. 1	瀬戸市情報公開条例施行
		3. 3	生涯学習フォーラム2001	4. 14	尾張瀬戸駅新駅舎完成
		～4	2001女性のつどい開催	6. 23	EXPO市民サロンオープン
		3. 31	「瀬戸市史民俗調査報告書一幡山・今村地区」刊行	6. 26	瀬戸市行政経営委員会発足
		3. ー	SETOウィンディVOL.6発行	6. 30	瀬戸市地域イントラネット開通
		4. ー	特色ある学校づくり事業	7. 23	地上デジタル放送タワー誘致決定
		4. ー	学校評議員調査研究事業開始	7. 29	第19回参議院議員通常選挙
		4. 1	社会教育課を生涯学習課に改称	9. 1	無風庵の改築完成
		5. 1	小中学校(14校)警備業務委託開始	9. 11	アメリカ同時多発テロ発生
		6. ー	小中学校(4校)プール温水シャワー設置	10. 26	総務省テレトピア構想モデル地域に指定
		8. ー	図書館集会室増築	12. 3	2005年日本国際博覧会基本計画発表
		8. 5	中学生国際交流事業（中国へ16名派遣、ニュージーランドの中学生受け入れ）		
		10. 31	原山小学校校舎大規模改造完成		
		10. 25	瀬戸の教育を創造する市民会議設置（平成13年に2回開催）		
		11. ー	生涯学習課ホームページ開設		
14	2002	1. 15	第9回瀬戸市立小学校適正配置等協議会開催（平成14年に4回開催）	2. 18	瀬戸市行政経営委員会答申
		1. 18	せとドリーム事業「宇宙飛行士毛利さんと夢を語る会」開催（宇宙飛行士毛利衛さん、角野直子さんが、子どもたちと宇宙の夢を語る）	2. 26	尾張瀬戸駅再開発ビル基本設計発表
		1. 29	第3回瀬戸の教育を創造する市民会議開催（平成14年に6回開催予定）	3. ー	陶の路「暮らしっくストリート」「小狭間坂」完成
		3. 2	2002せと女性のつどい開催	3. 31	北丘最終処分場完成
		3. ー	SETOウィンディVOL.7発行	4. ー	完全学校週5日制が始まる 「瀬戸市行政経営導入計画」策定 「瀬戸市デジタルリサーチパーク整備計画」素案発表 「瀬戸市地域情報化計画」策定 「瀬戸市母子保健計画」改訂版策定

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 14	2002	— 3. — 4. 1 5. — 7. — 7. — 8. 30 10. — 12. —	市内各所で I T 講習会を開催 (H13. 4~14. 2) 市民約 4,000 人が受講 山口公民館増築 学校給食配膳業務一部民間委託化 (1 小学校・6 中学校を委託) 瀬戸市男女共同参画プラン策定 「市立小学校適正配置等協議会」より答申 教育アンケート実施 (対象: 市民・児童・生徒・教職員) 「瀬戸市史民俗調査報告書二 水野掛川地区」刊行 水野中学校運動場の夜間照明の完成によりスポーツ開放を開始 絵本を通して親子のふれあいを深めるブックスタート運動開始	3. — 4. — 6. 6 7. 4 8. 5 9. 30 10. 12 10. 12 10. 17 12. —	「瀬戸市男女共同参画プラン」策定 陶祖公園「竹露庵」改築オープン 「瀬戸テレビ放送所 (仮称) 起工式」 「瀬戸市市民活動促進基本施策」策定 住民基本台帳ネットワークシステム一部稼動 市民会館閉館 瀬戸市・リモーージュ市産業交流使節団訪仏 第 26 回せと市民祭 「愛・地球博」起工式 (愛知青少年公園) 市議会本会議のインターネット中継開始
15	2003	2. 7 2. 15 ~2. 16 2. 27 3. 8 3. 27 4. — 4. — 4. — 6. 3 7. 12 9. 25 9. 30	「陶芸・灰釉技法」を市文化財に指定し、その保持者として鈴木八郎氏が認定され、「山口の警固祭り」を市文化財に指定し、その保持団体として「山口警固保存会」が認定 公民館 50 周年記念フェスティバル開催 第 2 回せとドリーム事業「シドニーオリンピック金メダリスト田村亮子選手と夢を語る会」開催 祖母懐公民館竣工式 (2 月移築) 「瀬戸の教育を創造する市民会議」より答申 単独校学校給食一部民間委託化の実施 (深川小学校・品野台小学校) 学校給食配膳業務委託化 1 中学校追加実施 (幡山中学校) 定光寺野外活動センター敷地内に展望塔完成 瀬戸市と市内及び近隣の六大学との間で、「大学コンソーシアム (連携) せと」の包括協定を締結 道泉、陶原、水野の 3 小学校のコンピュータ教室用のパソコン等を整備 (更新) 市内小中学校の給食献立に「世界の料理」を加え、愛・地球博開催まで毎月一回シリーズ化 「瀬戸市史民俗調査報告書三	2. 2 3. — 3. — 3. 10 3. 20 3. 21 5. 22 6. 4 6. 11 6. 18 7. 14 7. 23 8. 2 8. 2 9. 25 10. 23 11. 8 11. 18	愛知県知事選挙 瀬戸市デジタルリサーチパークセンター完成 「いきいき瀬戸 21」策定 尾張瀬戸総合改善事業竣工 「瀬戸蔵」施設設計発表 本郷橋開通 瀬戸市デジタルリサーチパークセンター竣工式 瀬戸の歴史や文化、暮らしなどを伝える代表的な風景を集めた「瀬戸 100 景」を決定 皇太子殿下、愛・地球博会場予定地をご視察 愛・地球博会場名を「長久手会場」、「瀬戸会場」に正式決定 「瀬戸蔵」起工式 名鉄尾張瀬戸駅前ビル「パルティせと」起工式 「瀬戸市ノベルティ・こども創造館」オープン 「瀬戸市資源リサイクルセンター」オープン 愛・地球博の前売り入場券販売開始 東海環状自動車道潮見トンネル (瀬戸市白岩町~岐阜県笠原町深山) 上り線貫通式 「愛・地球博開幕 500 日前記念イベント」瀬戸市内で開催 瀬戸市とリモーージュ市 (フラン

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 15	2003		赤津・瀬戸地区」刊行	12. 1	ス) との間で姉妹都市提携調印 中京圏で地上波デジタル放送開始
16	2004	1. 31	「瀬戸市史資料編四 近世」刊行	3. 20	県道愛知青少年公園線の「瀬戸菱野トンネル」開通
		1. —	「惣作・鐘場遺跡」から瀬戸で初の城館跡が出土	3. 25	「愛・地球博開幕 1 年前イベント」開催 (名古屋市東区・オアシス 21)
		2. 6	上半田川・下半田川両自治会が所有する「笠原村・両半田川村国境争論絵図」を市文化財に、水南小学校敷地内にある「マメナシ」の木を市天然記念物に指定	4. —	県教育委員会が H16 年度から「小中連携」研究校を瀬戸市、知多市、額田町 3 地域で小中各 1 校の計 3 組を指定
		2. 9	教師の指導を補助するボランティア「学校サポーター」を募集開始	4. 1	瀬戸市の人口 2 年連続で減少 (131,944 人)
		2. 19	「瀬戸の教育創造をすすめる会」を文化センターで開催	4. 1	愛・地球博の全期間入場券を販売開始
		3. 4	同会をやすらぎ会館で開催	4. 1	フランスのリモージュ市に瀬戸事務所を開設
		4. 1	「瀬戸市歴史民俗資料館」が来年オープン予定の「瀬戸蔵ミュージアム」へ展示物を移設準備するため休館	4. 21	チュニジアのナブール市と姉妹都市提携調印
		4. —	本山中・道泉小・深川小の 3 校が県教委より「小中連携研究校」に指定	9. 30	愛・地球博瀬戸会場で大陶壁の設置作業が着々と進行
		4. 28	「大学コンソーシアム (連携) せと」のカレッジ講座開講	10. 7	皇太子殿下、愛・地球博の名誉総裁として万博会場を再視察
		6. 9	「地域別 瀬戸の教育創造をすすめる会」を 8 中学校区で 7 月まで順次開催	10. —	「やまて坂」、「みずの坂」等の市有財産 41 区画の宅地を売却するため一般公募
		8. 15	総合型地域スポーツクラブ「品野スポーツクラブ」発足	11. 10	チュニジアの政府代表が来訪
		8. 20	加藤伸也氏の「陶芸・織部・黄瀬戸」が県の文化財に指定	11. 16	姉妹都市フランス・リモージュ市へ訪問団派遣
		9. —	品野中学校運動場に夜間照明が完成	11. 21	川平町の「定光寺ほたるの里」増設整備完了
		9. —	H. 18 年度から市内全小中学校を対象に「隣接学校選択制」を導入することを決定 (品野台小学校は「特認校」)	11. 27	東名高速道路と愛知万博長久手会場を結ぶ「名古屋瀬戸道路」が開通
		10. 1	「大学コンソーシアム (連携) せと」結成の連携事業により、瀬戸市立図書館で近隣六大学の蔵書が利用可能となった	12. 14	陶原町に資源ごみのリサイクルセンターがオープン
		10. 29	「瀬戸市史民俗調査報告書四 品野地区」刊行	12. 15	瀬戸市文化センター美術展示ホールが瀬戸市美術館に改称

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
17	2005	2. 一	パルティセと（4階）に生涯学習課・情報ライブラリー設置	2. 19	栄町に「パルティセと」オープン
		2. 3	小中学校行事による愛・地球博の入場料負担を決定	2. 27	愛・地球博瀬戸会場にやきものモニュメント「天水皿」の竣工
				3. 3	せと・やきもの世界大交流無料回遊バス運行ルート決定
H. 17	2005	2. 10	宝泉寺が所有する「古瀬戸瓶子」を市文化財に、菱野文化財調査保存会が所有する「菱野のおでく」を市文化財に指定	3. 16	国内最大の招き猫博物館「招き猫ミュージアム」が開館
		2. 28	瀬戸市史「資料編三 原始・古代・中世」を刊行	3. 19	蔵所町に「瀬戸蔵」オープン
		3. 一	瀬戸市教育アクションプラン策定	3. 19	東海環状自動車道の豊田東-美濃関が開通
		3. 19	瀬戸蔵（2階～3階）内に瀬戸蔵ミュージアム開館	3. 25	愛・地球博開幕、「瀬戸市の日」開催
		4. 1	「隣接学校選択制」の試行	3. 28	名古屋工業大学とセラミック研究連携のため協定書調印
		4. 1	幡山東小・長根小の学校給食調理業務委託化	3. 28	コンゴ政府代表が来訪
		4. 6	瀬戸市名誉市民の日本芸術院会員長江録弥氏（川崎市在住）が逝去	3. 一	瀬戸旭準看護学院閉校
		5. 29	瀬戸市無形文化財保持者（陶芸・灰釉技法）の鈴木八郎氏が逝去	4. 一	せとっ子未来計画策定
		6. 24	愛知県無形文化財保持者（陶芸・灰釉系技法）の加藤舜陶氏が逝去	4. 一	瀬戸市特定事業主行動計画策定
		7. 25	全日本ジュニアテコンドー選手権大会・女子バンタム級で幡山中学校・間瀬有梨佳さんが優勝	4. 3	名鉄瀬戸線開通 100周年
		8. 21	和道会ワールドカップ国際大会で古橋卓也さんが男子個人形の部で優勝	5. 2	中国・景徳鎮市長が来訪
		12. 26	白坂町の雲興寺鐘楼が国の登録文化財（建造物）に登録される	5. 25	瀬戸市福祉マップを作製、配布
				6. 22	チュニジア・ナブール市長が来訪
				7. 8	フランス・リモージュ市長が来訪
				7. 12	天皇、皇后陛下が愛・地球博の長久手、瀬戸両会場を訪問
				8. 28	愛・地球博で2度目の「瀬戸市の日」開催
				9. 13	韓国・利川市長が来訪
				9. 25	愛・地球博閉幕
				9. 一	県が海上の森を自然環境保全地域に指定する新条例を検討
				10. 5	愛・地球博のマスコットキャラクター、モリゾーとキッコロが瀬戸市海上の森に特別住民登録
				11. 1	瀬戸蔵に「産業支援センターせと」が開設
18	2006	2. 5	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催	2. 19	瀬戸市名誉市民の元市長加藤繁太郎氏が逝去
		2. 10	「陶芸・黄瀬戸」「陶芸・織部」を無形文化財に指定し、その保持者に加藤廉平氏及び加藤錦三氏を認定。また、有形文化財に万徳寺の「聖徳太子絵伝」4幅、典籍「聖徳太子伝」5冊と「松原広長寄進状」1点を指定	3. 15	コミュニティFM局開設
		2. 28	「瀬戸市史資料編五 近現代1」及び「瀬戸市史 民俗編」発刊	3. 31	フランスのリモージュ瀬戸事務所を閉鎖
		4. 1	「隣接学校選択制」の施行	3. 一	「瀬戸市第5次総合計画」策定 「瀬戸市地域福祉計画」策定 「瀬戸市行政改革集中改革プラン」策定
		4. 1	陶原小の学校給食調理業務委託	4. 1	赤津保育園、品野南保育園休園
				4. 1	市消防本部初の女性消防士誕生
				4. 1	陶原小学校内に「せとっ子モアスクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
		4. 15 4. 15	化 世界ジュニアテコンドー選手権 大会日本代表選考会バンタム級 で聖カピタニオ高校 間瀬有梨 佳さんが優勝	4. 20 4. 24	韓国・利川市と姉妹都市提携締 結 「海上の森」の一部が「愛知県 自然環境保全地域」に指定
H. 18	2006	6. 16～ 9. 15 6. 30～ 6. 23 6. 26 7. 23 7. 28 8. 20～ 9. 27 10. 1 10. 7 10. 9 11. 17 11. 19	幡山・光陵中学校屋内運動場耐震 補強工事 東山小学校校舎増築・耐震補強工 事（～H19. 8. 17） 瀬戸市教育アクションプラン推 進会議発足 「市理科教育研究会」が環境省 水・大気環境局長より水・土壌環 境保全功労者表彰 全日本ジュニアテコンドー選手 権大会で效範小学校 黒田温さ んが優勝 東明小学校が中国・内モンゴルへ 訪問団を派遣 中学生訪問団が姉妹都市フラン ス・リモージュ市へ 「広久手第 30 号窯跡」市史跡に 指定 パルティせと・情報ライブラリー で図書等の貸出開始 品野台小学校に「地域図書館」開 設 あいち共同利用型施設予約シス テムでのスポーツ施設利用予約 開始 「まるっとせとっ子フェスタ 2006」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催「いじめ」の根絶を訴える緊急 アピール発表	9. 25 10. 15 11. 一 12. 23	「あいち海上の森センター」開 所 「せとっ子ファミリー交流館」開館 瀬戸市文化協会創立 20 周年 コミュニティバスの試験運転開始
19	2007	1. 8 3. 27 4. 一 4. 25 5. 18 6. 29～ 9. 14	南山中学校男子卓球部、全国中学 選抜卓球大会県予選会で優勝 「瀬戸市史通史編 上」発刊 「瀬戸市史資料編六 近現代 2」 発刊 效範小・原山小の学校給食調理業 務委託化 全国学力・学習状況調査実施 「陶芸・灰釉」「陶芸・色絵磁器」 を市無形文化財に指定し、その保 持者に田沼春二氏及び林邦佳氏 を認定 水野小学校屋内運動場耐震補強 工事	2. 4 3. 一 4. 1 4. 8 4. 22 5. 24 7. 29 9. 1	愛知県知事選挙 幡山保育園休園 自治法改正により助役を廃し副 市長を設置 愛知県議会議員選挙 市長・市議会議員選挙 瀬戸商工会議所創立 60 周年 参議院議員選挙 道泉小学校内に「せとっ子モア スクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 19	2007	6. 29～ 7. 1 7. 6 7. 10～ 9. 28 8. 30 10. 3 11. — 11. 9 11. 11 11. 18 12. — 12. 21～	西稜小学校校舎増築・耐震補強工事（～H20. 3. 14） 市民公園陸上競技場芝張替工事完成 中国景徳鎮市から中高生訪問団来訪 祖東・水野中学校屋内運動場耐震補強工事 総合型地域スポーツクラブ「水野・西陵いきいきクラブ」発足 本山中学校の姉妹提携校オーストラリア・ロビル・セカンダリー・カレッジ 生徒来訪 ニュージーランド・オークランド市の中学生来訪、水野中学校・祖東中学校で交流 「まるっとせとっ子フェスタ～11 2007」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 陶原小学校体育館火災 八幡小学校キャリア教育「お店を出そうプロジェクト」で文部科学大臣表彰受賞 陶原小学校屋内運動場解体工事（～H20. 2. 18）		
20	2008	2. 18 2. 29 3. — 3. — 3. 31 4. 1 4. 1 4. — 4. 22 5. 7 5. 9	中国・内モンゴル自治区フフトカ市カイワジ小学校児童が東明小学校を訪問 市立小学校（20校）に防犯カメラ設置 西陵小学校校舎増築・耐震補強工事 図書館耐震補強・アスベスト撤去・トイレ・駐車場等改修工事 補助執行事務に関する協定書の締結（社会教育・社会体育関係の事務を追加） 教育委員会組織の一部改編（学び課と交流課を統合） 図書館開館時間の変更及び受付業務の委託開始 「子ども読書活動推進計画」策定 全国学力学習状況調査実施 愛知県立大学とボランティア学生派遣に関する協定を締結 「陶芸 御深井」を市無形文化財に指定し、その保持者に加藤唐三郎氏を認定	1. — 3. 1 3. 25 3. 25 4. 1 7. 21 8. — 10. 1	瀬戸市体育協会設立 60 周年町名設定（東山町） 緊急防災放送システム完備 レジ袋の有料化(市内一部店舗)スタート 教育三法（学校教育法・地方教育行政の組織及び運営に関する法律・教育職員免許法及び教育公務員特例法）の改正 陶原小学校・道泉小学校プール開放実施 「男女共同参画推進会議」・「男女共同参画推進委員会」設置 八幡小学校内に「せとっ子モアスクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 20	2008	6. 20～ 9. 19	幡山中学校運動場照明設置工事		
		6. 20～ 10. 10	水無瀬・本山中学校屋内運動場耐震補強工事		
		6. 23～	南山中学校大規模改造・耐震補強工事（～H21. 9. 30）		
		6. 23～	萩山小学校・瀬戸養護学校大規模改造及び耐震補強工事（～H21. 12. 25）		
		6. 27～ 9. 19	水南・幡山西・原山小学校屋内運動場耐震補強工事		
		9. 12	「菱野おでく警固祭り」を市無形民俗文化財に指定		
		9. 12	「古文書 菱野郷倉文書」・「典籍 大般若経」を市指定有形文化財に指定		
		10. 1	教育委員の定数を増員（5名から7名に増員）		
		10. 4	光陵中学校に「地域図書館」開設		
		11. ー	「瀬戸市教育委員会の活動の自己点検・評価報告書」公表		
		11. 6 ～9	「まるっとせとっ子フェスタ2008」開催		
		11. 9	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
		12. ー	「瀬戸市立学校施設耐震化計画」策定		
21	2009	1. 30～ 7. 17	陶原小学校屋内運動場敷地造成工事	2. 28	とうめい新聞廃刊
		3. 27	「塚原古墳群発掘調査報告書」刊行	3. 20	「瀬戸万博記念公園（愛・パーク）」オープン
		3. 31	「紺屋田A窯跡発掘調査報告書」刊行	4. 1	深川保育園・今村保育園休園
		3. 31	「特別天然記念物オオサンショウウオ生息分布調査報告書」刊行	4. 1	養護老人ホーム「陶寿荘」民間に移管
		4. 1	東山小の学校給食調理業務委託化	4. 20	定額給付金振込開始
		4. 21	全国学力・学習状況調査実施	6. 24	市内で新型インフルエンザ患者確認
		5. 14～	陶原小学校屋内運動場新築工事（～H22. 1. 15）	8. 5 ～6	市制施行 80 周年記念「まるっと・せとっ子議会」開催
		5. 20～ 10. 23	道泉小学校校舎耐震補強工事	9. 30	J Rバス一般路線撤退
		5. 20～ 10. 23	幡山中学校校舎耐震補強工事	10. 1	瀬戸市制施行 80 周年
		6. 19～ 9. 18	東山・八幡小学校屋内運動場耐震補強工事	10. 1	長根小学校内に「せとっ子モアスクール」開設
		7. 6 ～8	景德鎮市中学生訪問団来訪 祖東中学校で交流		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 21	2009	10. 3 11. 12 11. 15 11. 15 ～	西陵小学校に「地域図書館」開設 「まるっとせとっ子フェスタ 2009」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」 開催 萩山小学校・瀬戸養護学校環境整 備工事（～H22. 3. 29）		
22	2010	2. 26 3. 一 4. 1 4. 9 4. 20 4. 23 4. 28 5. 12 6. 11～ 10. 29 6. 18 6. 18 7. 30 ～8. 7 8. 4 ～13 10. 9 11. 11 ～14 11. 14	陶原小学校体育館竣工式 瀬戸養護学校竣工 瀬戸市立瀬戸養護学校（さくらん ぼ学園）設立 幡山西小の学校給食調理業務委 託化 開校式及び入学式を挙 行 全国学力・学習状況調査を抽出校 において実施 瀬戸市立図書館「子どもの読書活 動優秀実践図書館」として文部科 学大臣賞を受賞 「瀬戸永泉教会礼拝堂」を登録有 形文化財として登録 「瀬戸市史通史編 下」発刊 陶原小学校耐震補強工事 祖母懐小学校耐震補強工事 水野小学校耐震補強工事 長根小学校耐震補強工事 「工芸技術 有線七宝」を市無形 文化財に指定し、その保持者に柴 田明氏を認定 「工芸技術 陶芸 練り込み」を 市無形文化財に指定し、その保持 者に水野教雄氏を認定 本山中学校オーストラリアへホ ームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへ ホームステイ派遣 水野小学校に「地域図書館」開設 「まるっとせとっ子フェスタ 2010」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催	3. 25 7. 11 7. 21 10. 3 10. 一 10. 一 10. 1	「新大橋」架け替え工事 「新栄橋」へ名称変更 参議院議員選挙 八幡小学校プール開放実施 西陵地域交流センターオープン 収納コールセンター開設 瀬戸市景観計画策定 原山小学校内に「せとっ子モア スクール」開設
23	2011	3. 6 4. 1 5. 一 6. 1 6. 1～	スポーツ功労者表彰 新学習指導要領の実施 西陵小の学校給食調理業務委託 化 東日本大震災による被災児童・生 徒のホストファミリー募集開始 下品野小学校蛇ヶ洞浄水場見学 効範小学校校舎増築・耐震補強工	3. 1 3. 26 4. 3 4. 9 4. 20 4. 24	第2次環境基本計画策定 道の駅瀬戸しなの開場 しなのバスセンターオープン 品野台地域交流センターオープン 給水支援隊、東松島市へ派遣 東松島市へ陶器類提供 瀬戸市長選挙および瀬戸市議会 議員選挙

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
		6. 8～ 11. 11	事（～H24. 3. 16） 八幡小学校校舎耐震補強工事	6. 一 10. 1 10. 1	食器 6 万 4 千個東松島市に提供 瀬戸市暴力団排除条例施行 水南小学校内に「せとっ子モア スクール」開設
H. 23	2011	6. 10～ 11. 4 6. 10～ 11. 11 6. 14～ 10. 26 6. 15～ 9. 30 6. 30 7. 13～ 10. 7 8. 2 8. 5 10. 1 ～2 10. 15 11. 10 ～13 11. 13	品野中学校校舎耐震補強工事 本山中学校校舎耐震補強工事 東明小学校校舎耐震補強工事 下品野小学校校舎耐震補強工事 効範小学校 3 年生市役所見学 深川小学校校舎耐震補強工事 名古屋学院大学とボランティア 学生の派遣などに関する協定に 調印 「まるっとせとっ子議会」開催 第 8 回日本オオサンショウウオの 会瀬戸大会開催 東山小学校に「地域図書館」開設 「まるっと せとっ子フェスタ 2011」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催		
24	2012	2. 5 4. 2 4. 一 6. 1～ 9. 28 6. 1～ 10. 19 6. 1～ 11. 2 6. 22～ 9. 21 6. 22～ 10. 5 6. 22～ 10. 12 6. 22～ 10. 26 6. 23 6. 29～ 10. 19	せと歴史と文化財を知る見学会 の実施 第 8 代教育長 深見和博就任 全国学力・学習状況調査を抽出校 において実施 古瀬戸小学校校舎耐震補強工事 水南小学校校舎耐震補強工事 光陵中学校校舎耐震補強工事 南山中学校校舎（技術棟）耐震補 強工事 効範小学校環境整備工事 水無瀬中学校校舎耐震補強工事 祖東中学校校舎耐震補強工事 掛川小学校「お茶会」開催 幡山東小学校校舎耐震補強工事	1. 1 2. 一 3. 一 3. 1 4. 1 4. 14 10. 1 11. 1 12. 1 3. 1	通院医療費の無料化を中学 3 年 生まで拡大 のぞみ学園園舎増築 瀬戸市地場産業振興ビジョン策 定 第 2 次瀬戸市男女共同参画プラ ン策定 道泉地域交流センターオープン 陶祖 800 年祭オープニング事業 「陶祖・藤四郎フォーラム」開 催 下品野小学校内に「せとっ子モ アスクール」開設 不活化ポリオワクチンと D P T （尺日せき・ジフテリア・破傷 風）の 4 種混合ワクチン定期予 防接種となる 瀬戸・尾張旭消防指令センター の運用開始 瀬戸市建築物耐震改修促進計画 改訂

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
		7.27～ 8. 5 8.1～ 10.26	キミチャレ～キミも今日からチャレンジャー～開始 本山中学校オーストラリアへホームステイ派遣 幡山西小学校校舎耐震補強工事		
H. 24	2012	8. 2～ 8.11 8. 2～ 8.11 9.21～ 9.27 9.24～ 10. 1 9.25～ 9.30 11. 8 ～11 11.11 12. 7 ～	祖東中学校ニュージーランドへホームステイ派遣 水野中学校ニュージーランドへホームステイ派遣 本山中学校オーストラリアからホームステイ受入 水野中学校ニュージーランドからホームステイ受入 品野中学校ニュージーランドからホームステイ受入 「まるっとせとっ子フェスタ2012」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 陶原小学校外 15 校緊急地震速報設置工事（～H25. 1. 18）		
25	2013	2. 一 2.28 3.14 3.18 3.18 3.28 3.28 4. 1 4.14 4.23～ 6.14 5.10～ 2.28 6.28～ 8.10 11.14 ～17	図書館施設等安全安心事業として書架固定工事、書籍落下防止工事、飛散防止フィルム施工 「洞窯跡・東洞 A 窯跡」刊行 校光陵校舎大規模改造工事 「古瀬戸瓶子」を市有形文化財（工芸）に指定 「品野祇園祭の神武天皇像および従者像」を市有形民俗文化財に指定 「市内遺跡調査報告VI 品野中部遺跡・穴田古窯跡群・石田遺跡」刊行 水南小の学校給食調理業務委託化 全国学力・学習状況調査実施 小学校校舎増築・耐震補強工事 塚原内1号墳歴史広場の公開開始 深川小学校外 11 校緊急地震速報設置工事 幡山中学校校舎増築・改造工事 光陵中学校・（仮称）瀬戸養護学校 せと歴「深川神社本殿の保存修理工事見学会」の開催 「まるっとせとっ子フェスタ2013」開催	4. 1 5. 1 5.31 6. 9 7.30 8.1～2 9.26～ 10. 2 10. 1	第 2 次いきいき瀬戸 21 健康日本 21 瀬戸市計画策定 市庁舎増改築整備工事開始 名鉄「新瀬戸駅」の南口交通広場が完成 山口・菱野・本地地区参加の「郷社祭り」開催 瀬戸市子ども・子育て会議開催 六角陶碑第 2 次内部調査を行う 瀬戸市・リモージュ姉妹都市提携 10 周年記念事業「瀬戸市公式訪問団」リモージュ市派遣 効範小学校内に「せとっ子モースクール」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
		11. 17	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
		3. 28	「穴田窯跡 I-遺構編-」刊行		
H. 26	2014	3. 28	「市内遺跡調査報告Ⅶ 若宮遺跡(若宮町3-84地点)」刊行	4. 19～	陶祖 800 年祭記念「藤四郎フェスティバル」の開催
		4. 1	教育委員会組織の一部改編(教育総務課と学校教育課を統合)	9. 30	利川市訪問団が来訪
		4. 8	瀬戸特別支援学校光陵校舎開校	10. 1	幡山西小学校内に「放課後学級」開設
		4. 一	全国学力・学習状況調査実施	11. 1	市役所新庁舎完成
		4. 一	「子ども読書活動推進計画(第二次)」策定		
		6. 6	瀬戸市教育委員会と愛知県瀬戸警察署との協定書の締結		
		7. 25～	本山中学校オーストラリアへホームステイ派遣		
		8. 4			
		7. 31～	祖東中学校ニュージーランドへホームステイ派遣		
		8. 9			
		9. 27～	水野中学校ニュージーランドへホームステイ派遣・受入		
		10. 3			
		9. 27～	品野中学校ニュージーランドへホームステイ受入		
		10. 3			
		9. 29	瓶子窯跡北側里山林を「瓶子の森」として一体で整備するため公有地化		
		10. 6	「志段味古墳群 尾張戸神社古墳」が国指定史跡に追加指定		
		11. 13	「まるっとせとっ子フェスタ～16 2014」開催		
		11. 16	「瀬戸の教育市民フォーラム」開催		
		11. 28～	小・中学校屋内運動場非構造部材落下防止対策工事		
		3. 20			
		11. 30	せと歴「品野の中馬街道を歩く」の開催		
		12. 26	小・中学校消防設備・防火扉改修工事		
		～3. 20			
27	2015	1. 一	瀬戸市いじめ防止基本方針策定	5. 1	伊藤保徳市長就任
		2. 6	歴史的建造物「旧山繁商店」の公有化	10. 1	水野小学校、掛川小学校内に「放課後学級」開設
		2. 27	「六角陶碑一字一石経 整理報告書」刊行	10. 5	マイナンバー制度開始
		3. 21	東洞A窯跡現地説明会開催 無形民俗文化財記録 DVD「郷社祭り」制作 文化財紹介 DVD「風にのって」「瀬戸に暮らす～洞地区～」制作		
		3. 27	「市内遺跡調査報告Ⅷ 今村城跡」刊行		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H. 27	2015	3. 31 4. 1 7. 6～ 3. 25 9. 28 10. 7 11. 7 11. 12 11. 15 11. 17	「東印所A窯跡」刊行 下品野小の学校給食調理業務委託化 瀬戸市体育館第1競技場耐震補強工事 第1回総合教育会議 国史跡小長曾陶器窯跡が「瀬戸窯跡 小長曾陶器窯跡」となり「瀬戸窯跡 瓶子陶器窯跡」が国指定史跡に追加指定 せと歴「瀬戸の古墳 再発見」の開催 「まるっとせとっ子フェスタ 2015」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開催 「旧山繁商店 離れ・事務所・旧事務所・土蔵・新小屋・前倉庫・中倉庫・奥倉庫・塀」が国登録文化財(建造物)に登録		
H28	2016	1. 7 2. 20 3. ー ～3. 17 3. 25 3. 31 4. 1 4. 10 6. 5 7. 16 8. 17 9. 2 10. 1	歴史文化基本構想第1回策定委員会開催 桂蔵窯跡現地説明会開催 第2次瀬戸市教育アクションプラン策定 西陵小学校増築・改修工事 瀬戸市立図書館整備基本構想策定 第2回総合教育会議 「若宮遺跡-若宮町3丁目130番地点の調査-」・「大坪西遺跡」刊行 原山小学校に「日本語初期指導教室」開設 教育委員会に「教育サポートセンター」開設 3名のスクールソーシャルワーカーを配置 八幡小の学校給食調理業務委託化 せと歴！「水南のマメナシ界限I」の開催 せと歴！「馬ヶ城の歴史」の開催 せと歴！「陶祖公園」の開催 第1回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会 平成28年度第1回総合教育会議 新教育委員会制度の下、教育委員長と教育長を一本化した「新教育	10. 1	祖母懐小学校、東山小学校内に「放課後学級」開設

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H28	2016	10.11 11.7 11.10 11.13 11.30 12.22 12.22	長」を置く 平成28年度第2回総合教育会議 第2回瀬戸市小中一貫校施設整備 委員会 「まるっとせとっ子フェスタ 2016」開催 「瀬戸の教育市民フォーラム」開 催 洞本業窯保存事業(保護覆屋等の 保存工事)完了 第1回旧山繁商店保存活用計画策 定委員会開催 第3回瀬戸市小中一貫校施設整備 委員会		
H29	2017	1.26 2. ー 2.7 2.16 2.22 3.24 3.25 3.31 4.29 5.20 6.29 8.28 8.31 10. 1 11.23	第4回瀬戸市小中一貫校施設整備 委員会 瀬戸市小中一貫校施設整備基本 構想策定 歴史文化基本構想第7回策定委員 会開催 (瀬戸市歴史文化基本構想策定) 第5回瀬戸市小中一貫校施設整備 委員会 平成28年度第3回総合教育会議 「陶祖公園内窯跡発掘調査報告 書」刊行 せと歴! 「水南のマメナシ界限 II」の開催 「中水野遺跡発掘調査報告書」・ 「太平窯跡・太平縄文遺跡」刊行 せと歴! 「まちめぐり 水野地区」 (7.8「同 下品野地区」9.16「同 今 村地区」、12.9「同 下半田川地 区」)の開催 せと歴! 「山口の遺跡発見 新発 見」の開催 第1回瀬戸市小中一貫校開校準備 委員会 第2回瀬戸市小中一貫校開校準備 委員会 国重文定光寺本堂保存修理(屋根 葺替)工事完了 (6.24 7.29 せと歴! 「定光寺本堂 葺替工事見学会」) 幡山西小学校に「地域図書館」開 設 せと歴! 「3つの登録文化財を巡 る見学バスツアー」開催		

和 暦	西 暦	月 日	瀬 戸 市 の 教 育	月 日	参 考
H30	2018	1. 18	第3回瀬戸市小中一貫校開校準備委員会	3. 30	藤井聡太 6 段瀬戸市初となる市民栄誉賞受賞
		1. 20	せと歴！「水南のマメナシ界限Ⅲ」（3.31「同Ⅳ」）開催		
		2. 8～	広久手 F 窯跡学術調査（愛知学院大学調査）の実施（2.17 せと歴！「現地説明会」開催）		
		17			
		3. 6	第 6 回旧山繁商店保存活用計画策定委員会開催（旧山繁商店保存活用計画の策定）		
		3. 28	平成 29 年度第 1 回総合教育会議「本地大塚古墳・西本地町東遺跡」刊行		
		3. 29	「市内遺跡調査報告Ⅸ」刊行		
		3. 30	「瀬戸市の警固祭り」刊行		
		3. 31	瀬戸市立視聴覚ライブラリーを廃止		
		4. 1	道泉小の学校給食調理業務委託化 瀬戸市立図書館に図書館協議会を設置（瀬戸市図書館協議会条例施行）		
		4. 23	長根小学校「子ども読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞を受賞		
		5. 1	長根小学校をコミュニティスクール研究指定		
		5. 15	瀬戸市小中一貫校建設に伴う東公園グラウンド、同テニスコート、同運動広場の廃止		
		5. 28	瀬戸市立小中一貫校安全祈願祭		
		6. 18	瀬戸信用金庫総合グラウンド（野球場、テニスコート、運動広場）の市民への開放開始		
		9. 23	教育シンポジウム 2018 開催	10. 17	藤井聡太 7 段新人王戦優勝
10. 31	平成 30 年度第 1 回開校準備委員会				

2 教育関係施設一覧

名 称	所 在 地	電 話 番 号
瀬戸市役所	瀬戸市追分町64番地の1	82-7111
陶原小学校	〃 原山町1番地の3	82-2243
深川小学校	〃 宮脇町53番地	82-2272
祖母懐小学校	〃 萩殿町2丁目178番地	82-2273
道泉小学校	〃 道泉町44番地	82-2474
效範小学校	〃 效範町1丁目1番地	82-3050
東明小学校	〃 東明町50番地	82-5501
古瀬戸小学校	〃 古瀬戸町70番地	82-2392
水野小学校	〃 小田妻町2丁目22番地	48-1098
水南小学校	〃 東松山町154番地	82-2084
幡山東小学校	〃 八幡町455番地	82-4404
幡山西小学校	〃 幡西町203番地	82-4394
下品野小学校	〃 品野町6丁目223番地	41-0074
品野台小学校	〃 上品野町1234番地	41-0041
掛川小学校	〃 下半田川町592番地の41	48-5151
長根小学校	〃 東長根町166番地	82-9640
原山小学校	〃 原山台3丁目98番地	21-3804
東山小学校	〃 東山町71番地	21-2801
萩山小学校	〃 萩山台2丁目22番地	83-3650
八幡小学校	〃 八幡台3丁目1番地	82-4445
西陵小学校	〃 すみれ台1丁目77番地	48-1993
水無瀬中学校	〃 原山町1番地	82-3098
祖東中学校	〃 中山町1番地	82-2244
南山中学校	〃 ひまわり台5丁目1番地	48-1212
本山中学校	〃 道泉町76番地の1	82-2363
幡山中学校	〃 幡中町106番地	82-4393
品野中学校	〃 広之田町2番地の5	41-0019
光陵中学校	〃 萩山台9丁目244番地	21-4660
水野中学校	〃 日の出町34番地	48-4698
瀬戸特別支援学校	〃 萩山台2丁目22番地	76-4391
瀬戸特別支援学校光陵校舎	〃 萩山台9丁目244番地	76-2263
陶原公民館	〃 熊野町98番地	83-3579
深川公民館	〃 宮脇町53番地	82-0453
祖母懐公民館	〃 上ノ切町43番地	82-9304
古瀬戸公民館	〃 西拝戸町16番地の10	83-8741
東明公民館	〃 西拝戸町16番地の3	82-8024
效範公民館	〃 北山町39番地	82-1095

名 称	所 在 地	電 話 番 号
長根公民館	瀬戸市城屋敷町22番地	85-0911
水南公民館	〃 東松山町154番地	21-2556
山口公民館	〃 田中町108番地	87-0700
幡山公民館	〃 幡山町71番地	87-4000
下品野公民館	〃 品野町6丁目105番地	41-4118
掛川公民館	〃 定光寺町1206番地	48-6165
原山公民館	〃 原山台8丁目163番地	83-9231
萩山公民館	〃 萩山台4丁目2番地の2	84-2088
八幡公民館	〃 八幡台1丁目145番地の2	82-9456
図書館	〃 東松山町1番地の2	82-2202
パーティセと情報ライブラリー	〃 栄町45(パーティセと内)	97-1162
学校給食センター	〃 日の出町34番地の2	48-7600
市民公園(スポーツ課)	〃 上本町1番地	48-0500
定光寺野外活動センター	〃 鹿乗町1231番地	48-0770
公立瀬戸旭看護専門学校	〃 進陶町6番地の1	85-2220
聖霊中学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
聖霊高等学校	〃 せいれい町2番地	21-3121
瀬戸高等学校	〃 東山町1丁目5番地	82-7710
瀬戸窯業高等学校	〃 東権現町22番地の1	82-2003
瀬戸西高等学校	〃 緑町1丁目140番地	84-7400
瀬戸北総合高等学校	〃 本郷町260番地	48-1500
聖カピタニオ女子高等学校	〃 西長根町137番地	82-7711
名古屋学院大学瀬戸キャンパス	〃 上品野町1350番地	42-0350
愛知県立窯業高等技術専門校	〃 南山口町538番地	21-6666
瀬戸ひなご幼稚園	〃 紺屋田町93番地の41	82-7760
雪の聖母幼稚園	〃 東長根町91番地	82-6409
マリア幼稚園	〃 苗場町8番地	82-9749
真貴幼稚園	〃 原山台2丁目23番地の2	21-4127
菱野幼稚園	〃 萩山台7丁目13番1号	83-3651
はちまん幼稚園	〃 八幡台4丁目14番1号	83-8703
瀬戸幼稚園	〃 すみれ台4丁目40番地の5	48-4800

瀬戸市の教育

(平成30年度版)

平成30年11月発行

編集・発行

瀬戸市教育委員会
瀬戸市追分町64番地の1
TEL (0561)88-2750(直通)